

感ぜらるる點もあらう。併し、現在に於ける——更に將來に對する我々産業組合人の期待が産青聯に對して非常に大なるものがあるが故にこそ、全體的に見て、盟友諸氏、特に地方に町村に於いて中堅的分子として活動せられ居る諸君に、今一應の御考慮を促し度いのである。

過ぐる産青聯全國聯合結成總會に於ける討議の中にも、「産青聯當面の任務は産業組合運動の現實の狀態をハッキリ見極めると共に、その持つ理想を充分に認識し、この間の隔りを青年の力に依つて結びつける」といふ事が述べられたのであるが、この途は言ふべく簡單にして、行ふべく甚だ困難なる事であり、殊に現今の如くその隔りが大きく、しかもこれを極力近づけんとすれば、そこに之に反對せんとする各種の障害が内外より續出する時に於いては、「理想と現實を結びつける」といふ單なる正義感のみでは如何とも爲し難く、そこに正しくして而も整然たる計畫と、之を遂行する充分なる組織とを持つに非ざれば目的達成は期し得ないのである。

然らば今日三十萬——五十萬と言はるる産青聯が、如何なる計畫と如何なる組織を持つて進みつつあるであらうか。茲にその具體的なる例として、全國産業組合當面の急務たる「組合の大衆化」運動を遂行する場合を考へる事とする。

そもく大衆化なる合言葉は種々なる意味を持つのであるが、先づその第一要件として、未加入者の加入即ち組合運動傘下への大衆獲得がなされねばならぬ。この事は理窟は兎に角、最初にどうして

もやらねばならぬ事であり、次にその加入せる全組合員の意志を組合の行かんとする方向に集結する事であるが、その第一歩たる組合員の増加といふ事が既に大きな仕事であつて、擴充五ヶ年計畫實施に於ける組合員の増加率が、その豫定數を追ひ得ざる實狀なのである。斯くの如く量的發展すら思ふ様に進まぬ時に當つて、更に我々はその大衆の組合運動に對する正しき認識を涵養せねばならぬ絶對的必要に迫られて居るのである。

斯く「必要なる事項」は山積しつつも、一般の動きが之に伴はぬといふ困難なる時局を打解する途は、先づ大衆を指導し又はこれを推し進めるもの自體の大衆化以外にないのである。即ち組合加入奨勵の運動に於いても、中央地方各機關の施設としての講習講話或は懇談會は勿論無駄に非ざるも、更に有効適切なる方策は、自ら實踐的批判者を以て任じ、又一般より期待さるる産青聯の盟友諸君が日常起居の間に、その實生活を通じて各自の身邊の者より組合員を獲得し、更にその人々に組合員として知らねばならず、又覺悟せざるべからざる事柄を傳へ、而してそれらの人々と共に一步々々前進する組織を持つ事が第一である。

過去に於いては(現在に於いても或る一部には)産青聯とは、會合して抽象的理論をたたかはず團體であるかに見られる事が往々にあつた様であるが、斯く見るものにも勿論認識不足はありと雖も、斯く見らるる産青聯自體もその理由を持たぬとは言ひ切れぬであらう。産業組合運動は、一定の理論に

依つて機械的に物を作り出す工業の如きものではなく、相手は生きた社會なのであるから、理論的には如何にも整つて居るかの如く見ゆるものもそれが社會の——大衆の過去より未來に向つて流れ行く「生活」を無視するならば、到底實現は不可能なるのみならず、却て社會の反感を買ひ折角の努力が逆な結果に依つて報いられるであらう。

この點より見るならば、諸君が過ぐる第二回總會に於いて産青聯の部落組織完成を決議され、着々その實現にとめて居られる事は誠に適切なる行動であり、今一段の努力に依つてその組織的背景を持つた全盟友が、修練研究を経て、各持場に於いて近隣を同化されるべく、部落的會合に、戸別訪問に、組合員及一般農業者の意識向上と集結に大いなる努力を拂はるるならば、産業組合經營の擴充は勿論、更に勤勞者の政治的要望を一定のまとまつた形に依つて表現される事と相成り、當初の目標たりし「理論と現實」の調和も見事成就するであらう。

今次全國聯合が機關雜誌を發刊される最大なる意義も亦ここにあるべく、この貴重なる企をして意義あらしむる爲めには、諸君が先づその身邊に於いて何を爲すべきやを、この機關誌を通じて研究體得される事にあるであらうと信する次第である。

——「協同先驅」十年八月創刊號——

第二篇 組合理事者に訴ふ

本篇は昭和二年から最近までの「産業組合」に執筆せる「巻頭言」を集録したるもので、總て組合理事者に向つて送つた私の言葉である。

一、消費組合問題

三月六日……産業組合記念日の爲めに、三月発行の「産業組合」を増大して消費組合特輯號とした。最初に「消費組合」と云ふ名稱を用ひた事に付て一言しておく。「消費組合」と云ふ名稱が我國産業組合法中になくは勿論であるが、所謂「市街地信用組合」「市街地購買組合」「消費的購買組合」「製絲組合」等の名稱を用ひてをると同様に、一般に解り易い「消費組合」なる名稱を用ひたに過ぎないのであつて、別段に深い意味がある譯ではない。尤も一般に解り易いと云つても消費組合が産業組合の全部である様に餘りに解り過ぎてもらつても困る。二十有餘年を経過したる我國の産業組合が未だ粗製品であると云ふことは、局外者が批評せられ論議せらるる以上に當事者たる私等が最も多く知つてをるものと信ずる。殊に都市に於ける消費組合に至りては、漸く創始期に入つてをる位で全然今後の發達に俟つべきであるが、之が反つて消費組合の前途の爲めには幸福であつたのかも知れない。主義と精神の透徹せざる廉賣機關視せらるるやうな消費組合なれば、無いが有るに優るのである。「やすい品物が買へるから消費組合にはいる」と一般民衆が信じてゐる間、「やすい品物を賣るのが消費組合」と組合の理事者が信じてゐる間は、寧ろ消費組合の出來ない方がよい位であると私共は考へてをる。幸にして一般民衆は經濟的にも自覺したてきた。又各方面から之を自覺せしむべき努力が熱烈になつて

きた。之は實に時代の然らしむるところと云ひ得るであらうが、更に此の時代の趨向を指導して終局の目的を達成するように努むるのが私等の役目であらうと思ふ。各方面の同志諸君の熱誠なる後援によりて此の特輯號が出来上つたのは、私共の衷心より感謝措く能はざるところであつて、私共としては盡すべき役目の一小部分を盡したような氣がするのである。而して私共の此の働きが、真正なる意義に於ける消費組合の開始の爲めに貢献するところあるべしと、期待してをるのであることを言明してをるのである。

昭和二年三月「消費組合」號——

二、産業組合と小作問題

耕地の大半が小作地であり、農家の大部が小作人である我國の農村に於いては、小作問題が農村問題の中で重要な地位を占めてをるのは當然のことであつて、小作問題の解決は他の總ての農村問題の解決に對して、聯關するところが甚だ多いのである。

何れの時代に於いても、現状維持論者と現状打破論者があるもので、現在の状態に於いて、有利の立場にあるものは現状維持を欲し、不利の立場にあるものは現状打破を欲するものであつて、此の現状打破を叫ぶものは、多くの場合に於いて其時代の弱者である。然れども現状打破は進歩的行動であ

り、積極的行動であり、攻撃的行動であるから、強者たる現状維持論者に取つては大なる強敵となるのであり、而かも弱者が自己の實力を自覺したる場合に於ては、到底防止なし得ざる状態に達するものである。農村に於いて長き間、弱者の地位にあつた小作人が現状打破を叫び出し、而も自己の實力を自覺したことが、小作問題を益々紛糾せしめ、其解決を愈々困難ならしむるに至つたとは云へ、これは當然來らざるべからざる既定の事實が到來したるに過ぎないのであつて、彼是申すべき限りでないのである。

農家の大部を占むる小作人の經濟を有利ならしめ、其の生活を快適にし、其の社會的地位を向上せしむることが、我國農村問題の中心として攻究せられなければならぬことであつて、小作問題の解決とは要するに、之に對する具體的方策を定めて、之を實行するにありと云ふことは、誰しも口や筆に論じてをつたのである。されど過去に於ける農業政策が、徒らに生産増加の方面を偏重してをつて、實際耕作に従事しをる多數小作人の、經濟的社會的地位を向上せしむべき福利増進の方面に重きを置かざる爲め、農會、産業組合を初めとし、各種の農村機關が組織整然として具備せられたりと雖も、これ等も亦其の眞正の目的を達成することをなし能はざるが爲めに、事實に於いて小作人の經濟は思ふ様に改善せられず、其の生活が向上安定するに至らざるの結果を顯著ならしめ、茲に於いてか、小

作人の地主に對する現状打破論が先づ以て勃興して、現時の如き小作爭議が頻發するに至つたのである。

現在に於ける地主對小作の爭議は、小作人側よりすれば最初の現状打破行動として、當然なざるべからざる順序なるべしと雖も、若し之によりて小作問題が完全に解決され、小作人が其の福利を甘受すべき満足なる境遇に到達したるものなりと思考してをるなれば、其れは恐らくは捕らぬ狸の皮算用であつて、實に大なる考へ違ひである。小作問題解決の對象となるべきものは、決して地主ばかりではないのであつて、他により以上大なる關係を有するものがある。若しも地主に抗爭して之を農村より絶滅することが、小作問題の解決に必要なりとなれば、其以前に、其以上の抗爭絶滅を必要とするものがある。それは農村に於ける都市の勢力であつて、都市の商工業者や金融業者が、農村に對する傍若無人的行動、都市を背景として農村を喰物にする各方面の事業と事業家の如きは之である。而して之等を黙認する政治家も亦、農村より排除すべきであつて、普通選舉は之を實現するの好機である。

小作人に取りては全然利用なし得ざる、又利用すると自己の福利を増進なし得るところか、寧ろ犠

牲を支拂はざるべからざる、現在の營利を目的とする資本主義的經濟機關を農村より敬遠して、之に代るべき自分たちの相互的結合による民衆的經濟機關を樹立することは、小作問題の解決に取りて絶對に除外すべからざる重要事項であつて、之が爲めには現在の産業組合を更に一層民衆化して、之を農村唯一の經濟機關として、積極的に活動せしむることが、小作人に取りて、實際的問題として最も價値あるものである。天のみを仰いで實現の可能性に乏しき議論をなすを得意とする人たちはとにかく、大地をふみしめて、歩一步理想に到達しようとする人たちは、此の實際的問題に全力を捧ぐべきである。

抗爭の爲めの抗爭、破壊の爲めの破壊は國家社會の爲めに甚だ好ましからざるところ、余輩は飽迄も協調の爲めの抗爭、建設の爲めの破壊を主張するのである。農村現在の抗爭も、時の力によりて兩者更に一段の自覺を生ぜば、そこに平等の立場に於ける階級協調の舞臺が來るべきは、余輩の所期するところであつて、産業組合は將來の大局を達觀して、須らくこれが爲めに出來得る限りの力を盡さざるべからざるもので、そこ迄進んできて初めて共存同榮の主義が徹底したと云ひ得るのであると思ふ。

—昭和二年七月「産業組合と小作問題號」—

三、農村より都市の勢力を排除せよ

農村は我國に於ける大なる生産者であり、又大なる消費者である。大なる生産者であり、又大なる消費者でありながら、独自の経済的勢力を有せず、徒らに都市の経済的勢力に屈從なしをるは、過去及現在の我國農村の實状なのである。此の状態が……農村の自覺、其の協同によりて容易に打破なし得るにも拘らず……打破せられざる限りは、百千の農村振興策が實行せらるるとも、窮極するところは、都市の経済的勢力を増大するの結果に終るのである。

X

X

余輩は農村に向つて『農村より都市の勢力を排除せよ』なる標語を提示する。そしてこの標語が、我國農村大衆の自覺と、其の全體的協同の力によりて現實化する時に於いて、茲に初めて眞正なる意味に於ける、……過去及現在に於けるそれと甚だ異なりたる、農村の振興が實現されるのであると云ふことを確信するものである。

X

X

農村の金融が其の獨自性を發揮することが出來ず都市の金融機關に從屬してをる限りに於いては、農村より都市の経済的勢力を排除することは不可能のことであるが、幸にして農村の金融の獨立は急

速なる可能性を有する迄に進んでをることは、農村の爲めに甚だ喜ばしきことなのである。農村は金融上の實力に於いても、其の組織に於いても間然することなきの實際に進んで居るのであるから、農村が其の實力を確認し、其の組織を利用することに向つて、全體的の威力を實現することが出來さへすれば農村金融の獨立は直に實現なし得るのである。

X

X

農村金融を獨立せしめて、農村金融に對する都市の勢力を排除することは、農村より都市の勢力を排除する出發点であつて、之が大なる生産者としての、又大なる消費者としての独自の経済的勢力を確立する基調となるべきなのである。

X

X

都市の勢力は都市の少數資本家の勢力である。都市の経済的勢力は資本主義的經濟組織の勢力である。農村は是等を排除して、産業組合主義的經濟組織の全國的經濟網を樹立し、以て農村独自の経済的勢力を展開すべきであつて、これ實に農村の生くべき唯一の途である。

『農村金融と産業組合號』は、第三回産業組合記念日を祝福するが爲めに、發刊せられたる特輯號である。余輩が卷頭辭として『農村より都市の勢力を排除せよ』の標語を提唱し、之が實現の方策として『産業組合主義經濟組織の樹立』の主張をなすは、最も機宜を得たることと思ふからである。

四、産業組合主義的經濟組織

今や産業組合の制度は廣く世界各國に普及し、自覺したる民衆は其の經濟生活上缺くべからざる新組織として、之が發達に努力してをるのであつて、之を稱して産業組合主義的經濟組織の完成を目標とする産業組合運動と云ひ得るのである。

産業組合主義的經濟組織とは、産業組合の各種形體の活動範圍を擴張することと、其の相互間の聯絡と共同を組織的にならしむることによりて實現せらるべき相互協同の新經濟制度であつて、民衆が資本主義的經濟組織の災禍より免れ得べき唯一の平和的手段なのである。

全國的に産業組合主義的經濟組織を樹立せんが爲には、都市の産業組合と地方の産業組合、消費者の産業組合と生産者の産業組合、金融的産業組合と他の事業的産業組合等の聯絡と共同を完全ならしめ、總てが同一の目的に向つて邁進せなければならぬのであつて、之が爲には各種形體の産業組合が各種形體毎に全國的聯合組織を完成なし、更に其の聯合組織が相互に聯絡共同なすことが最要なこと

なのである。

自覺したる民衆は資本主義的經濟組織に向つて、敢へて疾視敵對するの要はないのであつて、靜かに其の範圍より脱出して新たな經濟組織を樹立することに努力すればよいのである。余輩は資本主義的經濟組織を利用なし能はざるもの、又は之を利用することによつて自己の福祉を増進なし能はざるものに向つて、資本主義經濟組織の隆昌を羨望したり、又は其の崩壊を期待したりするが如き態度を棄てて、新たな相互協同の經濟制度を隆昌ならしむべく團結することを勸奨するのである。

資本に對する利潤の獲得を第一義とする資本主義的經濟制度は、生産及び消費の兩方面に於いて、民衆の福利を阻害し、其の生活を脅威すること甚だ多く、社會の憂患、民衆の災禍、因を之に發すること深甚なるものがあるのである。故に余輩は相互協同の經濟制度たる産業組合の組織を完成し、其の機能を擴充して新經濟組織を樹立し、之によりて民衆の福利を増進し、其の生活を安定し、以て社會の倍和協調を實現せんことを期するのであつて、是れ實に我が産業組合主義の到達せざるべからざる目標なのである。

五 産業組合運動としての販賣組合

我國に於て販賣事業を實行してをる産業組合は、其の數僅か三千百四十九、總組合數に對して二割二分二厘に過ぎざる少數である……販賣組合數が兼營包含八千百五十九、總組合數に對して五割七分五厘と云ふ數字は許可せられたる組合數であつて、事業を實際に行つてをると否とに關係ないのである。此の少數の産業組合が、一年間に取扱つてゐる販賣物品の總數は二億二千百二十九萬五千圓であつて、組合數の割合には取扱額が多い様であるが、更に之を調査して見るときは、生糸の販賣額が八千五百九萬五千圓、繭の販賣額が二千九百七十七萬圓、兩者の合計額一億一千四百八十六萬五千圓となつてをつて、之を全取扱額から差引くときは、殘額が一億六百八十三萬圓となるのである。更にこれから福井縣の織物千八百二十萬六千圓と、山形縣の織物百三十五萬五千圓、合計千九百五十六萬一千圓を減ずるときは、殘額は八千六百四十四萬九千圓となるのであつて、之が米麥及雜穀、畜產物、水產物、林產物及其他の物品の取扱額なのである。以上は農林省の調査により昭和元年末の數字を示したのであるが、これによりて我國の産業組合の販賣事業が、如何に未發達の狀態にあるかが推知されるのである。前記の數字で見ても、繭の如きは比較的多く取扱はれてをるのであるが、之を我國

の繭の總產額四億五千萬圓に比すれば、未だ一割にも達せざる有様であるし、又米にしても販賣組合で取扱つてをる數量は、農家の販賣する米の五分七厘位で、農業倉庫の販賣米と合せて漸く一割強となる位である。我國の販賣組合の事業が甚だ幼稚であると云ふことは、敢へて今更面倒臭き數字を示さずとも、既に一般に周知されてをることであつて、過去はとにかく、今後に於いて我が産業組合運動がこの方面に對する進展に成功せざる限りは、我が産業組合は其の効果を民衆の經濟生活上に完全ならしむることが出來ないのである。

二

資本主義の生産が、其の唯一の目的である利潤の獲得を完全ならしむるが爲めに、カルテル、トラスト等の獨占的企業の結合を形成なし、之によりて生産制限、價格協定、販賣區域協定等を實行して消費者を壓迫してをることは、資本家に取りては其の自衛手段として當然なことなのであつて、我國に於いても既に鑛業、電氣業、造船業、各種工業にわたつて二十五個の企業結合が出來てをると云はれてをる。産業組合に於ける販賣事業は、利潤の獲得を其の目的とするのではないのであつて、公正なる價格により生産物を販賣することを目標となし、生産物の販賣によりて生産者の經濟生活を改善安定せしむると共に、消費者の經濟生活をも改善安定せしむることを目的となすべきである。されば一日も早く、生産者の販賣組合から消費者の購買組合に對して、兩者の聯合機關を通じて直接に物資の

供給をなし得るの時期を現出せしむることが、販賣組合の目的を達するが爲めに最要のことなのである。此の意味に於て余輩は、單に生産物を生産者の利益の爲めに高價に販賣するを以て販賣組合の目的なりと説明することを排斥するのであるし、又過渡時代に於いては止むを得ざるも、産業組合以外の共同販賣組織の永久的存在を否認するのである。若しも産業組合主義の一大傘下に於いて、産業組合運動の一大圏内に於いて、資本主義經濟組織を利用なし得ざる、又之を利用するも自己の福祉を増進なし得ざる、我國最大多数の生産者と消費者とが偕和協調して、此の新たなる經濟的活動をなすことが出來得るに至れば、之が大いに兩者の經濟生活を改善安定せしむるばかりでなく、社會上、道德上の方面に於いても、産業組合主義の新生面を開き得ることとなつて、社會改造のかぎとしての産業組合の働きを現はすこととなるべしと思ふのである。——昭和四年三月「販賣組合發展號」——

六、産業組合に依る肥料配給の統制

産業組合運動の目標とするところは、産業組合による組合員の經濟生活の統制である。即ち營利を目的とする資本家のための、經濟組織より離脱して、大衆の福利のための經濟組織を、産業組合によりて、建設することであつて、我々はこれを産業組合主義の經濟組織と稱するのである。

現在の經濟社會の範圍内に於て、産業組合主義の經濟組織を築きあげることとは、決して容易なる仕事ではないのであつて、そこに多大の困難と、幾多の支障のあることを覺悟せなければならぬのである。されば、我々は先づ以てその最も進出なし得るの可能性ある部分より、組合員の經濟生活の統制を實現なすことに努めなければならぬのであつて、「産業組合に依る肥料配給の統制」は、最初に實現すべき事業の一として選擇された譯である。

産業組合に依りて、肥料の配給を統制することは、實現可能の問題であつて、全農村の産業組合員及組合理事者の自覺と決心如何によりて、實現の容易なる次第である。即ち個々の産業組合は組合員の肥料を總べて取扱ふこととなし、組合は取扱肥料の全部を府縣の聯合會より供給を受くることとなし、府縣の聯合會は全國購買組合聯合會と協調聯絡して、其の事業を行ふこととなれば、産業組合に依り肥料の配給は統制され得るに至るのである。要は組合理事者が、舊來の因襲と情實を棄てて、公正無私の態度を取り産業組合主義によりて、全然聯合會を利用するの決心の下に事業を經營することが、統制を實現するが爲めの根柢となるのである。

我々が大正十二年に、全國購買組合聯合會を設立したのも、其の期するところは、之を中心としての肥料配給の統制實現にあつたのであつて、今や其の機運が漸やく熟して、農村の産業組合が主力を之に向つて集中するに至らんとし、全國購買組合聯合會の勢力も亦、地方の聯合會と協調聯絡して、

その任務を遂行なし得るの自信を有するに至つたことは、我が産業組合運動の進展上甚だ慶祝に堪へざるところである。加ふるに政府が農村振興政策の一として、肥料配給に對し、積極的方法を實行せられんとするに至つたことは、肥料配給の統制を實現するがために最も力強い支持を得たと謂ふべきである。されど同時に、若しも政府の力強い支持があつても、これが完全に實現され得ざるやうなことがあれば、我が農村産業組合の無力、無能を明瞭に表現することとなるのであるから、我々は「産業組合に依る肥料配給の統制」の實現に付て、農村の産業組合及聯合會は、大なる決心を以て之に當られんことを要望するのである。

—昭和五年四月—

七、産業組合運動進展の第一條件

産業組合の本質を正確に理解すること、之が産業組合運動進展の第一條件である。組合員の總てが之を理解するに至る爲めには、今後尙相當の努力を要するであらうが、せめて組合の理事者だけは、組合の本質に對する正確な理解を有つて、組合事業の經營をしてもらひたいものである。組合の本質を理解せざる理事者によりて經營せられる組合は、その事業が組合員の總てに徹底せず、殊に組合として最も重きを置かざるべからざる部分である中小産以下の組合員に對しての事業が、十分に行はれ

ない。また組合の事業を組合員の總ての爲めに徹底せしむべく、組合と積極的なる活動をなすことを好まない。即ち産業組合としてなさざるべからざる當然の働きをなさないのであるから、組合員からは組合を無用の長物と思はれたり、社會からは産業組合の美名に隠れたる脱稅的營利事業だと云はれたりして、ために累を全産業組合運動に及ぼすやうになるのであつて、組合の本質を理解せざる理事者の存在は、實に産業組合運動の進展を阻害する痛腫と云ふべきである。

私は産業組合が、總て組合の本質を理解したる理事者に依りて經營せられるやうになれば、自然と組合員の總ても組合の本質を理解するに至り、ここに理事者と組合員とが相倚り相信じて、組合の事業が完全に遂行されることになるであらうと信するのである。この意味に於いて私は組合理事者の一層の反省と勉強と努力とを希望すると共に、産業組合關係の青年諸君が、その新進氣鋭の勢ひをもつて、理事者と共に組合員の總てに組合の本質を理解せしむることに成功することを期待するものである。

—昭和五年五月—

八、多事多難なる昭和六年を迎へて

茲に昭和六年の新春を迎へて、余輩は先づ同志諸君の健康を祝し、諸君と共に益々産業組合運動の進展に向つて勇進せんことを期するのである。

深刻なる苦悶を續けたる昭和五年は、解決せざるべからざる幾多の重要問題を總て其の儘に残して過ぎ去つたのである。新しき昭和六年は、残されたる總ての重要問題を、解決せざるべからざる重責を負うてゐるのであつて、實に多事多難の年と謂ふべきである。

我國の財政、我國の社會、我國の經濟、何れも皆一大鐵鎚を下すにあらずんば、打開なし得ざるの難關に遭遇してゐるのである。國防の整理、教育制度の改革、失業問題の救済、農村問題の對策等重要な問題は幾多堆積なし、而かも之を解決することが、我國の財政、社會、經濟の更生を期するが爲めに、絶對的必要の條件であるが、果して何れの日に於て之が達成せられ得べきか。

二

惟ふに我國の現状は、平和時代に於て未だ會て見ざるの難局に遭遇してゐるのであつて、舉國一致難局打開の決心を有すること、恰も戦時のそれと同様でなければならぬのである。故に政府當局と民間當業者、政府黨と在野黨、資本家と勞働者、地主と小作人等が總て從來の對立状態より離脱し、渾然一體となつて我國の財政、社會、經濟の更生に必要な國策を樹立すべき時であらうと信ずるのである。最近英國に於て、勞働黨の前閣僚モズレー氏一派の者が、英國刻下の大國難を打開し、産業

界の深刻なる危難を救済する爲め、非常時内閣組織の必要を痛論してゐるのであるが、余輩は我國に於ても難局打開の爲めに、一定期間の政黨休戦を行ひ、超政黨的聯立内閣の組織によりて、舉國一致以て我國の財政、社會、經濟の更生を圖ることが、現時の難局打開の爲め最も適當なる方策なるべしと考ふるのであつて、公正なる立場にある識者中には余輩と感を同じうするもの相當に多數であらうと思ふのである。

然れども余輩の提唱するところは、現在の社會情勢より見て、其の實現蓋し至難であると豫期するのである。政府も政黨も、資本家も勞働者も、地主も小作人も餘りに自己の立場のみに執着し、自己の利害のみに没頭なしをるの現状にては恐らくは、大局的觀察と、協調的發動による舉國一致的行動の至難なるは當然のことである。西郷南州の所謂「命もいらす、名もいらす、官位も金もいらぬ、始末に困る人」が、實際の活動舞臺に現はれざる限りは、余輩の提唱も到底實現は不可能ならんか。

三

此の如き時に際しては、吾人は自ら其の爲すべき最善を盡して、最善の結果に到達することを期するより外はないのであつて、頼るべからざるものを頼りとする如き心は、百害あつて一利なきことである。而して各人が自ら爲すべきことは獨立自主の精神を基本とする相互協同的發動であつて、我等同志は既に之を産業組合運動の名に於て活動なしつつあるのであるが、多難多事なる新しき昭和六年

には更に我等同志の活動を一層進展なし、産業組合運動の効果を顯著ならしむることが最も急要である。而して之は各人の結束と努力とによりて、各人に對して必ず其の期するところの効果を與へ得るの確實性ある最も尊き存在である。

—昭和六年二月—

九、全購聯を支持して抗爭せよ

農村經濟が危機に瀕してゐる今日の場合に於て、農業者として攻究と實行に最も力を盡さざるべからざることは、農産物價格の低落に追隨するが爲めの生産費の低落である。而して生産費中の重要な一項目である肥料に付ても、農産物價格の低落と共に必然的に低落すべきものであるにも拘らず、都市の資本主義經濟的勢力が重要な肥料に付て殊更に其の價格を騰貴せしむべく種々なる畫策をなしつつあるは、農業者の、殊に農村産業組合當事者の大いに警戒せざるべからざる、又大いに抗爭せざるべからざる重要事である。

磷酸肥料製造業者が磷酸肥料工業の改良發達を爲すの美名の下に磷酸肥料工業組合を組織なして、磷酸肥料の販賣に關する統制、販賣價格の基準決定、生産の調節等を行ひ、以て消費者に對抗するところの企業聯合を成立せしめたるが如きは其の一例にして、更に甚しきは内地

と外國の硫安製造業者間に於ける内外硫安協定であつて、内地の硫安生産額は年々増加なして外國よりの輸入は少しも必要とせざるの状態であるにも拘らず、協定期間の五ヶ年間は一ヶ年二十萬噸の外國硫安を一噸八十圓以上の價格にて輸入せしめ、内地よりは一噸も海外に輸出せざることを條件の下に、漸く昨年の如き外國硫安の廉價にて輸入せらるることを防止なし、以て内地の硫安價格を八十圓以上に吊上げ、農業者に高き硫安を賣付けることによりて、内地に於ける舊式の製造設備により生産費を多く要する、硫安製造業者の計算を合理化せんとする不都合極まる計畫なのである。

農村經濟が危機に瀕してゐる今日の場合に於て、更に一層の搾取を敢てせんとする都市の經濟的勢力の暴狀に對しては、農村産業組合は農業者の利益擁護の爲めに全力を擧げて抗爭することが當然であつて、此の當面の案件である肥料問題に付ては、全農村の産業組合が精神上、物質上に於て強く結束して、全國購買組合聯合會を支持なすことが、農村の經濟的勢力が都市の經濟的勢力に對する抗爭機能を發揮して最終の勝利を得べき唯一の最良手段なのであつて、恐らくは全國購買組合聯合會も、既に是等の重要問題に對しては善處なしつつあることと信するのである。

—昭和六年九月—

一〇、農林商工兩省の合併問題

農林、商工兩省を合併して、新たに産業省を置くと云ふ議が世間に傳はるや、農村關係の各團體は絶對反對の意志を表明して、聯合したる反對運動を起したのであつて、余輩も亦左の理由に依りて反對の主張をなしたのである。

行政整理の目標は必ずしも經費の節減のみに重きを置かず、行政制度の合理化を圖ることを以て根本義となすべきであつて、此の事は井上大藏大臣も行財政審議會第一回の會合に於て言明されてゐます。然るに農林、商工兩省の合併は事務系統を紊亂し、能率の増進を妨げ、農民の希望と利便を無視するものであつて、行政整理の眞目的に背反してゐるのであるから、此の如き不合理なる整理に反對するのである。

余輩は敢て行政整理其のものに反對するのではないが、之を行はんと欲せば整理其のものが先づ以て合理的でなければならぬ。國家百年の大計を顧慮せずして、ただ現在の財政窮乏に處するの對策として、或はまた一部政治家の感情的論議に起因することを排撃するのである。合理的行政整理は宜しく行政組織全體にわたりて、公正無私の立場より慎重に攻究せられたる根本的對策でなければならぬのであつて、「先づ差當り農林、商工兩省の合併、拓務省の廢止」とか云ふやうな、徒らに難を棄てて易につく無爲無策の舊態退轉案の如きは、合理的行政整理として一顧の價値なきものであつて、此の如き方策を強行することは農村農民の爲めに大なる不利益を與ふるは勿論、現政府に取りても、また

民政黨の將來に取りても決して有利でないのである。

余輩は現政府が一日も早く完全なる合理的行政整理案を作成し、以て多數國民の満足と支持とを得て、其の實現に勇進せられんことを希望するのである。尙最後に余輩は(一)政府の行ふ事業を出來得る限り少なくすること、(二)官廳の事務を出來得る限り簡易化することの實現が、行政整理に於て徹底的攻究を要すべき重點であることを述べておくのである。

— 昭和六年九月 —

一一、農村産業組合運動の重要事

農村産業組合に依りて農業者の統制的經濟を實現すること、之が農村の經濟的勢力を確立鞏固ならしめ、都市の經濟的勢力に對立して、其の壓迫と搾取より解放せらるる唯一の途なのである。而して之は農村振興策の根基をなす重要事であつて、此の一事を缺くときは百の農村振興策も農業者に對しては實効なきに終るのである。

農村産業組合が其の使命とする農業者の經濟統制を實現するが爲めには、

- 一、既設農村産業組合に於ては區域内の全農業者を組合員となすこと
- 二、既設農村産業組合に於ては購買、販賣、利用事業を積極的に行ふこと

三、産業組合の未だ設立せられざる農村に於ては之が設立をなすこと

が、此の際に於いて全力を盡さざるべからざる重要事である。

産業組合の数は今や一萬四千餘に達し、之を町村数の一萬一千六百五十二に比すれば、町村数一〇〇に對し組合数一二〇の割合を示すに至れりと雖も、之を各町村に付て見るときは組合未設置の町村数は二千三百四十四にして、之を府縣に付て見れば茨城は未設置町村一九三にして全町村数の五割一分に當り、熊本は一七三、五割、福島は一六四、四割五分、廣島は一〇六、二割五分が未設置町村の最も多きものである。

更に之を一組合當り組合員數に付て見るときは、昭和三年に於ては一組合平均組合員數は三百三十五人となつてゐるが、農村産業組合の組合員數は三百二十萬四千人で、農家戸數五百五十七萬五千に比すれば五割六分の割合を示してゐる。もとより、之を各個組合に付て見れば優良なる組合にて殆ど全數に近き農業者を組合員に包含なしをるものあれど、全體より見れば、未だ三四割の農家が組合員に包含されてゐないのである。而も未包含の農家の多數は、小農細農であると云ふのであつたならば……恐らくは然らん……現在の農村産業組合存在の價値に對して、疑惑的論議の行はるるもまた止むを得ないのである。

農村産業組合が其の使命とする農業者の經濟統制を行ふが爲めには、先づ以て全農業者を産業組合

運動に結成なし得るの組織を有することが先決問題であつて、之が爲め余輩は前記三事項の實現に對して同志諸君の總動員的努力を拂はれんことを勸奨するのである。——昭和六年十月——

一二、産業組合人

産業組合運動に最も必要なるは完全なる産業組合人である。完全なる産業組合人の増加と其の協力は實に産業組合運動の基調をなすものである。

産業組合主義を理解し、産業組合運動の目標を把握して、組合事業の實際に直面活動なし得るの人物、之を余輩は産業組合人と稱するのである。實際に直面して活動なすべき人物は、理論的攻究を輕視せざると共に、又徒らに之に耽溺せず、社會の事情に即して實際問題に善處するの常識と判斷とを必要とするのであつて、完全なる産業組合人は、此の長所を具備せなければならぬ。而して余輩が同志と共に主張する産業組合運動の目標は、固より社會の現狀に即したる實際的判斷の結果であつて、完全なる産業組合人の理解と協力に適合したるものである。

産業組合人の増加は、産業組合教育の普及徹底によるべきは論をまたざるところなりと雖も、特に産業組合青年聯盟に屬する青年に對して、完全なる産業組合人たるべき訓練と修養を與ふることは最

急の要事であつて、産業組合青年聯盟の最初に遂行せざるべからざる任務は、其の重點を此の急要事に置くべきものであると信するのである。

—昭和六年十一月—

一三、受難と反撥的進展

深刻なる經濟不況に始終したる昭和六年は、我が産業組合に取りては受難時代であり、同時に反撥的進展時代であつた。

農村生産物の價格減退による農村經濟窮迫が、農村産業組合に對して貯金の減少、貸付金額の固定購買代金の回収困難となりて現れたることは、避くべからざる當然のことと云ひ得るのであるが、これが爲め組合中その經營上に甚大なる痛苦を蒙るに至りたるものも相當多いのである。

都市の中小工業亦購買力著減の結果として、甚しく萎靡不振の状況に陥り、市街地信用組合は其の影響を受けて、經營上に著しき困難を感じるに至りたるもの、亦決して少なくないのである。

農村に於いても都市に於いても、産業組合の受難時代が到來したのであるが、而かも是等受難組合が、萬難を排して甦生を圖らんとする反撥力を生じたることは、見逃すべからざる快事であつて、購買事業や販賣事業の進展は其の一端を現すものと認め得るのである。

更に産業組合に取りて最も重要な聯合會事業に付て觀るときは、地方的聯合會も全國的聯合會も其の事業分量は著しく増加なし來り、聯合會に依る個々組合の統制は稍具體化されてきたのである。而かも新たな全國的聯合會の成立さへも見たのであつて、斯の如きは實に受難時代に於ける反撥的進展であつて、余輩が反撥的進展時代と稱する所以である。都市に於ける消費組合の數と事業分量との増加も亦之を示すべき事實なのである。

昭和六年に於て我が産業組合は、其の存在の價値に就て、嚴格なる實地試験を受けたのである。而して此の試験は、更により以上嚴格に繼續されるものと覺悟せなければならぬ。此の試験をパスしたものの……成績の如何は別問題として……今後に於て産業組合としての機能を完全に發揚するの資格を獲得すべく、パスする能はざるものは組合員と共に經濟的自滅を餘儀なくせられるのであつて、此の經濟難局に際して産業組合のみが清算より免れることは出來得べからざることなのである。幸にして昭和六年は之を全般から觀て、我が産業組合は受難時代であると同時に反撥的進展時代であると認め得るのであつて、これ實に産業組合制度のみが占有する獨得の性格と勢力とに基因するものである。

—昭和六年十二月—

一四、昭和七年を迎ふ

不況、不景氣、恐慌、窮迫、困厄、等々を以て終始したる昭和六年……經濟國難、政治國難、思想國難、教育國難、政黨國難、等等を以て終始したる昭和六年は去りて、新たなる昭和七年を迎ふるに至りたるは、諸事更新を必要とする今の時において、極めて意義あることと云ふべきである。

X X

此の難局を突破打開することは、決して容易なる業にあらずと雖も、今正にして強固なる政治の下に、全國民の協力一致したる努力を以て、之を成し遂ぐるにあらざれば、國家の隆昌、國力の進展は期待なし得るのである。

X X

新しき年に於て、新しき決心を以て、苦難を拍車として、難局打開に向つて勇進することが、昭和七年に於ける我が同志の任務であり、之が將來の曙光を望み得る唯一の途である。

—昭和七年一月—

一五、總選舉

衆議院は一月二十一日に解散せられ、總選舉が来る二月二十二日に行はれることになった。之は少數黨によりて組織せられたる犬養内閣として極めて當然のことであつて、既に世人の豫期してゐたところである。

選舉權は立憲國民の最も大切な權利であると共に、また最も大切な義務である。國民が、この權利を公正に行使し、この義務を慎重に遂行することによりて、國民民福の進展に即したる政治が行はれ得るのである。内外多事、難局打開の爲めに公正強力なる政治と、國民の強力一致を要する時に行はるる今回の總選舉に就ては、國民は特に選舉の重要性を認識せなければならぬ。

産業組合の政治運動に對する立場は、既に余輩が機會ある毎に言明なしをる如く、産業組合自體として、又産業組合青年聯盟、其他産業組合關係の諸團體として、全然中立の地位にあるべきものである。産業組合を政争の渦中に捲き込ましめ、一黨一派の爲めに組合の勢力を利用せらるが如きことは、嚴重なる警戒を要すべきことであつて、産業組合運動の進展は、之により阻害せらるるの結果を見るに至るべきは、過去に於ける事實が明示してゐるのである。今回の總選舉に際して、余輩は更に一層の注意を全國の同志諸君に向つて喚起するのである。

産業組合の役員及組合員諸君は、立憲國民の一員として公正なる信念の下に、飽くまでも國民民福の進展を思念し、過誤なき選舉權の行使を期せられたいのである。過去の選舉每に行はれをる重大

なる過失は、我が同志諸君の選挙権に対する自覚によりて、之を除去し得るに至るべしと思ふのであるから、敢て諸君の自省を望むのである。

——昭和七年二月——

一六、産業組合記念日

産業組合法發布の明治三十三年三月六日より三十二年を経過したる、昭和七年の産業組合記念日を迎ふることは、全国の同志諸君と共に慶賀に堪へざるところである。

我國の産業組合運動は、昭和時代に入りて其の地歩漸く確立せらるゝに至り、最近の經濟不況に際しても幾多の困難を排除して、大衆經濟生活を支持することに努むるを得たるは、是實に全国同志諸君の熱烈なる活動の結果であつて、余輩は其の勞苦に對して満腔の敬意を表する次第である。

然しながら、産業組合運動の前途は多事多難、爲さざるべからざることとは山積してゐるのであつて一日を苟安を許さないものである。而して之が爲めに、同志の間のより強き結束と、活動の能率を發揮することは、常に現在の經濟不況を克服するためののみならず、産業組合運動の前途に對して永く必要なることである。

更に同志諸君が、産業組合運動者の一人として自己の存在の意義に付いて慎重なる考察をなすこと

が、運動の前途に對して最も大切なることであつて、之れが變て現在に於ける如き、少數の指導者に依頼し過ぎる結果として招來される、産業組合運動の謬りたる進み方を矯正なし、産業組合運動をして眞に衆意によるものたらしむることが出来るのである。

産業組合記念日の數の重なることを祝する毎に産業組合運動も亦能く社會情勢の變遷に後れざる様に進化することを、余輩は切望するものである。

——昭和七年三月——

一七、全國産業組合大會

我が産業組合運動の年中行事の一つである。全國産業組合大會は、本年は大阪市に於て、四月二十五、二十六、二十七日の三日間開催される。

全國産業組合大會は、昭和二年東京に於て現在の大會規定に依り初めて第二十四回の會合を催したる以來、松江市、岐阜市、高松市に順次開催せられ、本年の大阪は第二十八回の會合である。我國の大會は出席者の範圍極めて廣く、組合員、組合役職員を初めとして、組合指導監督の職にある者など總て自由に出席なし得るのである。従つて會場の都合上出席者を制限したる場合にも、其の數四、五千に達し、出席者の制限をなさざる場合には六、七千に達するのが普通であり、若しも會場に收容

なし得れば、一萬の大衆を集合せしむることも決して至難でないのである。斯く多數の同志が一年一回一堂に會合することは、我が産業組合運動の一大式典として、多年繼續なし來りたるところであつて、産業組合運動の威容を整備し、其の勢力を表現するが爲め極めて意義ある活動なのである。

斯の如き多數の會合に於ては、大會に提出せられたる重要問題の討議を行ふことは到底不可能なるが故に、各府縣より選舉せられたる一定數の審議委員を以て、別に審議委員會を設置なし、提出問題は總て審議委員會に於て慎重審議して、其の結果を大會に報告することとして居るのである。

大會開催の方法、提出問題の審議方法に於ては、更に之を改善刷新するの要あるは、もとよりのことであつて、余輩亦常時攻究を怠らざるものなりと雖も、現在に於ては、現在の方法により出來得る限り多く大會の價値を發揮することに努められんことを、余輩は大會出席者に對して希望するのである。

—昭和七年四月—

一八、産業組合理事者に望む

組合員の増加、自己資金の充實、事業の積極的經營、聯合機關の利用は、何れの時に於ても、産業組合理事者が全力を傾注せざるべからざる重要事であるが、我國現時の情勢に於ては、特に其の急要

なることを認むるのである。

農村産業組合に付て觀れば、組合の整理を圖り其の活動を期するが爲めにも、組合員の經濟の整理と其の改善を期するが爲めにも、特に販賣、購買、利用等の事業を積極的に經營することより外には、效果ある實際的方策はないのであつて、之が農村甦生の爲めに残されたる唯一の對策なのである。而して之が實行には、先以て組合理事者の斷乎たる決心を必要とするのである。

地方的及全國的聯合機關の相當發達せる今日に於ては、組合が購買販賣事業を積極的に經營することは、決して困難なることではないのであつて、組合理事者が組合事業の積極的進出に付て勞苦を惜しみ、偷安を食らざる限りは、成功なし得る見込は十分なのである。

此の經濟受難の時代、組合受難の時代に於て、余輩は組合理事者の省慮を切望するのである。

—昭和七年五月—

一九、自主的經濟統制

金再禁止に依る經濟好轉は、都市と農村とを問はず、連續したる經濟不況に疲弊困憊したる民衆が一日も早く其の時期の來らんことを、首を長くして待ちつつあつたのであるが、内外の政治、經濟、社會情勢は期待されたる經濟好調を實現なし得ざるの結果を見るの已むを得ざるに至りつゝあるので

ある。

此の時に際して我が産業組合運動は、独自の立場に於て、現在及將來に善處するの途を開拓せなければならぬのであつて、それは同志諸君と共に、今や其の一步を確實にふみ出したる、産業組合に依る自主的經濟統制を確立するより外に方策はないのである。

産業組合事業の全面的進出と、系統機關の利用を絶對化する全國的聯合運動の進展こそは、自主的經濟統制を確立すべき唯一の途なのであつて、同志諸君の奮闘を望むのである。

—昭和七年六月—

二〇、中小商工金融問題

都市の中小商工金融問題は多年の懸案であつて、いまだに解決が出来ないのである。最近商工省では商工貸付金庫を設立なし、之を中心として中小商工金融を圓滑ならしむるの方策を立案されてゐるようである。

中小商工金融を徹底せしむるには、信用貸付を積極的に行ひ得ることと之を行ひ得るが爲めには、

萬一の場合に生ずる滞貸に對する銷却の方法を確立することが必要なのである。而して此の滞貸銷却の方法に付ては、先以て貸付を行ふ組合若しくは團體が自己保險の制度を定めて滞貸銷却積立を行ひ、更に政府は之に對して相當の補助を與ふことが適當であつて、要は組合若しくは團體の自力的施設と、國家の補助制度によりて、中小商工金融の圓滑を期すべきである。

新たに商工貸付金庫を設立するとしても、中小商工業者に對して貸付を行ふ組合若しくは團體が、自ら行はざるべからざる施設を放擲して顧みず、金庫を一種の救済機關の如く思考して、徒らに資金の放漫的貸出を要求するが如きことあらんか、金庫は決して其の要求を満足せしむることが出來ず、産業組合中央金庫其他現在の特種金融機關に對すると同様なる怨嗟の聲を新設せらるべき商工貸付金庫に向つて放つこと、蓋し疑を容れざる次第である。

余輩は此の際政府が、中小商工金融問題に付ての根本的政策を攻究確立せられんことを要望するのである。

—昭和七年八月—

二一、産業組合の整備と擴充

深刻なる經濟窮迫に直面したる我が農村を更生せしむるが爲めには、相互協同と獨立自主の精神を

基調とする産業組合の擴充に俟つより外に良策がないと云ふことは、今や識者の認むるところとなつたのであつて、余輩は之れが當然の認識であると信するのである。

同時に余輩は過去に於ける産業組合の活動が、農村經濟窮迫を防止するだけの最高限度の能率を發揮し得ざりしことに、深甚なる遺憾の意を表さなければならぬのであるが、之は過去のこととて今更いかんともなし得ざるところ、問題は一に農村産業組合の今後の活動にあるのである。

産業組合が農村更生の爲めに、期待されたる重大なる任務を果さんとするには、産業組合自らが最高限度の活動をなし得るの實力を具備せなければならぬのであつて、之が爲には組合業務の整備と擴充を積極的に、可能的に遂行することを要するのである。而かも組合業務の整備と擴充とは全組合員が組合業務の内容を完全に認識し、農村更生に對する産業組合の重要性を明確に理解したるの結果によるもの、即ち全組合員の自覺、自省による整備擴充を意味するのであつて、從來の多くの場合に於けるが如き役員のみ、或は又役員と一部少數の組合員だけの意志によるものでは、この重大時期に活躍すべき組合の實力を新生するが爲めには不充分なのである。

斯の如く全組合員の自覺と自省とによる組合の整備擴充に對しては、地方的及全國的聯合會や産業組合中央金庫は、自ら進んで積極的の援助を與ふべきであつて、是れ實に農村經濟窮迫を打開し、農村更生を實現する所以である。

—昭和七年九月—

二、産業組合法の改正

我國の産業組合法は、大正十五年第六次の改正ありたる以來七ヶ年を経過し、其の間社會情勢の變遷と産業組合運動の進展とに伴ひ、改正を要する重要事項少なからざるに至り、これが改正は産業組合界の輿論となり、産業組合中央會は、本年五月農林大臣に改正要望事項を建議したのであつた。

農務當局が農村匡救臨時議會の開會を利用して、急遽改正法律案を提出せられたるは、極めて機宜を得たる措置として、産業組合關係者の深く感謝するところである。兩院を通過したる改正法律は、九月六日法律第三十號を以て公布せられ、不日實施せらるることになるのである。

今回の改正事項中重要であつて、而かも農村現時の情勢より見て最も緊切なるものは、産業組合の保證責任化と、農事實行組合及び養蠶實行組合の産業組合加入とである。

産業組合組織の保證責任化は、産業組合の信用を強化し其の活動を擴大するが爲めに、農事實行組合及養蠶實行組合の産業組合加入は、全農業者に對する産業組合の經濟的支配を急速に完成せんが爲めに、農村更生對策の根柢をなすべき重要事であるから、全國の産業組合關係者は出來得る限り急速に之が實現を圖らなければならぬ。

—昭和七年十月—

二、産業組合擴充五ヶ年計畫

産業組合擴充五ヶ年計畫は、昭和八年一月一日より昭和十二年十二月三十一日に至る五ヶ年間に於ける、我が産業組合の進むべき途を明かにし、産業組合運動將來の進展に必要な基礎を確立するが爲めに作成されたのである。

大正十四年の産業組合振興刷新運動は、我が産業組合運動は一轉期を劃したるものにして、昭和時代に入りての購買販賣事業への進出、地方的及全國的聯合會運動の擴大、産業組合主義の理解等が、年を累ねると共に幾分かづゝ其の濃度を加ふるに至りたることは、實に振興刷新運動の結果の顯れと云ひ得るのである。

然れども一面に於て、累年深刻化しつゝある經濟不況は、未だ内容の整備せられざる個々組合の運営を困難ならしめ、甚しきに至りては組合の破綻を見るに至るが如きものすら少なくないのである。されば今に於て之が對策を定め、其の遂行によりて個々組合の内容を整備し、實力を充足し、其の運営の萬全を期することは、我が産業組合運動の基礎を築きあげる所以であると共に、窮迫しつゝある中小産者の經濟生活を更生するが爲めに、喫緊の要事なのである。

更に今後益々重加すべき資本主義經濟の壓迫に對して、中小産者の經濟生活を独自の立場に於て向

上安定せんが爲めには、現在の如き未だ全中小産者を包容せず、其の事業亦組合員の經濟生活に徹底せざる様な産業組合の活動では、到底其の目的を達し得ざることは明らかなる次第であつて、之が爲めには産業組合の擴充が一日もゆるがせにすることが出来ない重要事なのである。

産業組合擴充五ヶ年計畫樹立の必要が、昨年之末期に我々少數の同志間に考慮されたるは、實に叙上の理由に出發したのであつて、それが本年一月の第三十九回支會役員及主事協議會に出席された全員の意見と合致したのである。更にそれが醗酵されて四月の第二十八回全國産業組合大會に於ては、全産業組合の意思として、産業組合擴充五ヶ年計畫樹立の決議となつたのである。

産業組合中央會は五月中旬、主事及主任を以て産業組合擴充五ヶ年計畫委員會を組織し、先づ計畫大綱を定め、更に委員中より主査委員を選定し、各自分擔を定め全職員を動員して調査を開始したのである。諸般の調査を終り計畫の立案が大體出來上つたのは九月の上旬であつて、中旬には全委員會に於て數日に亘りて、其の立案を慎重に審議して成案となし、下旬には理事會參事會に附議し、更に十月の初旬に開きたる第四十回支會役員及主事協議會に提出して、之が確定を見た次第である。

農村産業組合の擴充は、五ヶ年計畫中の重點をなすものであつて、之は我が産業組合運動の實際より見ても、又現時の經濟情勢より見ても當然のことである。五ヶ年間に於て全農村に四種兼營の産業組合を設置して、全農業者を組合員に包容すること、總ての組合を保證責任の組織とすること、各種

事業を積極的に經營すること、系統的機關を絶對利用すること等は農村産業組合運動の目標であつて之が達成は、農村より都市の資本主義的經濟勢力と、其の農村に於ける末梢機關の全面的排除を實現することとなり、こゝに初めて農村独自の經濟的組織を確立なし得ることとなるのである。

確定したる全國的擴充五ヶ年計畫を基準として、各支會では其の地方に於ける擴充五ヶ年計畫を樹て、聯合會や組合も亦五ヶ年間の事業擴充計畫を定めて、全國の産業組合の總ての組織が、昭和八年一月一日を期して、一齊に五ヶ年計畫の遂行に出發せんとするのである。余輩は同志諸君が、我國現時の多事多難の狀勢に鑑み、之が匡救更生の爲めに、將又我が産業組合運動の將來の進展の爲めに、産業組合擴充五ヶ年計畫の遂行に邁進せられんことを切望するのである。

—昭和七年十一月—

二四、昭和七年を顧みて

昭和七年は政治的、社會的、經濟的重大事件が連続して起り、所謂「非常時代」として永く歴史の上に残るべき年であつた。

之を我が産業組合運動に付て觀るときは、産業組合の重要性が非常時代を契機として、遽かに社會に認識せらるゝに至りたる、最も記憶すべき年であつた。

第六十二議會を前後して擡頭したる農村窮迫問題は、遂に農村匡救臨時議會の開會となり、匡救豫算と匡救に關する法律は議會を通過したのであつて、産業組合法や産業組合中央金庫法の改正、特別融通及損失補償法の發布、産業組合を中心とする經濟更生事業等は此の必要に應じ生れ出でたのである。

新たに經濟更生部が農林省に設置せられ、道府縣には産業組合課が新設せられて、中央地方相策應して産業組合を中心とする經濟的、社會的政策の實行を圖るに至りたることは、産業組合運動が政治的に其の重要性を認識せらるゝに至りたる、新しき出來事なのである。

前年より計畫したる産業組合擴充五ヶ年計畫の作成が、經濟更生事業の施設と時を同じうしたることとは、我が産業組合運動の爲めに至幸とするところであつて、これまた昭和七年に於ける重要事と云ふべきである。

其の重要性を認識せられ、重大なる責務を負荷せしめられたる産業組合將來の活動は、來るべき昭和八年に於ける、我が同志の決心と努力とによるのみである。——昭和七年十二月——

二五、産業組合運動飛躍の年

新たに迎へたる昭和八年は、我々同志に取りて産業組合運動飛躍の年である。我々は熱と力とを以て、來るとき一年間に於て大なる飛躍を試みなければならぬ。

産業組合擴充五ヶ年計畫の實行に依る産業組合擴充運動、農山漁村經濟更生計畫樹立方針に依る經濟更生運動、此の兩者は昭和八年をして、産業組合運動飛躍の年たらしむるに十分なる可能性があるのであつて、我々が昭和八年を産業組合運動飛躍の年であると云ふのは、實に之が爲めである。

飛躍には勇氣と決心とを要する。我が産業組合に於ける惡弊の除去、因習の打破、情實の排除が、勇氣と決心とを以て速かに斷行せられざる限りは、昭和八年必ずしも産業組合運動飛躍の年たるを得ないのである。

昭和八年をして産業組合運動の飛躍の年たらしむべく、我々は同志諸君の自覺と自省と勇氣と決斷と實行とを望むのである。——「産業組合」昭和八年一月——

二六、農村産業組合と肥料配給統制

農村經濟の自主的統制を目標とする農村産業組合運動が、先づ其の主力を肥料配給統制に集中することは、我が全農村が一ヶ年間に三億四千萬圓の販賣肥料を消費する上からみても、農業者經濟に於て肥料代が現金支出の最多なものであることからみても、極めて當然のことである。

産業組合に依る肥料の配給は、個々の農村組合の購買事業として既に明治時代から行はれてつたのであるが、之が全國的に統制せられたのは、大正十二年に全購聯が設立されて以來のことである。我々が全購聯を設立した目的の重なるもの一は、實に全農村の購入する肥料を全購聯によりて統制することにあつたのである。大正より昭和の初年に於ける全購聯の忍苦時代を経て、又其の間に於ける産業組合中央會の全購聯事業に關する啓蒙運動によりて、昭和三、四年に至り全購聯の肥料配給事業は、其の實現の可能性を見透し得ることになつたのである。此の時に當り偶然にも、昭和五年に政府の肥料配給改善事業が全購聯によりて實施を見るに至り、爲めに昭和六、七年に於ける肥料配

給事業は急激なる進展を見るに至つたのである。

全購聯は昭和五年に肥料配給十年計畫を定めて其の實績を擧げて來たが、本年に入りて更に産業組合擴充五ヶ年計畫に策應して、新たに肥料配給五ヶ年計畫を樹立することとなり、今や之が決定を急ぎつゝあるのであるが、其の五ヶ年計畫に於ける目標は、全農村の購入する主要肥料の半數を統制せんとするのであつて、更に第二期の五ヶ年計畫に於て全部の統制をなさんとするのである。

全購聯の新たなる五ヶ年計畫を遂行するが爲めには、農村産業組合の擴充五ヶ年計畫が豫定通り遂行されることが前提となるのである。即ち全農村に四種事業を經營する産業組合が設立され、全農業者が組合員となるに至ることが、全国的に肥料配給を統制する爲めに最も必要なことであるから、全購聯自體としても之が實現に向つて努力すべきは勿論のことである。農村産業組合運動に關係ある各方面に於ては、是非共之が爲めに全力を集中せなければならぬのである。

農業者自らが農村經濟を支配することは、農業者にとりて絶對的要件なのであつて、之によりて農業者は新生し、農村は更生するのである。農村産業組合運動の目標は實に農業者が農村經濟の支配權を獲得するにあるのである。全国的に肥料の配給の統制せんとする全購聯の事業は、農業者自らが肥料配給の支配權を執行せんとすることを意味するのであつて、個々の産業組合と地方的聯合會の肥料配給事業は之が共同の執行者なのである。自ら使用する肥料の配給を自ら處理せんとする農業者の行

動に對して、其の個人たると團體たるとを問はず、外部より之を彼是批判すべき理由は決してない譯である。近時産業組合の肥料配給事業が進展するにつれて、地方の肥料商が極度の脅威と不安とを感じるに至り、其の結果として反産業組合運動を開始することとなつたのであるが、我々は彼等の運動に對して敢へて之を阻止するの必要もなく、又之によりて我々の行動を變更するものでもないが、唯彼等の認識不足なることを氣の毒に思ふ次第である。農業者自らのなさざるべからざる正當の仕事、農村として當然行はざるべからざる獨自行動に對しては、他の容喙を許さるのであると云ふ簡明なる原則を認識せざることは、恰も國際聯盟が我國の滿洲に於ける獨自行動に付て認識を缺くのと同様、まことに濟度し難き頭腦を有するものと云ふべきである。若しそれ彼等の云々する政府の全購聯や地方聯合會に對する特別の補助に至りては、國家として當然行はざるべからざる農業保護政策の發現なのであつて、彼等營業者の關知すべからざるところである。

我々は農村産業組合運動の重要部門である肥料配給統制が急速度を以て進展するが爲めに、本特輯號は可成りの役目をなすべきものと思ひつつ擱筆する。——昭和八年三月産業組合と「肥料配給號」——

等二十九回全國産業組合大會は、昭和八年四月二十六日二十七日二十八日の三日間東京市明治神宮外苑日本青年館に於て開催せられるのである。

大會の開催方法に付いては常に種々の意見があつて、其の總てを取入れることは到底至難なのである。今回は二三の新しきことを試みとしてやつて見ることにしたので、幸に結果が良好なれば繼續するし、若し悪かつたならば今回限りとする積りである。

新しき試みの一つは會期を三日間としたことであつて、之は申すまでもなく審議委員會に於ける大會提出問題審議時間を長からしむる爲めである。他の一つは大會場に於て提出問題の説明を八分間以内を限りて爲さしむることであつて、之は出席者全體に大會に提出された問題の内容を知悉せしめ、大會意識を喚起せしめたい爲めである。但し説明にかこつけて問題に關係のない宣傳的の辯論をなすことは禁止したのである。他の一つは二日目の午後の終りを産業組合映畫、産業組合、小唄舞踊等の時間となし、忙しく活躍する我が同志をして、少時のなごやかなる象圍氣につかり得るようにしたいと思ふのである。尙組合表彰式と功勞章贈呈式を二日目の午前としたのは今迄と變つたことである。

今回の大會に於ては、産業組合擴充五ヶ年計畫の促進、完成に關聯したる諸般の問題が論議の中心となるべきは當然のことなのであるが、同時に我國現時の狀態に鑑みて、國民經濟の基礎を確立するが爲めにも、擴充計畫の促進を急要とすることに付て論議せらるゝであらうと思はれる。余輩は超非常時に於ける大會の論議が、現時の國情を認識したる公正なる立場よりして行はれんことを希望するのである。

——「産業組合」昭和八年四月——

二八、第六十四議會と反産業組合運動

反産業組合の質問や建議が帝國議會に現はれたのは、第六十四議會を以て初めとするのであつて、斯の事は同志諸君の永久に記憶すべきことなのである。

購買組合の保護制度撤廢に關する請願は貴衆兩院に提出されたのであるが、貴族院の請願委員會に於て肥料に關係ある議員や、大資本関を代辯する議員が執拗に之を支持したるにも拘らず、兩院共委員會に於て採擇せらるるに至らざりしことは、其の公正なる審議に付て深く敬意を表するのである。同様の質問書が磯部尙氏によりて衆議院に提出せられたるが、農林大臣の明白なる答辯によりて一蹴せられ、豫算分科會に於ける二三の質問も是亦別段問題とならなかつたのである。

磯部尙氏提出の産業組合の取締並に保護制度撤廢に關する建議案は、産業組合取締に關する建議案と改められ、産業組合の違法行爲を嚴重に取締ることを要望する案となつて建議委員會に上程され、漸く可決されたのである。小川郷太郎氏等の提出せられたる肥料政策確立に關する建議案は、産業組合が肥料商を壓迫するから、肥料商も成立して行く様な肥料政策の確立を要望すると云ふ理由の説明があつたので、農村議員側の反對にあひ、建議委員會で否決されてしまつたのである。

農村選出の議員が産業組合に反對する請願や、建議や、法律案に反對すべきことは當然過ぎることであるとは云へ、第六十四議會に於ける反産業組合運動者の策動が全然制壓せられたることは、産業組合運動に直接の關係ある農村議員を中心とする全農村議員諸氏の産業組合に對する誠意の發露によるものであつて、余輩の感謝に堪へざるところであり、同時に之を機として反産業組合運動者の政治的策動に對して平素より深甚なる注意を拂はれんことを、同志諸君に警告するのである。

——「産業組合」昭和八年五月——

二九、世界經濟會議

世界經濟會議はいよいよ來る六月十二日を以つてロンドンに開催されることになつて、我國よりも代表が出席することになつたのである。此の國際會議の招集のことは、昨年七月のローザンヌ會議に

基いたものであるが、之が開催を決定するに至つたのは、ルーズヴェルト大統領が中心となつて、四月下旬に英首相マクドナルド、佛代表エリオとの間に行はれたる豫備的會商の結果によつたのであることは勿論である。

此の會議は、混亂状態にある現時の世界經濟を修正すべき、重大なる役割を持つてゐるのであつて若しも會議が不成功に終るやうなことがあれば、世界經濟は更に一層の混亂に陥るの恐れあるのみならず、遂には國際關係に破綻を生ずるに至るやも保し難いのであるから、會議の結果に付ては今や全世界の注視の的となつてゐるのである。

世界各國が經濟上に於て自國本位の政策を固守することはやめて、國際的協調と協力を主體とする政策を行ふことが、世界經濟の平和時代を招來する唯一の方法である。之は原則として各國共に異議のないところであるが、實際上に於いてはそこに可能と不可能の問題が起るのであつて、今回の會議の難關もいかにせばそれが調整されて、實際上可能となるかといふ點にあるのだと思はれるのである。

我國としても亦實際上の難問題を相當に有してゐるのであつて、會議の結果の如何は、直ちに我が産業の發達、貿易の進展の上に重大なる影響を蒙ることとなるのである。國際的協調と協力を承認すると同時に、我國独自の立場よりして已むを得ざる自國的の主張を貫徹することは、會議の性質上よ

り、又我國現時の國際的地位より見て、必ずしも容易のことにはあらざるべしと雖も、之が成功に付ては深く代表の手腕に期待するのであつて、我々は今より其の結果を注目してゐるのである。

—昭和八年六月—

三〇、産業合理化の再検討

我國の二大ビール会社である大日本麥酒と日本麥酒釀造とが合併したる結果として、直にビールの値上が發表されたが、之は世間がやかましかつた爲め直に中止され、更に政友會が商工省に注意を與へたとかで、値上げは決して行はざることに決定したと傳へられてゐるが、何れ何等かの口實を捉へて値上げする時期の來ること、決して遠きにはあらざるべしと思ふのである。

ビールの値上、之は國民大衆の生活問題に無關係であつて、敢て彼是論議すべきほどのことでない様に思はれるのであるが、然しながら之が産業合理化の成功として誇負推奨するものあることに想到するときは、必ずしも輕視する能はざるところなのである。

我々は産業合理化を以て資本家の爲めにするもの、即ち資本家保護策とは思つてゐないのである。然れども先きには製鐵、製紙の合同が行はれ、後者は新聞紙値上の直接原因となるべしときへ云はれてゐる位であることは、現時行はれつゝある産業合理化が獨占的勢力の強化を結果し、更に其の濫用

によりて國民大衆に不利を與ふるが如き少數資本家保護策に墮するに至るべきを憂ふるのである。

産業合理化が此の如き不都合なる結果を來たさざるが爲め、又國民大衆の誤解を避けるが爲めには政府の産業合理化に關する施設と政策に付て、根本的修正を加ふるの必要ありと認むるのである。

—昭和八年八月—

三一、低金利時代と産業組合貯金

産業組合の貯金利率が高率なことは、組合事業の進展を阻害する重要な原因をなしてゐるのである。之が爲めに資金を低利に供給して、組合員の産業及經濟の發達を企圖することが出來なくなり、又餘裕金の運用に付て系統機關を利用することが至難となり、従つて組合は銀行恐慌の犠牲者となつて多大なる損害を蒙ることが起るのである。

最近兩三年間に於てこそ、産業組合貯金は幾分減少してきたのであるが、それでも其の總額は十億を超えてゐるのである。然れども之が組合の貯金利率が高い爲めに集つてきたものだとなれば、産業組合としても毫も誇るに足らざるところであつて、我々は總額は減少しても、眞の組合主義による貯金の集りを希望するのである。

故志村會頭の如きは、産業組合の貯金利率は郵便貯金の利率と同様であるべきものと云はれてを
つた。今直に郵便貯金の利率と同様にすることは少し無理であらうが、せめて地方に於ける一流銀行の
預金利率と同様にすることが必要であつて、それで組合の貯金が減少するやうなら減少さすべきであ
る。我々は組合員に對する産業組合教育を普及徹底せしむることによりて、貯金の奨励をやりなほす
までである。

今や金融界は資金過剰の低利時代である。産業組合金融に於ても亦貯金増加して其の運用に苦しん
である。此の時こそ我々が多年唱導してをる組合貯金利率の低下をはかり、それを地方の一流銀行と
同率となすことを實行すべき好機である。而して之は我が産業組合事業進展の原動力となるものであ
る。

—昭和八年九月—

三、五百萬人を突破す

最近農林省より發表せられたる産業組合現況によれば、本年六月末に於ける産業組合の数は昨七年

末に比すれば五十二を増加して一萬四千四百四となり、組合員数は十四萬三千人を増加して五百十一
萬八千となつたのである。

「組合数は一萬四千有餘、組合員数は五百萬に達す」とは、我々が二三年前より既に口にしていたと
ころであるが、今や實際に於て五百萬を突破するに至つたことは、國家の非常時、國民經濟の更生を
急要とする時に當りて、我が産業組合運動の擴充の爲め洵に欣快に堪へざるところである。

昔より烏合の衆と云うて、數の多きこと必ずしも誇るに足らずとなせど、産業組合運動の如き民衆
的運動に於ては、先づ以て大衆を獲得することが運動の基礎要件である。而して獲得したる大衆を烏
合の衆たらしめざることは、組合的教育の普及と、組合的訓練の徹底とに俟たなければならぬのであ
る。同時に組合の事業が大衆の福利を増進し、組合が大衆の信頼を得ることの必要あるは勿論のこと
である。

組合員數五百萬突破は、我が産業組合運動行進の速度を物語るものであつて、之に對して恐怖の念
を懷くもの決して尠なからざるべしと思ふのである。要は同志諸君と共に、之を確實化すべく邁進し
たいのである。

—昭和八年十月—

三三、農村生産物の販賣統制

農産物の販賣は農村經濟の重點をなすものであつて、農村の經濟的活動の總ては之を出發點とするのである。されば農村産業組合運動に於ては、産業組合によりて生産物の販賣を統制することが其の一部門となつてをり、之が實現に向つて進出なしつつあるのである。

我々は現在の無統制な生産物の販賣方法を統制せんが爲めに、全國農産物販賣聯合會を設立して、各種の農業團體による生産物の販賣を全國的に統制するか、或は又現在の全販聯を擴大して之を行はしむるかとの二案を提唱してゐるのである。

仄聞するところによれば、農林當局は全販聯を擴大して米、麥、豆、菜種等の販賣を統制せしむる外に、更に其の他の農産物販賣の爲めに特種の機關を設立する計畫を立てて、其の豫算を要求せられたりとのことであるが、我々は之に對して、徒らに自らの主張を固執して反對するが如きことをなさず、其の計畫の實現せられんことを希望してゐるのである。

現状に於ても、農村産業組合の總てが販賣事業を積極的に行ふこととなり、組合員たる農業者の總

てが、其の生産物の販賣を總て組合によりて行ふこととなり、組合又地方的及全國的の聯合會を絶對的に利用することとなるときは、農村生産物の販賣は直に相當程度の全國的統制をなし得るに至るのである。農村産業組合は須らく先づ之を實行なすべきである。 — 産業組合 昭和八年十一月 —

三四、反産運動と中小商工業者

日本商工會議所が音頭取りとなりて全日本商權擁護聯盟の看板を押立て、反産業組合運動を高潮化することに協力なしつゝあるは、中小商工業者の大中の金融資本や産業資本に對する抗爭を轉向せしむる爲めの方略として、極めて賢明なるやりかたであつて、我々の感服に堪へざるところなのである。

X X

中小商工業者は現在の資本主義經濟機構の内部に於て、其の經營上に至大なる痛苦を受けざるべからざるもの、又其の一部は没落の運命より免れ得ざるものなることは、既に事實の證明するところであつて、是實に資本主義經濟のもたらすべき當然の歸結なのである。而して此の没落の運命にある中小商工業者對策に付ては、國家として適正なる政策を實行せざるべからざるものであつて、商工會議所の如きも之に對して、眞剣なる態度を以て臨むべきである。

X X
我々とても、中小商工業者の痛苦と没落とに對しては大なる同情を拂ふものであるから、國家が之が救済に對して適正なる方策を實行することを歓迎するのであるが、彼等反産業組合運動者が主張するが如き、農村産業組合運動の進展を阻止し、農村と農業者に對する國家の保護政策を消極的ならしむることによりて、中小商工業者對策を解決せんとするの方策には絶対に反對するのである。

——「産業組合」昭和八年十二月——

三三、學國一致の秋

非常時日本の國際的地位と國內的情勢とを認識して、國家の興隆と國民の康寧とに學國一致の行動をとらざるべからざるの秋に際して、五百有餘萬の我々同志は、皇室を中心とし國家を本位とする國民精神を基調として、一意専心益々産業組合運動に邁進すべきである。

X X
今や、産業組合の組織は整備せられ、全國的聯合機關を中樞として、全組合員の經濟生活を協同化し、自主的統制を行ひ得るの狀態に到達せんとしてゐるのである。若しそれ組合員にして此の現状を認識し、之が到達に向て萬全の方法を實行するときは、ただに組合員の經濟生活を向上安定せしむる

に止まらず、其の組織的活動は國家有事の時に當りて大なる役目を果し得るに至るべきである。

X X
我々同志は、我々の運動の重要性と強固性とを認識して、非常時日本の國民としての本分を盡すことに専念せなければならぬ。

——昭和九年一月——

三六、大膽にして無責任なる反對運動

我國財閥の巨頭郷男爵は、東京商工會議所會頭として本年一月七日の都新聞紙上に、「産業組合の不當なる進出は益々跳梁を極め、ために一般中小商工業者は今や困憊の極に達せんとする狀況である。余も亦産業組合の過當なる保護特典が漸廢せられ、此際從來の違法行爲その他の弊風を一掃し、以て一層多事多難を豫想せらるゝ本年經濟界が均衡ある進展をなすことを切望してやまざるものである」と論ぜられてゐる。

余は郷男爵の意見に對して「少數財閥や特權階級の過當なる權益獲得を抑制することが、本年經濟界の均衡ある進展を期する所以であり、同時にそれが國民思想の作興と國家の興隆とを圖る所以である」と、強調するのである。余の此の主張は、恐らくは一部の少數者を除くの外は、國民大衆の共鳴

せらるゝところであらうと思ふのである。

産業合理化の美名の下に少數財閥に有利なる産業統制を行はんとし、或は又金融資本の勢力を濫用して消費者に不利なる販賣組織を確立せんとするが如き、自らの行動が大衆經濟の不利を招致し、中小商工業者の窮迫を結果なしをるにも拘らず、之を一に産業組合の進出に轉嫁して、社會を欺瞞せんとする厚顔無恥なる言動に對して、余は其の大膽さと、無責任さにあきれざるを得ないのである。而かも此の大膽さと、無責任さが、彼等の過當なる權益獲得の原動力をなしてゐることは、我々の留意せざるべからざるところなのである。

此の如き大膽にして、無責任なる反對運動に對する唯一の方途は、我々自體の結束を鞏固にし、統制を緊密にして、一糸亂れざる持久的行動をなすと共に、必要あれば全國の同志が蹶起して一大運動を起すより外にないのであつて、此の事は我々同志の既に決意してゐるところであると信するのである。

—昭和九年二月—

三七、範を超えざる産業組合運動

經濟上弱者の地位にある中産以下の國民大衆の經濟生活を協同化することによりて、これら大衆の

經濟的地位を向上安定せしむることが、我々の産業組合運動に課せられたる任務なのであつて、この任務遂行の爲めには現在の資本主義經濟社會に存在する各種の經濟機構に對して、相當の影響を與ふることは避くべからざる當然事なのである。

然りと雖も我々同志は現在の資本主義經濟機構に對して、之を打倒するとか、之を否認するとか云ふ様な、矯激なる主張をなして自ら快とするものではない。我々は合法的であり又平和的である産業組合運動によりて、大衆經濟の協同化を實現なし、其の鞏固なる統制力を以て、大衆が資本主義經濟機構より受けつゝある禍害を排除せんとするのである。之を農村に就て云へば、五百有餘萬戸の農家經濟を協同化することによりて、農村經濟を農民自らの統制的勢力の下に置くことゝなし、農民個々の經濟活動を資本主義經濟機構との接觸より離脱せしめ、之に代ふるに全農民の協同化したる經濟組織を以てせんとするのである。而してこれは、農村の經濟的勢力を都市資本主義の經濟的勢力に對して優越ならしむる唯一の手段なのである。

「相互協同」は産業組合の道德である。之を基調として組合員の總ての經濟生活を協同化するが爲めには、産業組合は飽までも其の門戸を開放して大衆を包容することに努むるのが當然である。之れと同時に、組合の總ての活動は、國家の法制の容認する範圍内に於てなすべきものであることは、敢て言をまたざる次第なのである。産業組合法によりて設立されてゐる産業組合、政府の監督と保護の下

に活動しつゝある産業組合、現在の社會機構の内部に於て擴大強化されつゝある産業組合は、一部の人士が唱導しつゝあるやうな、我が國家社會の爲めに不利なる行動をしたり矯激なる思想を宣傳したりするやうなことは全然ないのであつて、これは彼等がためにするの虚構なる宣傳であることを斷言するのである。同時に我々同志は、彼等をして誤解せしむる様な言動を避くることも、時節柄必要なのである。

—昭和九年三月—

三八、産業組合と政治運動について

政治的中立はロッチデール先驅者の原則として、世界の産業組合運動に於て今も猶承認されてゐるのであつて、我が産業組合運動も亦この原則に準據して今迄進み來つたのであるし、今後も亦今迄通りに進み行かんとするのである。

されど産業組合の政治的中立と云ふことは、必ずしも産業組合が全然政治運動に觸るべからざるものなりと原則づけたのではなく、特に或る一つの政治的勢力に依屬すべからざるものなることを原則づけたのであつて、しかもこれは産業組合が或る一つの政治的勢力に利用せらるゝことを防止するが

爲めであり、又産業組合内部に於て政治的抗争の誘發せらるゝことなからしむるが爲めなのである。

産業組合運動が其の目標に向つて邁進するに當りて、そこに種々なる障害が起り、反對が現はれることは豫期されてゐるところであつて、之れを排除し、それを抑壓して進み行かんが爲めには、勢ひ政治運動に接觸するの已むを得ざるに至るのであることは、我國産業組合運動の現状が示す通りである。

然りと雖も産業組合の政治運動は、産業組合自體として直接なすことを避くべきものであるから、先づ之を現在の政治的勢力によりて行ひ得るの方法を採らなければならぬ。即ち議會に於ける各政治的勢力内にある我々の同志、若くは我々の主張に共鳴する者を通じて、産業組合運動の勢力を政治上に確保することゝなすべきである。而してこれは、或る一つの政治的勢力でなく、總ての勢力を通じてとるべきことであつて、そこに政治的中立の原則が生きてゐるのである。更にこれは、現在の政治的勢力が産業組合運動の主張を認識し、其の進展を政治的に援助する間は繼續なすべきである。

—昭和九年四月—

三九、相互協同の精神の強化

産業組合運動の基調は相互協同の精神である。組合の事業である組合員の経済の協同化は、この精神を實際に發現したるものであり、組合と聯合會との關係に至りても、亦この精神によりて規範づけられてゐるのである。従つて産業組合運動の將來は、相互協同の精神が大衆の経済活動の上に強く受入れられるや否やによりて、其の進展の度を決定せらるゝことになるのである。

相互協同の精神の強化は、たゞに産業組合運動の直接経済的活動を行ふ部門にのみ必要であるばかりでなく、其の他の部門に對しても、更に一層の必要さがあるのである。即ち産業組合運動の重要な一部門である指導的監督的活動に於ても、之に従事する各機關が相互協同の精神を發揮して、協力一致の行動を取ることが絶対に必要であり、同時に直接経済的活動を行ふ部門との間に於ける、相互協同的行動を強化することが大いに必要なのである。

産業組合擴充五ヶ年計畫の遂行を機として、中央と地方とを問はず、産業組合運動の各部門内及各部門間に於ける相互協同的行動は、著しく強化せらるゝに至りたることは洵に喜ばしきことである。されど全國を通觀するときは、未だ從來の因襲的弊風を除去することを得ずして、或は又最も忌むべき個人間の感情的對立、自己本位の排他的行動等の爲めに、一部門内に於ける、若しくは各部門間に

於ける相互協同的活動を阻止し、之れが爲めに其地方の産業組合運動を、全面的に停頓せしむるの結果を招來してゐる地方が皆無と云はれざることは我々の甚だ遺憾とするところなのである。我々は此の如き地方の同志諸君に對して深甚なる省慮を拂はれんことを要望するのである。

— 昭和九年五月 —

四〇、鶏卵販賣の統制

全販聯が其の取扱品目中に鶏卵と木炭を加ふることを決議したるは、産業組合による農村生産物販賣統制上に一步を進めたる次第であつて、余輩は一日も早く之が開始を望むものである。

鶏卵は農村の副業生産品として最も普遍的のものであり、古くより農村産業組合の取扱品となつてゐたのであるが、最近に於ては道府縣販賣組合聯合會によりて地方的に販賣統制をなすべく進み來つたのである。されば昨年末に其の事業を開始したる鶏卵聯合販賣所も、先づ地方的統制の或る程度に行はれてゐる、愛知、静岡、千葉、長野の四縣聯合會によりて組織されたのである。

全販聯に於て全國的に鶏卵販賣の統制を行ふに當りて、最も必要なことは地方的聯合會による出

荷の統制であつて、之が相當の程度に行はれざる限りは、事業の進展は到底期待することが出来ないのである。之が爲めには、農村産業組合が鶏卵の取扱を積極的に開始すると同時に、聯合會の規定する集卵、検査、荷造、出荷の方法等を勵行することが最要事なのである。更に進んでは、現在他の共同販賣團體に於て出荷なしをるものをも、適當に協調を重ね、理解を求むることによりて、産業組合に合流せしむるよう努めなければならぬのである。

「産業組合は存外商賣氣が強い」とか、「産業組合はとかく我儘を云ふ」とか、「産業組合はどうもあてにならない」とか云ふ組合との取引上に付ての批評は、余輩が時々内部間に於ても、又局外者よりも聞くところであるが、販賣事業の如き、其の相手方の大部分は組合外である場合に於ては、かりそめにも以上の如き批評を受くることは、組合事業の大成を期する所以でないと思はなければならぬ。鶏卵販賣の統制に向つて出發するに際して、特に同志諸君の省慮を促す次第である。

—昭和九年六月—

四一、第三十回全國産業組合大會

全國産業組合大會は、毎年一回東京若くは其の他の地に於て開催されるのであつて、我が産業組合

運動に關係する全國の同志の總てのものが、自由に出席なし得る會合なのである。従て此の大會には一萬乃至一萬五千の同志を集せしむること、決して難事ではないのであるが、會場や其他設備の關係よりして、従來は少なきは二千五百、多きは六千位に出席者を制限し來り現に本年鳥取の大會に於ても六千人に限定したのである。

既に三十回を経過したる全國産業組合大會、之を開催するの意義と目的とは、歴史的に考察することを要するのであつて、之を現狀に即してのみ單純に觀察したり、或は又大會なる名稱を普通なる意味に於て論議したりすることによつて、我が大會を批判し検討することは、寸毫の實際的價值なき遊戯的討論に終るのである。

全國的大會は、極めて嚴肅にして眞摯なる部面を有すべきと共に、又極めて寛容にして愉快なる部面を有すべきである。前者は産業組合運動の意圖を表現し、迫力を發露するが爲めに働き、後者は全國同志の友情性を濃厚ならしめ、明朗性を増進するが爲めに、必要なのである。更に又全國大會は社會に對する示威的效果あると同時に、組合内部に於ては自己勢力認識と組合思想強化の好機となるのである。

特殊性と多面性を有する我が大會、而かも數千人の大衆を集せしむる大會を、極めて權威あらしめ、又極めて効果的に開催するは、決して容易なることではないのであつて、地方的事情と時代的情

勢を察知して、適正なる方法を探ることが必要なのである。

今回の大会が、六千人の大衆を全二日間を通じて會場に安定なさしめ得ざりしことは、其の事由が如何なる點にあるとしても、之れが大會の權威と効果とを減殺したることに付ては、疑問の餘地がない譯である。而して明年長野市に於て開催せらるべき全國大會に付ては、之に鑑みて慎重なる研究をなすべき必要を認むるのである。

—昭和九年七月—

四三、餘裕金問題

昭和八年に於て我が産業組合は一億一千五百八十萬圓の貯金増加を見たるに、貸付は僅かに四百九十四萬圓の増加に過ぎずして、五億五千六百萬圓の所謂餘裕金を有してゐることに付て、私は鳥取市に開催されたる全國産業組合大會に於て、「諸君と共に大いに頭を捻らねばならん所の重要問題であると思ふのであります」と言明したのである。

X

X

その後全國信用組合聯合會協會は、餘裕金運用に關する調査委員會を設けて調査研究を重ね餘裕金に關する對策を決定したのであるが、其の動機は必ずしも私の問題視なしたる觀點より生れ出でたのではなく、信用組合聯合會の現状打開の爲め餘儀なくせられたるものであるとは云へ、決定されたる對策が、私の提出したる問題に對する答案として、極めて價值あるものであることを喜ぶ次第なのである。

X

X

餘裕金問題に付て先づ第一に吟味すべき問題は、我が産業組合が餘裕金の運用に苦しむ程に、組合の機能の發揮が可能の域に達してゐるや否やといふことである。換言すれば總て組合として爲さざるべからざる活動を爲し盡したるやと云ふことである。これに對しては誰でも、未だ然らずと答ふるに躊躇せざるべしと信するのである。果して然らば現在の餘裕金は、組合全體より見て眞の餘裕金と云ふべきものではなく、組合活動の資金として運用せらるべきものであつて、而かも種々なる事由の爲めに、それが運用せられざるのであるといふべきである。換言すれば餘裕金の増加は組合事業發展の速度の低下に起因するものであると見るべきである。

X

X

今や四圍の情勢、益々産業組合運動の積極的進出を必要とするの時、此の機を逸せず我が同志諸君が、組合事業の進展に勇往邁進せられんか、それに要する資金は激増するに至り、餘裕金運用問題の如きは自然解消することゝなるべく、私は一日も早く斯の如き時期の到來することを望むのである。

四三、蠶繭處理問題

繭價の暴落による養蠶農村窮乏對策は、今や朝野の大問題となりて、政黨や農業團體は何れも其の對策を發表して、之が實行を政府に要望することになつたのであるが、政府も亦其の急要なることを認められ、取り敢へず應急對策として、夏秋蠶繭共同保管助成金百二十萬圓、主要養蠶地方桑園整理助成施設費七十五萬圓、桑園混作獎勵施設費百五萬圓を支出して、焦眉の急に應ずることゝなつたのである。

我國の蠶糸業は時勢の變遷に伴うて、到底舊態に膠着することを許さず、一日も早く根本的の革新を要するのであることは、既に衆人の認むるところであつて、産繭量の統制、産繭處理の統制、桑園の計画的整備、輸出生糸の販賣統制、養蠶農村の經濟更生計畫樹立等全面的に互りて蠶糸機構の改組を急要とするのである。

我々は養蠶農村窮乏打開の根本策として、産業組合による産繭處理を主張するのであつて、即ち養

蠶農家と、その組織する養蠶實行組合を農村産業組合に加入せしめ、産業組合の協同經濟範疇内に、産繭處理事業を取入れることとするのである。而して産繭處理に關する實際の事業は、之れを目的とする特殊の一郡若しくは數郡區域の聯合會によりて經營することとなし、府縣の購販聯合會は之を統制すると同時に、糸聯との聯絡協調に關する働きをなすのである。

産繭處理を目的とする各種の施設、即ち繭市場、共同繭倉庫、組合製糸等は、總て之を目的とする特殊聯合會によりて經營することとなし、更にこれらの施設が何れも、其の最後の理想とする組合製糸に進展すべく、堅實なる前進をなすときは、我々の目標とする組合製糸による輸出生糸三割生産を可能ならしめ得るのであつて、養蠶農村經濟更生の爲めには、是非共實現せざるべからざる緊要事なのである。

—昭和九年九月—

四四、米穀對策調査會の取扱ふべき主要問題

政府は米穀對策調査會を開催して米穀根本對策に關する諮問をなし、今や調査會は之を審議中なのである。

米穀調査會、米穀統制調査會、米穀對策調査會と、經濟情勢や社會情勢の變遷に伴うて、特に新らしく調査研究をなすの必要が起り來るべきはもとよりのことなりと雖も、さりとて當然決定せざるべからざる重要事項を、徹底的解決をなし得ざりしがために、同種異名の調査會を重ねるが如きは、餘りに感心せざることなのである。余輩は今回の調査會が、其の名の示す如く米穀對策を根本的に樹立なし得る、公正にして權威ある成果を決定せられんことを望むのである。

米穀統制法運用の根基をなすものは外地米の統制である。外地米の完全なる統制を行ふことなくして、内地に於ける統制法の運用が、其の効果を發揚なし得ざるは當然のことである。従つて外地米の統制は政府の事業として完全に行ふべきであつて、此の事を忘れたる現在の統制法は、穴のあいた桶に水を入れると同様なのである。今回の調査會では、此の根基を確立することが第一の役目なのである。

米穀統制法の効果が、一年中の或る時期に限り現はれたり、地主や富農、若くは米穀商の販賣する米に偏したのでは駄目なのであつて、それが一年中を通じて全農業者の販賣する米、殊に收穫期に於ける中小農業者の販賣米に現はれることを要するのである。之がためには、産業組合と農業倉庫による自治的統制を強化するより外に方策がないのであつて、調査會で之が方法に付て攻究すべきである。

價格の安定に伴ふ生産の増加に對する方策は、調査會で取扱はざるべからざる至難なる問題であつて、之は自治的統制の強化と聯關して攻究すべきである。更に米穀の專賣制度に至りては當面の問題としては實行の可能性に乏しきも將來の爲に研究するは結構な事である。

—昭和九年十月—

四五、産業組合の系統組織制について

我國に於ける産業組合の系統組織は、普通に所謂二段制と稱せらるゝものであつて個々の産業組合は地方的聯合會によりて又地方的聯合會は全國的聯合會によりて、其の協同運動を強化し統制するの制度となつてゐるのである。之に對して所謂二段制と稱せらるゝものがあつて、其は地方的聯合會を廢止して、之に代ふるに全國的聯合會の支所又は出張所を以てし、更に一層徹底したる強化統制を行ふべしと主張するのである。

産業組合運動の地方的特異性と地方的自主性を發揚することによりて、組合の機能を大衆の經濟生活上に浸潤せしむるが爲めには、三段制の組織による個々組合、地方的聯合會、全國的聯合會の各種機關が有する、其の各自の特殊機能を完全に發揮することが最も必要なのであつて、二段制の組織によりては到底企及なし得ざる微妙性が存在してゐるのである。

三段制の長所は最も顯著に金融事業の上に發現され得るのであつて又其の長所を發現するに非ずんば、組合金融の大衆的意義を全うすることは出来ないのである。産業組合金融に於ける地方的聯合會の任務は、地方的聯合會の活動に俟たざればなし能はざる重要な特異性を有してゐるのである。之に所屬する組合の過去現在將來に於ける状態を明確に知悉し、組合の眞實に付て適正なる判断をなし得ることに依りて、組合に對する信用の附與を極めて實際的ならしめ得ることである。換言すれば、單に白地信用を基準とする信用附與の方法に加ふるに組合自體の人的信用を加味なし得ること、寧ろ後者に對して重要性を與ふることが、實際に於て組合事業を大衆的ならしむる所以であつて、そこに地方的聯合會存立の價值があるのである。此の事は全國的聯合會の支所や出張所によりては、なし能はざる重要部分であつて、而も之が爲には、常に地方のことに専念する誠意ある地方的組合人の参加を必要とするのである。現在の地方的聯合會は、未だ此の重要部分に於ける任務を遂行なし得ざるものが甚だ多いのであるから、先づ之を遂行することに向つて邁進すべきである。尙購買事業、販賣事業に付ても、地方的特異性と地方的自主性の必要を無視することは許されないものであつて、之を二段制になすべき積極的理由は見出し得ないのである。若しそれ二段制となすことによりて手数料を節減なし得べしと云ふが如きは寔に迂遠なる觀察であつて、且つ重要視するの價值がないのである。要するに余輩は之を實際運動の上から見て、今直に現在の系統組織制度を論議して之が更改を研究

するの必要を認めないのである。

— 昭和九年十一月 —

四六、最善の努力をなすべき強き決心

北陸地方の水害、九州四國地方の旱害、東北地方の冷害、關西中國其他の地方の風水害等、天災連續したる悪年は漸く終末に達したりと雖も、これら災厄より生じたる損害や窮迫に對する適策の遂行に付ては、明年に持越されるもの其の大部分を占むるのであつて、而もその遂行が産業組合の活動に依らざるべからざるもの甚だ多いのである。

X X

北米合衆國及加奈陀に對する柑橘の輸出を、生産農業者の手に收めんが爲、急遽大日本柑橘販賣組合聯合會が設立せられ迂餘曲折を経たる後遂に輸出數量を二分なし、其の一を聯合會が獲得なし得るに至りたるは、寔に悦ぶべきことなりと雖も、輸出に際して輸出組合との抗争生産農業者側の内部統制等幾多困難なる問題に直面したのであつて、これらに對する根本的方策の確立は明年に残されたる仕事なのである。

X X

全國市街地信用組合協議會に於て喧しく論議されたる、市街地信用組合大藏省專管問題の如きも其の可否に付ては理論的にも實際的にも検討すべきこと甚だ多いのであるが、これまた明年に持ち越されたる重要問題なのである。

米穀の自治的統制、産滿處理統制、販購事業の積極的經營等に對應すべく個々組合の整備擴充強化と、最近の繭絲低落に禍されたる信用組合聯合會への對策、これも亦明年に於て施行せざるべからざる緊要事なのである。

加ふるに明年は擴充五ヶ年計畫の第三年度であつて、五ヶ年中の最大なる割當數量を遂行すべき決心を來るべき年に對して持たれんことを望むのである。

—昭和九年十二月—

四七、昭和十年を迎ふ

茲に昭和十年を迎ふるに當りて、謹みて我が 皇室の繁榮を祝し奉ると共に、國運の隆昌を祈り、全國の同志諸君が清新明朗なる元氣を以て、各自其の本分に努力せられんことを希望するのである。

昭和十年は、國民の總てが種々なる意味に於て大なる關心を拂ひつゝある年なのであつて、今やそれが我々の前に到來したのである。國內的にも國際的にも多事多難なる我國非常時は所謂一九三五年の危機なる今年に於て果して如何に展開せられるであらうか、これが我々の注視を要するところであつて、同時に舉國一致の緊張を要するところである。

昭和十年は産業組合運動にとりては、擴充計畫第三年度の年なのであつて、最も多く割當てられたる計畫豫定數を必ず遂行なさざるべからざる、重大なる責任が課せられてゐるのである。我々は諸國の同志諸君と共に、第三年度事業遂行運動に協力邁進なして、我が産業組合運動の名譽を發揚せなければならぬのである。

第六十六議會は幸にして、災害豫算や關係法律を決議して無事閉會を見るに至つたのであるが、月末より再開せらるゝ第六十七通常議會は、恐らくは幾多の波瀾曲折を重ねるありて、其の結果は豫測し難きものがあるだらうと思ふのである。其の間に於て米穀統制問題、蠶絲對策問題、農産物販賣中央機關等産業組合關係の重要問題が論議せらるべく、同時に反産運動側の議會に對する策動は當然行

はるべきであるから、全國同志諸君は今より之に處するが爲め、各自地方的に善處せられんことを希望する。

—昭和十年一月—

四八、農村生産物販賣組織の問題

農村生産物の販賣を全国的に調整するが爲め、産業組合、産業組合聯合會及農會を以て、其の出資者とする、出資總額二千萬圓の有限責任特別法人を組織せしめ、之に對して政府は十五萬圓の助成金を交付なし、全販聯は之を解消せしめんとするの計畫に對して産業組合側に於ては反對の態度を表明したのである。

X X

昭和七年九月、我々は政府と産業組合の共同出資による全國農産物販賣聯合會の設立を企圖し、之によりて農村生産物全體に亘りての販賣統制や販賣斡旋を調整せんとしたのであるが、爾來二ヶ年有餘の歳月を經過し、全販聯は販賣組合の全国的中央機關として其の事業漸次進展せんとするの時に當りて、之を解消して新に産業組合と農會の共同出資による販賣機關を組織せんとするが如きことは、産業組合側として忍ぶ能はざるところであつて、之に反對するは蓋し已むを得ざる次第なのである。

農村經濟更生の爲めに、農會と産業組合とが提携協調せざるべからざることとは、今更暇々するを要せざるのである。然れども此兩者の事業に至りては、其の分野明々白々たるものありて産業組合側の限定せられたる活動分野に比ぶれば、農會側の活動分野は廣汎無限なのである。

X X

農村の金融、購買、販賣、利用等の經濟的活動に至りては、産業組合の領域に屬すべきものであつて、近時全國を通じて其の分野が漸く明確ならんとする時に際して、産業組合及農會の共同出資による販賣組織を設けんとするが如きは、反つて兩者の活動分野を混沌たらしめ、農會の進むべき道を歪曲するものであつて、農村將來の爲め甚だ好ましからざることなのである。

X X

産業組合側は今や其の態度を明らかにしたのであつて、而かも之は公正にして合理的なる主張と確信し、農村將來の爲めにかくあるべきものと思惟してゐるのである。政府は宜しく我々の主張を吟味して、適當なる措置に出でられんことを望むのである。

—昭和十年二月—

四九、警戒すべき産業政策調整論

町田商工大臣は、去る二月九日衆議院の豫算分科會に於て産業行政機關の整備統一問題に關する質問に對して、「産業關係の行政機關の對立は事務上相當の支障を來してゐると思ふから、内閣審議會が設立され、ば総合的産業政策に關聯して、機關の整備統一問題を審議したい云々」と答辯してゐる。

日本商工會議所では二月十四日に臨時總會を開催「産業政策調整確立に關する建議」を決議し、政府及各政黨に建議したのである。

最近に於て農村對都市、農業者對商工業者の間に利害の對立を見るの産業問題が頻出してゐることは事實である。然れ共之れら問題の何れを觀ても、農業者が過去の狀態、現在の狀態に満足してをりさへすれば、問題とならざるものゝみである。肥料問題にしても農業者が各個別に若くは一村の組合位で、肥料商より肥料を買入れてをりさへすれば、問題は決して起らないのである。米穀の問題にしても昔の儘に農業者が米を仲買にでも賣つて居れば、やかましき問題はないのである。又北米や加奈陀に輸出する密柑も、輸出業者の組合に一任しておきさへすれば、かれこれの問題は起らないのであ

る。凡てのことを昔の儘にやつてをれば、恐らくは産業政策調整の必要もなかるべく、又総合的産業政策を標榜して、機關の整備統一を主張するの要もなかるべしと思ふのである。

東京商工會議所あたりが、農林商工兩省合併問題で各方面の脈を引いてみたり、又政府や政黨の一部で産業省論があるのも、要するに農村側が過去の都市追隨主義の經濟活動に満足せず、獨立自主的の經濟活動に進出せんとするの氣運を抑制せんとする、眉唾物の産業政策調整、産業機關統一の主張であることを看破すべきである。従つて農林商工兩省を合併して産業省となすが如き提議は、議論の價値なきものとして、一笑に附すべきである。

—昭和十年三月—

五〇、更に一層の強き結束を要す

一面に於て農村匡救の必要を絶叫して、或は爆彈動機に、或は地方財政調整交付金制度に、政府も政黨も農村の更生、農村の振興を熱心に論議しつゝある時に當りて、農村經濟の協同化、強力化を實現すべき、農村産業組合の活動を抑壓せんとする論議をなすものが、政府政黨間にありとすれば、我々は唯唯然たるのみである。

今回の第六十七議會に提出せられたる米穀自治管理法案、産繭處理統制法案の審議に際して、我々の最も注目せざるべからざる動向は産業組合運動に對する反動的氣分が、議員間に受入れられたことである。之は主として都市側の一部議員によりて、機會ある毎に煽揚せられたる爲めであつて、而も之れに對して公正なる見地より、産業組合の爲めに論辯する議員の極めて少なきことは、我々の特に記憶すべきことなのである。我々は農村に於ける産業組合運動の本質と其の重要性とを、農村議員に理解せしむる事の必要なるは申すまでもなきことなれど、更に必要なることは既にそれを知悉してゐる、寧ろ我々と共に實際の運動に當つてゐる同志を、農村議員として持たなければならぬことであつて、今回の議會に於いて、我々は實にそれを痛感したのである。

米穀自治管理法案に對する衆議院の修正案の如きは、我々農村産業組合側の希望を輕視したる、都市議員主張に偏重したる修正であつて、我々の決して満足なし能はざるところである。而かも都市側の議員は之に満足せずして、より以上の修正を強要したとさへ云はれてゐる。而して何れも反産運動の強き現れであつて、米穀商等の反對運動と相通する都市の資本的勢力によりて、動きつゝあるものと見るべきである。

我々は、我々の農村産業組合運動進出の爲めには勿論のこと、現在の線を維持するが爲めにも、より強き結束の力を要するのであり、それは經濟上のみならず、更に政治上にも及ばなければならぬことを、今回の議會に於いて痛感させられたのである。

—昭和十年四月—

五一、我々の期待に反したる第六十七議會

非常時が叫ばれて既に數年、其の間非常時が必要とする強き政治は、少しも行はれてゐないのである。非常時は力強き公正なる政治によりて、社會機構の全面にわたりて是正と革新を行ひ、以て來るべき時代に適應すべき、平和にして安定したる社會を現出することを要望してゐるのである。今日に於ける一切の社會的不安、社會的動搖、これを安定化し平靜化して、清新明朗なる社會を持來すにあらずんば、國際的危機による非常時は解消することありとするも國內的事情による非常時は、決して解消するの時は來らないのである。

最近開かれた第六十七議會は、非常時の議會として幾多の重責を有し、我々は議會に對し大なる期待をかけてをつたのである。然るに其の實績は全然我々の期待に反し、非常時議會の價値なきものなりしことを認識するの止むを得ざるに至つたのである。斯くの如きは一に、斷乎として其の政策を實現せんとするの勇氣なき弱力内閣の存在に原因するものなりと雖も、而も議會にして國家の非常時を認識し、其の重責を考慮するなれば、我々の期待を全うすることは、決して至難ではなかつたのであ

る。

我々は茲に第六十七議會が、我々の爲めに極めて好ましからざる議會なりしことを言明すると共に政府と政黨が取りたる議會對策に付ては、深甚なる不満足を表明するものである。更に我々の同志に對しては、今回の事を深く肝銘して、再び同事を繰返さざる様に結束を強くし、準備を全うすることを熱望するのである。

—昭和十年五月—

五三、第三十一回全國産業組合大會を顧みて

五月十八日十九日の二日間長野市に開催したる第三十一回全國産業組合大會は、未曾有の盛會を以て無事終了したのである。今回の大會の出席者は一萬二千餘人の多數に達し、而も二日間にわたりて極めて整靜に、又著しく緊張したる空氣のうちに、豫定の日程を滞りなく進め得たのである。

第六十七議會に於て我々同志が支持したる米穀と産繭の兩法案が、審議未了に終りたる結果として反産運動側は氣勢遽かに揚り、四月以降各地に種々なる反産の事實が現はれ初めたのである。これは我々の豫期したところであつて、又彼等として極めて適切なる戰術なのである。殊に反産側は其の勢力を全販聯や、全購聯の如き全國的中央機關の攻撃に集中なし、個々の産業組合や地方的聯合會と全

國中央機關との系統的業務關係を爆破して、産業組合運動の陣營の内部を攪亂なすべく畫策なしつつあるのである。

此の時、我々同志一萬有餘人、全國より大會に參集なして、我が産業組合運動の陣營の強化を決意し、擴充五ヶ年計畫第三年度事業の遂行に邁進することを決議したるは、全國同志の士氣を鼓舞し、反産運動を壓伏するが爲め極めて機宜を得たることであつて、又儘かに其の効果を收め得たことであると確信するのである。全國の同志諸君は大會に於て發表せられたる宣言と決議を完全に理解せられて、産業組合運動の前進に向つて少しも遠慮するところなく奮闘せられんことを望む。

今回の大會にては、審議委員會や支會役員主事協議會に於て産業組合の政治運動に關して熱烈なる論議が闘はされたのであるが、これは最近の第六十七議會の情勢よりしても、極めて當然のことと認めなければならぬのである。然れども産業組合の政治運動に關する問題は、徒らに聲を大にして高言壯語すべきものでなく、深慮遠謀功を實際に收むべきことを期待せなければならぬのである。此の點また、全國同志諸君の深き留意を望む次第なのである。

—昭和十年六月—

五三、平凡にして月並的なる反産意見

日本商工會議所の會頭郷男爵は、五月三十一日全國道府縣經濟部長の招待晚餐會の挨拶中に於て、産業組合の進出を阻止すべきことを強調し、産業組合に對する中央及地方に於ける政策を是正すべきを主張されてゐるのである。郷男によれば、(東京朝日新聞記事による)「産業組合は其の領域を超えて純然たる商工業の範圍に逸出し、生産者より直接消費者へをモットーとして中間配給機關の排除を圖つてゐる」として、我が産業組合の活動を行過ぎたものと考へてをられるやうであるが、我々をして云はしむれば、「商工業の範圍」とか「中間配給機關」とか云ふこと其のものが、社會の變遷を無視して果していつまでも、過去及現在に於けるが如く對然と分界されて存在すべきものであるか、どうか、そこに大なる疑問を有するのである。従つて我々は農民の利益に重點を置いて、その點を實際の動きによりて解決してみようとしてゐるのである。

郷男は「今日の産業政策が農村本位、農業偏重に過ぎるの傾向あり」と認められてゐるやうであるが、幸にして之が郷男の私見であれば結構であるが、若しもそれが、日本商工會議所を代表したる意見であり、又大資本閣の共通意見でありとすれば、郷男の憂慮せらるる農村と都市、農業と商工業の對立抗争は、決して緩和されるどころか、益々激化するに至るべきである。

今日の農村が、總ての點に於て都市に比すれば不利な地位に置かれ、農業が全面的に商工業の爲めに制壓せられてをることは周知の事實であつて、これは從來の國家の政策が都市本位、商工偏重の結果なのである。我々は都市と農村とを總ての點に於て對等化し、農業を全面的に商工業の制壓より脱せしめんとしてゐるので、このことは眞正なる都市と農村との協調提携を圖る所以なのであるし、農村と農業が國家の爲めに重きをなすことゝなるのである。これが爲めには、國家の政策が農村と農業を一層重視せざるべからざることは當然である。

我々は中小商業者の窮迫に對しては同情を表し、政府として一日も早く適當なる對策を樹立せられんことを熱望すると共に、産業組合側としても地方的に考慮すべき實際的方策あるべしと示してゐるのである。然るにも拘らず、郷男は一般反産運動者の唱ふるが如き平凡にして月並的な意見を、堂々と全國道府縣の經濟部長に發表せらるゝに至りては、其の結果徒らに農村産業組合を刺戟し、自ら憂慮せらるゝ對立抗争を益々悪化するに過ぎないのであつて、我々の深く遺憾とするところなのである。

— 昭和十年七月 —

五四、選舉に當りて産業組合人の努むべきこと

「産業組合の政治運動」、「産業組合の政治」的進出と云ふことが、世間の問題となるやうになり、産業組合の内部に於いても、それを論議せなければならぬやうになつてきたのは、産業組合運動に於け

る、一の劃期的事實であると云ひ得るのである。

我々の同志が、好むと好まざるとに拘らず、此問題を取り上げなければならぬやうになつたのは、社會の情勢がそれを餘儀なくせしめたる結果なのであつて、敢て我々が好んで取り上げたのではないのである。もとより極めて廣義の意味に於ける政治運動は、古くより行つてゐたのであるが、今我々が論議なさんとし、又世間が注目するところのものは、決してそんな茫漠たる政治運動ではなくもつと實際的なる運動に關してであつて、而かも當面の問題としては、選舉に對する産業組合側の態度なのである。

「選舉の肅正と産業組合運動の進展を念とし公正に選舉を行ふこと」、が産業組合人の選舉に對する信念でなければならぬことは、誰一人の異存なきことなるべしと雖も、これが實行に付ては決して容易でないのである。これが爲めには平素より「政黨政派に對し嚴正中立を持すると共に、産業組合の地位を擁護向上する爲め組合員の政治的關心の涵養に努むること」が最も必要なのである。此のことが五百萬の組合員間に、相當に普及徹底せざる限りは、産業組合の選舉必ずしも産業組合の進展に有利であるように行はれるとは認められないのである。

これを我が産業組合運動の現状より觀るも、各地方毎に其の情勢と實力を異にしてゐると共に、政治情勢もまた各其の趣きを異にしてゐるのであるから、選舉に對する産業組合側の態度に至りても、

全國的にこれを一定することを得ざる譯なのである。されば今に於て我々が言明なし得ることは其の地方に於ける可能なる程度に於いて、我々の同志を出來得る限り多く、又我々の運動を理解し支持するものを出來得る限り多く、選出することが産業組合人の努むべきことであると云ふに止まるのである。

—昭和十年八月—

五五、府縣會議員の改選に直面して

府縣會議員の總選舉は、九月二十一日より十月十四日の間に於て、二府三十七縣にわたり一齊に行はれるのである。我々同志は此の機會に於て、産業組合運動に理解を有する議員を、多數選出なし得るよう努力すべきは敢て言を俟たざる次第である。

特に我々の深く留意せざるべからざることとは、選舉の肅正を徹底せしむることではなければならぬ。今更云ふまでもなく、投票の買収と官憲の干涉とは、選舉に於ける二大罪惡であつて、議會に對する不信も、政黨に對する嫌惡も、實に端をこゝに發してゐるのである。幸にして今回の選舉に於いて、此の二大罪惡を排除なし、公正無私なる選舉を行ふことを得ば、明春の衆議院議員の總選舉も亦、こ

れに従うて適正に行はるゝことを得べく、其結果として、議會政治の聲價回復、政黨品位の向上を期待なし得るのである。

我々同志は、其の有するきはめて貴重なる一票を、選挙ブローカーの誘惑に應じて金銭と交換したり、若くは官憲の威壓に恐れて軽々と行使するが如きことなきやう戒心省慮すべきである。我々は飽くまでも選挙の肅正と産業組合運動の進展とを念とし、其の一票を有意義に行使せなければならぬのであつて、若しも五百萬の組合員が、此の點に於て徹底するところあれば、それはたゞに産業組合運動の進展を期し得るのみならず、我國の政治浄化を達成なし得るに至るべきである。

—昭和十年九月—

第三篇 産業組合の情勢

本篇は第二十四回全國産業組合大會以後
毎年の全國大會に試みて來た産業組合情勢
報告に於ける私の講演集である。

一、昭和二年度に於ける産業組合情勢

満場の諸君、今回の大會からして過去一ケ年間に於きまする産業組合情勢報告を致すことになりました。是より私から大體の報告を致します。

第一に産業組合聯合會の現況であります。我國の産業組合は昭和元年に於きまして其數が一萬四千三百六十八であります。而して組合員數は三百九十四萬七千八百六人あります。尙ほ二年末の組合數は一萬四千八百八十六人になつて居ります。組合の數は大正十四年までは年々増加して居りました。大正十四年は一萬四千五百七十七人でありまして、之が唯今までの組合數の最高であります。翌年の昭和元年以來年々減少して居ります。是は各地方に於きまして産業組合の整理改善に努力の結果不振組合の解散、部落組合の併合等に依るのでありまして、寧ろ喜ぶべき事實と認めて宜いのであります。併しながら組合員の數は年々激増をして居りまして、大正十一年以來は毎年約三十萬人内外の増加を見て居るのであります。

我國の産業組合の有する運轉資金總額は十一億三千九百六十餘萬圓でありまして、其の中拂込濟出資が一億六千三百八十九萬圓、諸積立金が七千三百三十七萬圓、借入金が一億一千五百五十萬圓、貯金が七億八千八十萬圓であります。而して是等の組合の努力に依つて行はれて居る事業貸付金が六億

四千五百五十萬圓、販賣組合の販賣額が二億二千百十九萬圓、購賣組合の賣却高は一億六千二百十九萬餘圓、利用組合の利用料が四百十八萬餘圓と云ふ數字になつて居るのでありまして、之を大正十年末に比べますと、運轉資金に於きましては十六割、貯金に於きましては二十一割、販賣額は七割、貸付額は十八割、購賣組合賣却高は三割、利用料は二十二割と云ふやうな數字を示して居ります。是はなか／＼の増加でありまして、尙ほ大正十四年末に比較しましても相當な増加を示して居ります。

産業組合聯合會は大正十三年までは其數が漸次殖えて居りますけれども、それ以來減少致しまして昭和二年末に於ては百八十二となつて居ります。是は郡を區域と致しまする聯合會が整理されました結果であります。全體より見ますと云ふと聯合會の事業も年と共に進展して居ります。併しながら其程度では未だ顯著なる成績とは申されぬのであります。固より數府縣の聯合會の發達は甚だ旺盛でありまして、事業の分量も亦著しく増加して居りますが、大體から申しますれば我國の聯合會の活動は今後に俟たなければなりません。所屬組合の數を増加し其利用を遍ねからしむることは今後に於て大いに努力すべき問題であるのであります。

農業倉庫業に付きましては、昭和二年末に其經營主體が二千四百六十四であります。其の中産業組合に依つて經營されるものが二千百十九で總數の九割四分を占めて居ります。之を前年度に比べますれば總數に於きまして百九十、産業組合を主體とするものに於いて二百十一の増加を見て居ります。

昭和二年末の農業倉庫の収容量は穀物が千四百四十五萬餘俵、藁が百九十一萬餘貫と云ふ數字を示して居ります。之を大正十年末に比べますれば前者が八分、後者が四割の増加であります。

尙ほ聯合農業倉庫に付て申上げますと、昭和二年度中に於きまして新潟縣の販賣購賣利用組合聯合會及愛知縣の碧海郡購買販賣組合聯合會が聯合農業倉庫の經營を許可されました。最近に於きましては秋田縣の販賣組合聯合會が聯合農業倉庫を經營することになりました。

以上は産業組合並に産業組合聯合會に對する所の現況であります。

第二に産業組合に關する主要事項……過去一ヶ年間に於て起りました所の産業組合の主要事項に付て報告を致します。

第一は金融恐慌と産業組合との關係であります。昭和二年の四月に起りました金融恐慌が一般の金融界及經濟界に及ぼした影響は固より非常に甚だしかつたのであります。併し乍ら幸にして我が産業組合に及ぼしたる影響と云ふものは、之を全國的に見ますれば比較的になかなかつたので組合の恐慌とはならなかつたのであります。寧ろ其事は産業組合に非常なる刺激を與へまして、其發達上好影響を與へたと言つても宜いのであることは私共の甚だ欣幸とする所であります。昭和二年一月以降に於きまして休業せる銀行に預金しました所の總額は、組合及聯合會を合せまして一千三十七萬四千八百圓餘であります。それを四月二十二日現在の産業組合の銀行預金額一億八千三十四萬圓餘に比べて見ま

すと云ふと五分七厘でありまして比較的少額であります。而かも是は滋賀、埼玉、香川等に甚だ多く偏在して居つたのであります。此の休業銀行に預金のある所の組合は之を府縣で申しますれば二十三府縣に亘つて居りました。併しながら今申す所の少數の縣にそれが偏在して居る爲に是等關係の諸縣では重大な打撃を蒙つたのでありますけれども他の府縣に於きましては其打撃が比較的少なかつたのであります。私は是等の諸縣に向つて同情を表すと共に、今後大いに戒慎せんければならぬことゝ存するのであります。而して休業銀行に預けました所の是等の預金は最近の調査に依りますと、拂戻を受けた所の金額は二百五十七萬九千圓餘でありまして僅かに二割一分五厘に過ぎぬのであります。其他は未解決或は切捨、無利息年賦償還等の悲運に際會して居るのであります。

諸君、恰も滿一箇年を経過した所の今日に於きまして昨年の當時の状況を追想します時には、私共は其際に於きます所の産業組合關係當事者の異常なる緊張的行動に付きまして甚だ痛快の念を催すのであつて、若しも其當時の如き緊張味が不斷に持續して居りましたならば、組合の實質的發達は容易なるものがあるのではないかと思ふのであります。其當時殊に四月の二十日より二十二日に至る即ち「モラトリアム」發布前に於きまして、産業組合中央金庫を中心としまして全國の信用組合聯合會當事者の苦心と努力、政府當局の之に對する諸般の注意や援助等は、其當時其の間に處しまして實際を知悉して居ります私共の決して忘る能はざる光景でありまして、總て眞劍味を以て行はれたと云ふ一

言を以て言ひ盡し得ると思ふのであります。我産業組合は金融恐慌に際しまして相當巨額の損害を蒙りましたけれども、若し此拂ひたる犠牲の報酬として、産業組合中央金庫を中心として産業組合主義の金融機關が完成せらるゝ事になりましたならば、所謂禍を轉じ福となすと云ふことでありまして、極めて廉價なる犠牲と私共は其當時考へたのであります。幸にしてそれ以來全國の組合員は組合を利用すること、又組合は自己の系統的機關たる聯合會を、聯合會は又中央金庫を利用することがだんだんと濃厚となつて來たことは甚だ喜ばしきことであります。然れども未だ十分なる域に達したとは申されないのであります。今後全國の組合、聯合會、中央金庫は互に聯絡提携して、種々なる支障を排して産業組合主義の金融組織を發達せしむべきことに邁進すべきものであると思ふのであります。

次に

第二十三回全國産業組合大會の概況報告であります。此大會は昭和二年十月一日、二日、三日を以て静岡市に六千餘名の者が集まりまして開會せられました。今回御出席になつた多數の方々は静岡の大會に御參列になつた方々と存するのであります。其際會頭が開會の辭に強調せられました所の産業組合本質の發展、共存同榮の實現、其方策として實行すべき組合の産業化、民衆化、資産の確保と云ふことの三事項及中央會から提出しました問題、即ち我國の産業組合の情勢に鑑み、其資産の確實を期する方法に對する決議、それ等に付きましては既に全國の組合理事者諸君が其後諸君の組合に

於かれまして實行に努力せられたことであると思ふのであります、其決議は斯う云ふことであります、理事者の組合精神の體得、監査の勵行、組合財産の整理、資産相互間の調和、系統的機關の利用、會計組織の完備と云ふことでありまして、此決議は實際に於て切要な問題で、而も是等の事項は組合永遠の指針となるべきものでありまして、常時此實行に於て深く善處されんことを望むのであります。

次に

各種の全國的の協議會に於て御報告を申し上げます、先づ全國農業倉庫協議會に於て申し上げますが、是は昭和二年七月の四日、五日の兩日間東京市に於て開催されました、此全國農業倉庫の協議會は中央會の主催として最初に開かれた全國的の協議會であります、此協議會に於きましては農業倉庫將來の發展に付きまして種々なる事項が決議されたのであります、其實行は將來我國の農業倉庫の發達に對して有利であり、又更に進んで各地方に於ける所の聯合農業倉庫が完成せられた上に於ては全國的の農業倉庫を設立して、さうして全國的に活動を爲し得る時機を齎すことが、此農業倉庫協議會の使命の一つであらうと存じて、今後はは恐らく度々開かれるものであると存するのであります。

第五回全國市街地信用組合協議會は昭和二年九月三、四日の兩日秋田市で開會されました、恰も農業銀行の預金問題や、その他金融恐慌と産業組合との關係問題等に於ても最も大切な時機でありまして、是等に於て種々なる重要事項が協議されたのであります。

又

第四回生糸販賣組合協議會は昨年十月二十九日、三十日の兩日、長野縣の上諏訪町に於きまして開催されました、營業製絲の最も盛なる上諏訪に於て産業組合製絲の全國的大會が開催されたのであります、最近に於て全國生糸販賣組合の設立の氣運が醸成して参つたのも此種の大會の開催及決議が與つて大いに力あるものであらうと存するのでございます。

次に

第三回産業組合記念日、是は本年も三月六日に全國を通じまして極めて盛大に舉行されたのであります、年々各組合或は各支會郡都會其他各方面に於きまして、此記念日を機として我産業組合主義の高調に向つて種々なる努力をすると云ふことが進んで参つたことは私共の甚だ喜ばしく感ずる所であるのであります、従つて來るべき來年三月六日の第四回記念日には、一層産業組合主義高調の爲に各組合其他關係方面に於きまして飽く迄努力を拂はれんことを望むのであります。

次に

「産業組合歌」を作りましたことであります、産業組合中央會に於きまして久しく考慮して居つたのであります、産業組合歌を、愈々制定致しまして之を全國に向つて發表致したのであります、先程此席に於て演奏致したものがそれであり、是は私共が豫期して居りました所より、もつとより以上

に全國に亘つて是が廣まりました、今日各地に之が歌はれて居ると云ふことは私共の甚だ喜ばしく存する所であります、今後總會其他組合員の集會等に於きまして之を大いに歌ひまして、組合員の士氣を鼓舞せられんことを望むのであります。

最後に昨年に於ける重要事項の一として申上げることがは産業組合に對しまして各種の低利資金が供給されたことであり、御承知の通り過去に於きましては普通の地方の低利資金、それより以外には餘り特別な低利資金は供給されて居らぬのであります、極めて特殊な場合の外は普通の地方低利資金の外は低利資金は供給されて居らぬのであります、然るに昨年の過去一箇年間に於きましては電霜害の救済資金、養蠶の應急資金、高利救済の借替資金、米作應急資金、中小商工業者應急資金と云ふやうな低利資金が政府から續々供給されまして、この大なる部分或は又小なる部分を産業組合中央金庫或は勸業銀行を通じて産業組合方面に向つて供給されたのであります、是は産業組合の主要なる事項として諸君に向つて御報告致すべき價值があるものであると存じまして茲に一言致して置く次第であります。

第三に御報告することは

地方産業組合の狀態の大體の報告であります、先づ

第一に一般的情勢を申上げますと云ふと、金融の恐慌、米價騰價絲價の下落、又地方に依りまして

は甚だしき霜害と云ふやうな爲に、都市と農村とを問はず一般の民衆は相當困難を嘗めた年でありまして、此の間に處しまして組合の理事者がよく各種の事業に向つて細心の注意と異常なる努力を拂はれて、さうして相當組合員の福利増進に向つて盡されたことは、私共の大いに喜びとする所であり、組合の一般的傾向としては、大正十四年度に於きまして産業組合中央會が開始しました所の振興刷新運動の趣旨を體して數年來引續いて整理が行はれて居ります不良組合の解散、部落組合の併合と云ふやうなことを爲し、又既設組合の内容充實に向つて努力すると云ふことが組合の一般的傾向として認めて宜からうと存するのであります、又指導者側も監督者側も之に向つて一意専心力を盡して居ると云ふことを認めて居るのであります、故に此一般的傾向を各組合の理事者は深く考慮せられて、尙ほ今後一層整理刷新の爲に力を盡されんことを望むのであります、又一般から申しますと云ふと組合員の組合に對する信頼の加はり來つたことは各府縣共に報告して居る所であり、是は非常に喜ぶべき現象であります、尙ほ京都、北海道、鹿児島其他の地方に於きまして婦人の間に産業組合思想の勃興、即ち婦人が産業組合運動に向つて種々な方面から力を盡すと云ふ傾向が現はれて來たことは亦甚だ喜ぶべきことでありまして、是は今後大いに助長せしむることが必要であると思ふのであります、尙ほ本年一月長野縣に於きましては縣の内務部の中に産業組合課を置かれました、是は前年度に於きまして福岡縣が内務部の中に産業組合課を置かれましたが、それと共に我國に於きまして地

方廳に産業組合課として置かれた所の二つの縣であります、是等は産業組合運動の進展上相當喜ぶべき傾向であると存するのであります、是も地方の情勢の中の一つとして御報告して置きます。

次に

信用組合及同聯合會に付きまして大體のことを申しますと云ふと、金融恐慌の禍中にあつて地方の箇々の信用組合は其本質の健全さを其地方に於ける所の聯合會及産業組合中央金庫の擁護に依つて、民衆的經濟機關として價値を發揮することを得たのであります、今や我が國の金融界は一面に於きましては銀行の合同の結果と致しまして銀行の數は大に減少し、従つて地方に於ける所の庶民金融機關が過去に於きまして其地方の銀行に依頼して居りましたものが、それに依頼し能はずと云ふやうな情勢を見つゝあるのであります、其結果としましてどうしても將來此信用組合の任務は一層重大になつて來るのであらうと存するのであります、而して静岡、奈良、山形、島根、栃木等の報告を見ましても、實際に於て其事實が現實化されて來たのであります、又從來未だ市街地信用組合の設置されて居らぬ處に於きましても、今云ふやうな市街地信用組合の設置の必要を認め、漸次設立の機運が動いて來たと云ふやうな報告があるのであります。

次に各地の信用組合の特徴として擧げ得ることは餘裕金が甚だ多く出て來て居ることであり、即ち餘裕金の増加であります、滋賀、京都、山口、福岡の諸縣に於きましては一層それが顯著であり

ます、又其他の諸縣に於ても餘裕金の増加と云ふことは共通的状态と見られるのであります、或一部の地方を除きましては……、又はは獨り組合のみならず聯合會に於きましても同様の事實を見て居るのであります、而して其餘裕金を如何に運用すべきやと云ふことに付て苦心慘憺たりと云ふやうな状態にある所が相當あるのであります、而して金融恐慌後は之を銀行に預金することに危険を感じ、之を證券化せんとすると云ふやうな事實が段々と進んで來たのであります、而して此餘裕金が殖えて來たと云ふことに付きましては私共は此際諸君に向つて一言を費して置きたいと思ふのであります、其組合又は聯合會の餘裕金なるものは果して眞の餘裕金であるかどうか、組合員間に資金の利用が十分に徹底されて居つて、而も其結果として生じた所の餘裕金であるか、或は未だ組合員の大多數は産業及經濟の上にまだく相當資金の供給を受けなければならぬ所の状態にあるにも拘らず、それに向つて資金の供給を爲さずして生じて居る所の餘裕金であるかどうかと云ふ點であります、(拍手起る)私 は個々の組合に致しまして、或は組合員の經濟整理を完全に行ひ或は組合として信用事業以外の他の事業を相當積極的に行うたならば、其餘裕金は決して餘計に残らず、或はまたまた資金が要るのではなからうかと存するのであります、(拍手)故に諸君は諸君の組合に於きまして、金融事業即ち信用組合の事業の外に他の事業が如何なる程度に發達して居るか、其點に於いて組合員に向つて如何なる利便を與へて居るかと云ふ點を考慮せなければならぬと存するのであります、又之を我國の状態から

見ますと、産業組合なるものは唯單に信用組合の働きのみを以て満足すべきものでなく信用組合、購買組合、販賣組合、利用組合此の四つの組合の事業が相共に並んで始めて産業組合の効果が揚り、産業組合の責務が完全に盡されるものであると信するのであります、それに依つて始めて組合員の福祉の増進が期待出来るものであります、然るにも拘らず恰も信用組合なるもの、或は又兼營組合に於ける信用事業を以て一つの特別の金融事業であると云ふが如き考を以て金融事業のみの範圍に於て色々の方法を講ずる、さうして餘裕金が多いとか少いとか云うて彼是れ云ふことは是れは甚だ誤つたことであつて、我國の産業組合の根本精神からして見れば甚だ憂慮すべきことではなからうかと存するのであります、どうしましても産業組合に於ける所の各種事業、それを萬遍なく發達せしむると云ふこととでなければ組合員の福利の増進は絶対に出来ぬのでありまして、さうなつて來れば果して現在の餘裕金と云ふものが、今程餘計に残り得るものであるかどうかと云ふことが大なる疑問となるのであらうと存するのであります、(拍手)尙ほ又餘裕が残るといふことの一つの原因としては貯金の利率の高いと云ふことを擧げ得るのであります、即ち不釣合な高利で以て貯金を受入れて居る爲に他に利用出來ぬものが出来て始末に困つて居るのではなからうかと思ふのであります、貯金の利子が高き爲に聯合會を利用することが出来ず、聯合會亦中央金庫を利用することが出来ず、斯の如き状態に停頓して居つたならば、何れの日にか産業組合中央金庫を中心とする産業組合主義の金融機關が完成

されませうか、私共は甚だ憂慮に堪へぬのであります、併しながら最近に於きましては信用組合も聯合會も一般經濟界に順應する、或は又一部に於ては先んじて貯金及貸付の利率を數回に互つて低下された事實があります、是等は庶民金融の爲に喜ぶべき現象でありまして、私共は寧ろ産業組合が進んで一般金融界の先導者となつて此金利の低下に邁進せられんことを望むのであります、尙ほ今回の金融恐慌に依りまして組合理事者は大いに刺戟されました不良貸付の整理、新規貸出の方法等に細心の注意を拂はれるやうになつたことは、信用組合聯合會との聯絡が一層密接になつたこと、共に甚だ喜ばしき傾向であります、斯の如きことは今後急進の速度を以て發達せんことを望むのであります。

次に

販賣組合及同聯合會に對しまして簡單に御報告申し上げます、昨年度に於ける米價の下落、藪價の下落、是は農業者に向つて大なる痛棒を與へたのであります、故に共同販賣と云ふことが何れに於てもダシ／＼と行はれるやうになりました、殊に農業倉庫の利用は過去一箇年間に於いて相當増進したやうに報告されて居ります、米の販賣に付きましても聯合農業倉庫が出来まして、それが進んで東京に事務所を設け或は倉庫を建設して、さうして東京に於いて米を販賣すると云ふことは最近三四の縣に於いて行はれた實例でありまして、是等は將來益々或時期までは進んで行くことであらうと存するのであります、尙ほ又販賣組合の新設或は其事の進展は福島、群馬、埼玉等の各府縣に於いて急速に進展し

て参つたやうな報告があります、それから藪價の下落と云ふこと、同時に全國生絲販賣組合聯合會が横濱に設立せられたることに依りまして、生絲販賣組合設立の氣運を醸成致しました、岩手縣、岐阜縣、高知縣等に於て、新たに此種の組合が設立せられたのであります、其の他山形、福島、山梨の各縣に於ても製絲組合設立の氣運がだん／＼と醸成されて居るのであります。尙ほ米及藪と云ふやうな主要産物以外のもの、例へば畜産物などに付きましても、畜産物の販賣組合は漸次各地方に於て設立され、又事業が發展すると云ふやうな情勢を示して居ります、北海道に於きまする製酪販賣聯合會の發達を始めとして、其他牛乳販賣組合が各地に起りました、兵庫縣、和歌山縣、滋賀縣、三重縣及び其他の各縣に於てもだん／＼と牛乳販賣組合の新設があつたのであります、殊に兵庫縣では牛乳販賣の數が相當増加しまして全縣を區域と致します所の聯合會たる酪農販賣組合聯合會が出来ますと云ふやうな報告があります、又愛知縣の鶏卵販賣組合の發達は千葉縣、長野縣、栃木縣等に相當の刺戟を與へまして、其地方に於きましての鶏卵の共同販賣事業が勃興の氣運に向つて進んで居るのであります、此販賣組合の事業は物價の下落と共に生産者が自己の利益を擁護する爲に其の活動が積極的になつて來たと申して宜しいのであります。

購買組合及購買聯合會に付きましては、昨年中央會の主催で各地に購買組合協議會を開いたことを第一に報告致します、是は購買組合の事業を發達せしむる爲に、個々の購買組合と縣の聯合會及び全

國購買組合聯合會の關係を一層密接ならしめ相互の聯絡を圓滑ならしむる爲にさう云ふ協議會を開いたのであります、其結果と致しまして縣の聯合會又は全國聯合購買組合の上に相當大なる有利の結果を與へて居ります、而して其協議會は本年度に於きましても尙ほ繼續して開催する積りであります、併しながら昨年は金融恐慌又は農村の不振に依りまして全體の購買組合を通じて賣掛金の回收と云ふことに付ては相當の困難を感じ、組合の理事者は大なる努力を拂はれたやうな情勢を見て居ります、尙農村以外の消費者の購買組合に至りましては漸次發達の氣運を示して居ります、また十分なる發達は見ませぬけれども東京其他の都市に於きまして消費者の購買組合は、大なる困難と大なる支障を忍んで、理事者の努力に依つて漸次其の基礎を確立せんとして居るのであります。又東京に於ける所の勞働者の消費組合の如きもだん／＼と其事業が進展致しまして其地歩が確立せんとして居るのであります。

利用組合に至りましては過去に於きましては勿論之が一番進歩の遅い組合でありましたが、過去一箇年間に於きましてはだん／＼と産業的、經濟的兩方面に於きまして進展の實を示して居ります、殊に最近に於きましては産業組合の經濟的基礎が相當固くなつて來たので、社會的公共的の施設に向つて或は醫療設備、或は浴場設備或は水道の敷設と云ふやうな方面に向つて力を盡すやうになつて來たことが見られるのであります、是は産業組合事業の發展の一方面として大いに喜ばしいことであると

存するのであります。

次に御報告致すことは

産業組合中央機關の情勢であります、是は極めて大要を申し上げて置きます、即ち我國に於ける所の産業組合の中央機關は第一に産業組合中央會であります、産業組合中央會は昭和二年度末に於きましては會員たる組合の数が一萬一千三百七十、會員たる聯合會の数が百二十二、賛助會員が千三十三、合計一萬二千五百二十七の會員を有して居ります。而して此中央會の事業は其最も重きを置いて居る所のものは三つありまして、第一が教育事業、第二が調査事業、第三が監査事業であるのであります、殊に此教育事業に對しましては曩に産業組合學校を設立致しました、さうして特に一箇年の期間に於て、中學校、農業學校、商業學校と云ふやうな中等程度の學校を卒業しました所の有爲の青年を入学させまして、一箇年の程度に於て産業組合に關する高等の教育を授けて居るのであります、既に卒業生は二回出しました。現在に於ては第三回の生徒を教育しつつあるのであります、之に依つて將來我國に於ける産業組合運動の中心となるべき所の人物を養成すると共に、尙ほ年々或は長期講習會、或は實務講習會其他特殊の講習會を開きまして、直ちに役立つ所の人間を養成して居るのであります、産業組合中央會と個々の組合直接關係は單に毎月雜誌を一冊配布することであるが、而かも其雜誌は封筒の儘棚に上げられるもので、其雜誌を棚に上げることに依つて産業組合と中央會の關係は連續さ

れるやうに見受けられて居ると、今尙十年前と同様なることを云つて中央會を批評する者もありませんけれども、併しながら更に翻つて我國の産業組合運動の大局から見ますれば、産業組合中央會が教育事業に向つて努力して居る所のものであると云ふことは、そこに大なるものがあるのであります、例へば中央會が設立以來年々やつて居ります所の長期講習會、是は既に回を十六回も重ねて居りますが此教育を受けた者は今我國に於ける産業組合運動の中心人物として又は産業組合指導監督の重任を擔ふ者として各地方に於ける重要な人物であります、單に此點だけから見ましても中央會が我國産業組合の發達に及ぼしたことは甚だ大なるものであると存するのであります、故に諸君は諸君の組合と中央會との直接關係のみを以て中央會の事業を批評せずに、大局から見て我産業組合中央會の效果及びそれに對する所の色々の注文を發せられんことを望むのであります。

尙ほ調査事業及監督事業、これは教育事業と共に中央會の大なる事業としてやつて居るのであります、尙ほ此際一言すべきことは中央會の發行します所の「家の光」と申す雜誌のことであり、是は販賣雜誌でありまして、通俗的家庭雜誌として、而も其雜誌に依りて直接間接に産業組合主義の普及徹底を圖ると云ふやうな考を以て發行して居るのであります、故に各號共に産業組合に對する極めて平易な又面白い記事は少くも一つ二つはあるのであります、其他は一般の家庭的讀物を以て充たされて居ります、現在に於きましては一萬六千有餘の部數を毎月發行して居りますが、今後之を一層發

展せしめてさうして我國の四百萬に近い所の組合員の讀物としたいと云ふ大なる決心を中央會として持つて居るのでありますから、是もどうか諸君の深甚なる援助を希望するのであります。

次は

産業組合中央金庫であります、産業組合中央金庫の事業も年と共に發展致しまして、昨年四月一日から本年の三月二十日までの貸付累計額は一億一千百七十九萬圓の額に上り、償還累計額は八千五百三十三萬餘圓、而して二十日現在の貸出額は三千九百七十二萬餘圓であつて、而して此貸出累計額は前三箇年の貸出累計額の上を越えて居るのであります、此點から見ましても産業組合中央金庫の事業の發達は實に見るべきものがあるのであります、尙ほ昨年金融恐慌に對する所の産業組合中央金庫の措置、其他前に申上げました所の政府より頻々として貸出される所の種々なる低利資金の供給其他に付て産業組合中央金庫が全國の産業組合の上に及ぼした効果は絶大であるのであります。

次に

全國購買組合聯合會、是は御承知の通り購買組合の全國的の機關であります、此事業も年と共に進展して居ります、肥料に致しましては雜貨に致しましても、年々取扱數量は増加して居ります、殊に本年度に入りましては肥料の取扱數量は相當に激増して居るのであります、併し不幸にして此聯合會は過去に於きまして計算上損失を蒙つて居るのであります、故に今後此聯合會そのものも大いに其事

業の經營の上にて努力を拂ひ、又全國の購買組合及購買組合聯合會も、之を我國の購買組合事業の中央機關として、我國の産業組合主義經濟組織を完成する上に於ける一大部門として、將來の事業に向つて大なる發展を見るやうに協力せられんことを望むのであります、尙ほ小樽に出張所を新設しまして、北海道の魚肥其他海産物の取扱を開始することになりましたのであります、是も一言御報告申上げて置きます。

次に報告することは

大日本生絲販賣組合會のことです、是は昭和二年三月十五日に設立の許可がありまして、六月の三十日まで専ら創立事務に従事し、七月の一日に事業の開始を見たのであります、是は即ち我國に於ける産業組合製絲の中央機關であります、即ち産業組合主義經濟組織の中の蠶絲事業に關する方面の中央機關であります、幸にして是は設立以來其業務も先づ以て順調に参りまして、本年度の取扱高も豫定の取扱高に達する見込はあります、先刻御報告申しました通りだん／＼と各府縣に於きまして組合製絲設立の氣運が勃興致しまして、それが生絲販賣組合聯合會を中心として活動することになりますれば、我國の生絲生産額の相當なる部分は産業組合製絲に依つて生産し、又之を聯合會の手より直接米國に向つて賣出すことが出来るやうな時期が蓋し餘り遠くはないであらうと存するのであります。

終りに申上げることば

産業組合の國際運動に關してのことであり、昨年八月十五日から十八日まで瑞典の「ストックホルム」に於きまして國際産業組合聯盟の主權に依り國際産業組合大會が開催されました、産業組合中央會からは中央會の參事の荷見安君に出席して戴きました、是は丁度荷見君が政府の御用で以て向ふに御出張の序がありまして、其機會に此大會に出席されることを依頼したのであります、此の會には世界二十八箇國より四百人餘の人が參加致しまして産業組合の發達に付き色々な協議があつたのであります、而して此大會に於きまして私共が最も興味を以て見た所の問題は農業組合と消費組合間の關係と云ふことの問題に付ての報告及研究であります、つまり生産者の組合と消費者の組合の聯絡關係と云ふことの報告及研究であります、之が私共の最も興味を以て見た點であります、尙ほ同時に國際産業組合資料展覽會が開催されました、是には中央會よりも出品したのであります、尙ほ其機會に於て國際産業組合學校と云ふものが八月六日から十三日まで開催され、其他國際婦人消費組合聯盟の總會、國際卸賣組合の大會、國際産業組合銀行の大會、國際産業組合保險の大會と云ふやうなものがやはり此「ストックホルム」に開かれたのであります、産業組合中央會は英國其他二十二箇國の産業組合中央機關と聯絡を取りまして、常に國際的産業組合運動に參畫して居るのであります、尙ほ今回本會場内に開催されました所の資料展覽會に出品された外國ポスターは直接是等諸國が中央會の爲に

わざわざ贈られたものであります。

以上を以て極めて簡單ではありますが、産業組合の情勢の報告を終つたのであります。尙今回諸君に御配布申上げたものの中に

第二十四回全國産業組合大會と云ふ印刷物がありますが、其中に詳しく掲載してありますからどうか御一覽を願ひます。

之を要するに我國の産業組合は只今極めて重要な時機に際會して居るのであると考へます。此時此際組合が振興刷新の事業を完全に遂行し得るかどうかと云ふことは將來の組合の運命を左右するものであらうと存するのであります。而して此振興刷新と申すことは一に産業組合主義を其事業の上に徹底せしむることであるのであります。先程も會頭の告辭にもありました通り、今や産業組合は其主義を鮮明に致しまして一路勇往邁進すべき時機に遭遇して居るのであります、時代は之を要望して居るのであります。そこに組合に對する組合員の信念も湧起しませうし、又それに依つて組合の効果が組合員に均霑するに至るであらうと信するのであります。此相互協同の經濟制度の機能を十分に擴充せしめ、さうして民衆の福利を増進し以て社會の借和協調を實現すべき任務を有する産業組合は、どうか營利を目的とする資本主義經濟組織の跡を逐うて營利を念となし、爲めに他の方面からして産業組合が營利化したと云ふやうな批評をせられるやうなことがないやうにありたいと思ふのであります。

す。若しも産業組合が剩餘金第一主義に墮落し、又他の方面から見て産業組合は營利化したと云ふやうな批評が事實となつたならば、それは産業組合の滅亡を招來するものであらうと思ふのでありまして、實に私共は諸君と共に戒慎を要することなのであります。私共は來會の諸君の熱誠なる努力によりて、全國の産業組合が其の振興刷新を完全に實行政し、産業組合主義を其の事業經營の上に徹底せしめ、近き將來に於て全國を通じて産業組合主義の經濟組織を樹立することに向つて成功せられんことを切に望むのであります。之を以て私の報告は終りと致します。(拍手)

二、昭和三年度に於ける産業組合情勢

全國より參集せられたる我が産業組合の同志諸君、私は茲に昨年の本月本日東京に於て開催せられました第二十四回全國産業組合大會以來、一ヶ年間に於ける我が産業組合の情勢を諸君の前に於て報告いたし得ることを甚だ光榮に存じます。

狀況報告は

第一、産業組合及同聯合會の現況

第二、産業組合に関する主要事項

第三、地方産業組合情勢報告

第四、産業組合中央機關

第五、國際關係報告

第六、結言

に分つて申上げる積りでありますから、相當の時間を要しますが、御靜聽あらんことを希望いたします。

一、産業組合及同聯合會の現況

最初に御報告致すことは、産業組合及聯合會の現況であります。昭和三年末の我が産業組合の數は一萬四千七百七十一組合であります。此を前年末の一萬四千八百八十六に較べますと十五の減少であります。大正十五年末の一萬四千五百七十七に較べますれば三百四十六の減少となつて居ります。其原因は諸君の御承知の通り整理刷新の結果、不良組合の解散、部落組合の併合等に因るのであります。而して減少の數は大正十五年に於て百四十四組合、昭和二年に於て百八十七組合、昭和三年に於て十五組合であります。即ち減少の數は年と共に著しく減じて參つて居るのであります。之は一方解散とか、合併とかいふ組合の整理が、最も急を要するものに付ては一應完了したことを示すと共に、未設置町村の組合の設立、事業組合の設立等が行はれて居る結果であると思ふのであります。乍然未だ解散合併等を爲さしむるの必要ある……換言すれば整理を要する組合が全くなつたといふ譯ではないの

であります。更に今後一層整理刷新を爲すの必要はあるのであります。

次に組合員数は昭和二年度末に於きまして四百十五萬七千四百四人であります。之を前年末の三百九十四萬七千八百六人に較べますれば約二十一萬人の増加であります。組合員の数は大正十一年以來毎年約三十萬人内外の増加を見て居るのであります。

更に組合の運轉資金に付て申上げて見ますと、拂込済出資金、積立金、借入金、貯金、これ等を合計しましたる、昭和二年末の運轉資金の總額は十三億二百二十萬四千圓となつて居りまして、前年より一億七千七百五十六萬二千圓の増加であります。此内の貯金に付て申して見ますと、貯金は昭和二年末は八億九千四十一萬一千圓になつて居ります。之は前年よりも一億八百六十萬三千圓、即ち一割二分の増加を示して居ります。借入金に於きましては昭和二年末は一億四千八百十四萬二千圓でありまして、是又前年に較べまして三千二百六十八萬圓、即ち二割三分程の増加になつて居ります。

各種組合の事業に付て申上げます、貸付金は昭和二年末の現在額は七億四千六萬七千圓になつて居ります。又手形割引の額は千六百四十五萬九千圓であります。販賣組合に於ける販賣額は二億二千四百四十五萬四千四百七十三圓、購買組合に於きまして組合員へ品物を賣却しました額は一億五千二百四十三萬三千圓、利用組合に於ける利用料は五百三十六萬一千圓であります。此等の數字中手形割引額及購買組合の賣却高に於きまして、前年に比して幾分の減少を見て居りまする外は、何れも相當増加

して居るのであります。

次に産業組合聯合會の情勢に就て申上げます。聯合會の数は昭和三年末に於ては百七十九であります。之を大正十四年の二百に較べますれば二十一減つて居ります。之は要しまするに郡の聯合會を整理いたしました結果と、又一面に於きましては事業組合聯合會の新設及獨立が行はれましたるもの等彼は兩方を増減いたしましたして結局二十一を減少いたしましたのであります。此の百七十九の聯合會の所屬組合數及聯合會數は一萬六千四百三十五であります。而して此の聯合會の運轉資金總額は、拂込済出資金、積立金、借入金、貯金を合せまして、三年末の金額は一億六千八百七十一萬圓でありまして、前年末より四千八百二十四萬圓増加して居ります。

聯合會の事業に就て申しますと、昭和三年末に於て、信用組合聯合會の貸付金額は五千三百九十一萬二千圓、販賣組合聯合會の販賣高は六千五萬五千圓、購買組合聯合會の賣却高は二千五十八萬三千圓、利用組合聯合會の利用料は三百二十萬九千圓でありまして、何れも前年よりは相當増加して居ります。殊に販賣組合聯合會の販賣額の急激なる増加、……即ち二千九十二萬七千圓の増加は、其の内一千四百三十一萬圓は大日本生絲販賣聯合會の生絲販賣額であります。

次に農業倉庫に就て申上げます。農業倉庫の昭和三年末の經營主體數は二千五百六十二でありまして、前年に較べまして九十八の増加であります。此の中産業組合の經營主體でありますのが二千四百

三十一であります前年に比して百三十一増加して居ります。其他の經營主體は十四だけ減少して、百三十一になつてをります。倉庫の總棟數は五千二棟で、總建坪は十九萬八千八百九十三坪といふことになつて居ります。聯合農業倉庫の數は徐々に増加いたしましたして現在に於きましては新潟の販賣購買利用組合聯合會、秋田縣の販賣組合聯合會、……此等は何れも縣區域であります、……愛知縣の碧海郡購買販賣組合聯合會、北海道上川販賣聯合會が、經營主體となつて、聯合農業倉庫の事業を行つて居りまして、倉庫の總棟數は十七、建坪千六百六十九坪、米の總收容力が十一萬三千九百二十俵であります。斯くの如く農業倉庫の設立増加といふ事は農業倉庫事業に對して大いに喜ぶべき現象であります。

二、産業組合に關する主要事項

第二に産業組合に關する主要事項に就いて御報告申します。本期間に於ける我が國經濟界の情勢を道觀して見ますといふと、昭和二年の金融恐慌後、著しく整理刷新の機運を生じて参りまして、銀行の合同、企業の集中等が行はれまして、所謂企業の合理化の運動に依りまして、相當整理刷新の實が擧つたのであります。金解禁に關する政府の方針が決定せざる爲に、兎角財界の動搖を見、延いて一般經濟界の安定を未だ庶幾する事が出来難いのであります。更に眼を庶民大衆の經濟状態と、其の生活状態に轉るときは、概して困窮の状態に在ります。都市に於ては勞働者俸給生活者階級は、賃

銀低下、失業の不安等に脅かされて居ります。又中小工業者は金融の梗塞による經濟難に苦しんで居ります。農村に於ては打續く米、繭の價格の下落に因りまして、經濟上打撃を被ることが夥しいのであります。従つて民心不安、世相漸次險惡に趨くの事實を認むるのは甚だ憂慮に堪へざる處であります。斯くの如き情勢に直面しまして、自覺したる一般大衆が、我が産業組合運動に依つて局面の打開を試み、經濟の進展の安定を得んことを求むるに至りました事は、蓋し當然の事でありまして、此の要望に對應しまして産業組合に關係ある理事者、指導者諸君の間には、産業組合運動に邁進せんとする處の意氣頻りに揚り、本邦に産業組合が起つて以來、未だ見ざる程の組合精神の勃興を見るに至つたのであります。殊に組合又は聯合會の關係ある青年職員等の間に於ても、斯る傾向が顯著となつて参りまして、青年職員を主體とする研究的の團體が各地に勃興し、本期間に於て神奈川、長野、愛知秋田縣等に於ては全縣を區域とする團體が組織されました産業組合運動の振興に寄與しつゝあることは、組合運動の將來の爲に甚だ喜ぶべきであると思ひます。若し此等の青年者の産業組合運動が其の正道を履みて猛進するときには近き將來に於きまして、必ずや見るべきの成果を我が産業組合事業の上を示すであらうと思ひます。斯くの如き組合精神作興の發露は組合の事業方面に於ても當然發現してをりまして、第一には事業組合進展の機運、第二には地方的及全國聯合會利用の促進、第三には消費組合運動の進展、第四には消費者の組合と生産者の組合との聯絡の機運、第五には國際産業組合友誼

の發展等の産業組合運動の遠大なる理想を着々實現せんとする機運が著しく増進して参つたのであります。

諸君、數年前に於きましては、組合の指導者理事者諸君の或る一部の人々は斯かる事を申しますといふと一笑に付して、恰も空想の如くに思惟し、小さき自分の組合内部に立籠つて居つたやうな時代があつたのであります。乍併時代の進展は實に恐ろしいものでありまして、現代に於ては其の理想の一部の實現を目前に見せて居るのであります。今日の時代に於きましては恐らくは之を以て空想なりとして一笑に付せらるゝやうな方は、満場の大多數の諸君の中には御一人もなからうと思ふのであります。斯の如き本期間に於ける事實……之は過去一ケ年間に於ける大なる收穫の一つでありまして、産業組合運動の將來の進展を約束する、組合理事者も、組合關係者諸君の間に起つたる熾烈なる組合精神の勃興として擧げることを得るのは、實に喜ばしき事でありまして、故に更に來るべき一ケ年間に於きましては此の精神の勃興をより一層擴大して進んで之を組合員全體の間に普及せんことを希望するのであります。

次に第二十四回全國産業組合大會に關して報告致します。昨年第二十四回全國産業組合大會は、東京市青山日本青年館に於きまして、恰度本月本日に開催いたしましたのであります。此の大會は種々な意味に於て大會の上に新しき時期を畫したる所謂劃期的と申しても宜しいのであります。即ち審

議委員會を設置したること之が先づ第一でありまして、第二には大會に於きまして諸君の前で産業組合の情勢を報告するといふこと、之が又其の一つであります。此産業組合の情勢報告の詳細の事は諸君のお手許に差上げてあります「第二十五回全國産業組合大會」と申します處の冊子の中に詳しくあります。又各府縣別に其の府縣の産業組合の情勢が出て居ります。乍併夫等を一括致しまして極めて大要を此の席に於て述べる事が最も必要と思ひまして、此の産業組合情勢報告といふものを昨年大會から始めたのであります。第三には大會の出席者は制限いたしました事、之は全國の産業組合員諸君に對しまして、甚だお氣の毒と申せばお氣の毒でありますけれども、會場の關係、或は旅館の關係からして出席者を制限いたしましたのであります。乍併私共といたしましては非常に結果は好いと存じて居ります。例へば過去に於ける處の大會は、第一日目の午前に於きましては、いつも満場立錫の餘地なしといふやうな有様でありますけれども、それが午後になりますといふと出席者が大分減るのであります。併し昨年はそんな事は全然ありませんでした、一日目も二日目も日本青年館に一杯でありました、尤も今日も午前と午後とを較べますと、午後は幾分減つて居りますが、併し其の減つた歩合といふものが極めて少いのであります。之は寧ろ出席者を制限してさうして入場券を配るといふ事が、出席をなさる方に於て相當責任觀念を生じて、一日目も二日目も熱心に御出席になるといふ結果が生ずるものと思ひます。でありますから此の大會出席者を制限したといふ事は、或る意味に於て此の大

會を眞面目にするといふ結果を持ち來したものと思ひます。之は思はざる好結果でありました。第四には産業組合歌を合唱することに昨年からいたしました。これは今回も明日のプログラムに在りますが、明日會頭の閉會の辭の後で以て諸君と共に産業組合歌を合唱したいと思ひます。第五に國際的友誼の表現を認めたのであります。即ち此の大會に對しまして世界各國の産業組合中央團體からして、祝辭或は祝電を送り來りました事で、之も昨年の大會から始まつた事實であります。

以上申し上げました事は、即ち全國産業組合大會に對しまして新なる處の軌軸を劃したと私が申し上げます所以であります。而して今後の大會は益々時代の進展に對して……一面には成程お祭騒であるかも知れませんが、又一面には其のお祭騒なるものが相當に産業組合の氣勢を揚げる上に於て効果が大きいであるとも見られるのであります。また此の機會に於きまして全國産業組合の役職員諸君、組合員諸君、又其他の關係者諸君が各地を旅行して、優良組合の視察をなし見聞を廣め、又一年三百六十五日間、孜々として其の職務に精勵なさる諸君が、斯る機會に多少慰安的の旅行を爲さるといふ事も我が産業組合運動に於て大なる効果があるのであります。況んや審議委員會に於て審議委員諸君が熱烈なる御討論をなさるといふ事は、其の効果は甚だ大なる事であるであらうと存じます。乍併中央會といたしましては、此の大會のやりかたに付ては、今後一層時代の趨勢と共に進展するやうに致しまして又審議委員の議事、期間等に付きましても種々考慮いたしましたして、益々此の大會の効果を各方面に於

て擧げることが期したいと思つて居ります。之は餘事でありませうけれども、此の機會に滿場の諸君に申上げて置きます。

昨年の大會に於きまして會頭は開會の辭に於て、現在日本の悪弊である獨立自治の精神の缺如に就て述べられまして、産業組合は須らく此の弊害より超脱すべきものであるが、從來産業組合は動もすれば其の弊風に陥ることがあるので、であるから今後一層此の獨立自主と、共存同榮の精神に依りて協同といふ大なる勢力に依り、他に頼らずして事業を進展せしめ、以て國運の進展に寄與せねばならぬといふ事を述べられたのであります。また此の大會に於きまして産業組合中央會よりして「産業組合の組合員に對し産業組合主義の普及徹底を期する爲め實行を要する事項」といふ問題を提出して、九項目の決議を得たのであります。其の中産業組合に於て組合員に産業組合教育を普及徹底せしむべしといふ事は、之は我國の産業組合運動の將來に對して最も力を盡さなければならぬ處の重要な事項であります。之に付きまして今回開催しました處の支會の役員協議會に於きまして、其の實行方法に付て種々と審議をしまして、適當の協議を得まして、更に全國を通じて適當に實行してゆきたいと思ひます。尙ほ大會の議案を尊重しまして夫れを實行するといふ處の氣分を喚起するといふ事は諸君と共に大に考慮せねばならぬ事であると考へます。

次に御大典の記念事業に付て一言申し上げます。本期に於きましては曠古の御大典が行はれましたの

で、産業組合中央會は「千代萬代」といふ記念冊子と「産業組合の光榮」といふ小冊子とを印刷しまして、これを會員諸君にお配りいたし、尙ほ「千代萬代」は今回お手許へ御配付いたしました。全國の産業組合及聯合會に於きましては、此の御大典を記念する爲に各種の事業を計畫實行され、さうして皇恩の萬分の一に報ぜんことを期せられたのであります。此の事は特に諸君へ申上げて置きます。

次に御報告申上げます事は、産業組合の全國的協議會であります。第一に全國道府縣區域の信用組合聯合會の協議會を四月二十八日に東京市に開きました。次に第六回全國市街地信用組合協議會を十月十一日に廣島市に於て開催いたしました。之に對しまして中央會及組合よりして種々問題を提出されましたが、何れも適當に審議を爲し、其の他必要なる事に就て協議いたしましたのであります。第四回の産業組合記念日は最も盛に各地に於て行はれたのであります。御承知の通り産業組合の記念日は大正十五年に初めて第一回を始めまして、それより以來年々全國的に行はれ、而も年と共に盛になりましたが、尙ほ今後一層産業組合記念日を盛大ならしめて、益々産業組合主義の徹底、隆昌を期したいと存するのであります。

地方産業組合情勢報告

第三に申上げたい事は地方産業組合の情勢であります。之は先程申上げました通り各府縣別に諸君のお手許へ差上げました處の印刷物にも書いてありますが、茲には夫を總括しまして、特に主要と思

ふことのみを報告したいと思ひます。

先づ第一に一般的の情勢に就て申上げます。之は既に述べました如く産業組合主義に目覺める傾向が、組合の理事者、經營者諸君の間に顯著に起つて來たのであります。また一方組合員の間にも相當其の機運を見つゝあるのであります。東京府、福井縣等の報告は夫れを示して居るのであります。又さうしたやうな機運を作るべく特別の施設が各地方に實行されて居ります。其中の最も顯著なるものゝ一つとしては小學校教員の爲めの産業組合講習會であります。本期間二十府縣に於て小學校教員の産業組合の講習會が行はれたのであります。之は産業組合中央會の各府縣支會の事業として開催して居るのであります。而して中央會の方からは夫に對して講師を出して居るのであります。各地共支會、部會、又は組合の努力に依りまして其の成績は非常に宜しいのであります。恐らく之は今後の我國の産業組合運動進展上に大なる影響を及ぼすものであらうと存じて居ります。

また婦人を産業組合運動に参加せしむるといふ努力が各地方に於て拂はれて居ります。婦人の産業組合に関する講習會、或はまた組合員の家族の慰安會といふやうなものを支會、部會、及組合に於きまして開催されて居ります。また産業組合婦人會の設立も段々其の數が増加してきていたのであります。又産業組合中央會が各地で開催して居ります處の「家の光」大會、即ち産業組合中央會で發行いたして居ります處の家庭雜誌であります「家の光」の大會を各地に於て開催したのであります。之は恰も婦人

に對する産業組合の通俗的の宣傳會となつて居るのであります。即ち其の會に參集する處の方々の最も大部分を占むるものは婦人であるのであります。故に今申しました通り婦人に對して産業組合の通俗教育を授けると云ふやうな事になつて居るのであります。又鳥取縣の如きは國民高等學校の設立に就て産業組合側が大なる活動をせられて居るといふやうな事例もあります。又消費者の産業組合と生産者の産業組合との聯絡が各地に於きまして眞剣に考慮されるやうになつて參りまして、例へば東京市及神戸市附近の消費組合……市街地の購買組合はそれが爲に慎重の考慮を拂つて、未だ一部分ではありますけれども、實行の運びに至つて居るといふやうな事、又岩手縣、徳島縣等の報告を見ますと山間部の組合と、平坦部の組合との間に於ける取引が段々と進みつゝあるといふやうな事も、亦其の事例を示すものであります。

更に産業組合の實力が漸次加はりまして、社會に認識さるゝに至りたる結果といたしまして、外部より之を利用せんとするものが現れて來たことであります。最も恐るべきことは此の有力なる、將來益々有力となるべき經濟機關を諸種の黨派的紛争の渦中に捲込まんとする事であつて、其の實例は相當各地に於て見られつゝあるのであります。特に産業組合運動の發達いたしましたる地方に於きましては、一層其の傾向が顯著であるのであります。之は諸君と共に大に戒心を要する事であらうと存じます。また營利業者や其の他の側よりしまして、詐欺的行爲を以て我が産業組合を利用せんとするも

の、出づるに至つた事は經營者諸君の慎重なる考慮を要せんければならぬ事でありませぬ。

更に又産業組合の進展に對して一つの問題を惹起して居ります。それは特に事業組合の發達した所でありませぬが事業組合の進展に對しまして營利業者側からして種々な妨害運動が起つて參つた事でありませぬ。北海道、栃木縣、千葉縣等の報告に依りまして其の事例があるのであります。之は事業組合の發展したる地方に於て見らるゝ共通の問題であります。特に購買組合に於て肥料の取扱を徹底的に實行いたしますといふと、肥料營業者側から起る競争であります。最近又全國購買組合聯合會が東京に於て配合肥料の製造所を設置いたしましたる事は、一層此の競争を激烈ならしめるやうな傾向があります。併しながら諸君、之等は經濟組織改善の爲に働く産業組合運動に於て直面すべき當然の問題であつて、過去の如く我が産業組合が不得要領なる態度を持って進む間は、さういふやうな問題は起らなかつたのでありますけれども、現在及將來に於て我が産業組合が旗色を明瞭にした場合に於ては、斯ういふやうな問題は益々起るべきものと覺悟せねばならぬものと思ひます。故に我々産業組合側は、之に對しましては正當防衛上已むを得ざるが爲め、勇敢に闘ふの意氣を示さなければならぬのであります。只茲に考慮しなければならぬ事は、相手が小さな商業者であつて、産業組合の發達の爲に直に其の生活を脅かされると云ふやうな場合に於きましては、或る程度の協調を圖り、彼等の爲に其の職業を轉換せしむべき餘裕を與へなければならぬと思ひます。これ實に弱者の立場に同情する處

の、我が産業組合として當然執らなければならぬ措置であらうと存じます。

第二に申上げたい事は信用組合及信用組合聯合會の情勢であります。信用組合の情勢は昨年の大會の報告と大體同様であります。即ち金融恐慌後の影響を持續して居ります。但し最近に於きましては農村の不況の結果、或る地方に於きましては貯金は減少したる事實もあるのでありますが、大體を申しますと貯金は増加して居ります。又貸付金は不況の爲に回収が困難であるといふやうな傾向もあります。又地方によりては例外もありますけれども、餘裕金が多額になるといふやうな事が認められます。従つて各府縣に於きましても、信用組合事業の振興刷新に向つては不斷の努力を拂つて居られます。東京府の報告に依りますと、各都市に於て屢々協議會を開いて、固定資金の回収計畫を樹立して居られるといふ事でもあります。また貸付方面に於きましても警戒を要する爲に、擔保貸付が稍々増加したやうな傾向がありました。北海道、高山縣等の報告に示されてをりますが、之は組合の經營状態として當面の方策上已むを得ざる事とは思ひますが、併し組合の根本精神から考ふる時は慎重の考慮を要する事ではなからうかと存じます。又組合貯金の利子の低下が各地に於て行はれつゝあります。之は金融界一般の傾向であります。比較的利子の高き産業組合に於きましては、今後は更に此の利子を低下するの餘地があるではなからうかと存じます。尙ほ東京府及宮崎縣に於きまして、動産を擔保とする小額資金の貸付を行ふ所謂質庫信用組合といふものが生れたといふ事も信用組合の事業の上

に新生面を開く上に於きまして大に注目すべき事であると考へます。

次に府縣の信用組合聯合會の進展に付きまして一言いたしますれば、預金の増加は甚だ著しいのであります。金融恐慌前に較べますれば二倍になつて居ります。貸付金に於きましても増加して居りますけれども、之を預金に較べますれば預金の増加率は著しく高いのであります。従つて全國の信用組合聯合會に於ける餘裕金は大變増加して參つて預け金が七千四百三十九萬三千圓、現金が二十七萬九千圓、有價證券が四千五百七十八萬三千圓、合計一億二千四十五萬五千圓といふ様な多額を生じて居ります。従つて此の餘裕金を消化する運用方法に付て相當苦しみを生じたのであります。或る場合に於ては其の爲に甚だ面白からざる結果を見て居る事もあるのであります。

第三に販賣組合聯合會の一般情勢に就て申上げます。近年著しく米、繭の値段が下落しました爲に農家としては痛切に販賣組合の事業の必要を感じるやうになつたのであります。従つて組合理事者も農家の生産物を組合に於て統制せんとする處の意氣を示して參りまして、販賣組合進展の機運が全國を通じて著しく増加して參つたのであります。岩手縣、栃木縣等の販賣高は倍加されたといふ事が報告されて居ります。又高山縣の販賣組合の米の取扱高は移出米の三割強を占めて居るといふのであります。また農家の他の重要生産物たる繭に對しましては、静岡縣の如きは産業組合に於ての取扱高は縣下總生産繭の八割を占めて居るといふやうな情勢になつて居ります。繭に付きましては之を加工し

て販賣する。即ち自ら製絲工場を經營して生絲を製造して、販賣する、所謂産業組合製絲は、目下著しく進展の傾向を示して居ります。即ち本期間に於て組合製絲の新設されたものは香川縣、山梨縣等でありまして、之は今迄餘りさういふやうな組合のない所に新に造られたのであります。又長野縣、徳島縣、奈良縣、京都府等に於きまして新しく出來たものがあります。尤も組合製絲の設立に付きましては濫設の弊に陥らないやうにせねばなりません、理論としましては組合製絲の設立は最も必要であります、之を設立するには多額の固定設備を要し、又其事業を經營する上に於ては、専門的の技術を要するのでありますから、極めて慎重なる調査と完全なる計畫を要するのでありますからして此の場合濫設するといふやうな弊に陥らざることが最も必要であります。また牛乳の販賣組合に就きましては本期間更に一層の進展を示してをりまして、東京府、神奈川縣、千葉縣、愛知縣等に新設組合が見られて居ります。蔬菜果實の販賣組合に付ても進展の機運ありと報告されたのは秋田縣、神奈川縣、山梨縣等であります。其の他鶏卵、蕈、水産物其他の副業生産品の販賣組合の勃興して居る縣は岩手縣、神奈川縣、栃木縣等であります。

更に販賣組合聯合會に付て見るときは、秋田縣、新潟縣等の縣區域の販賣聯合會及愛知縣碧海郡の販賣組合聯合會、北海道上川郡の販賣組合聯合會に於て農業倉庫を利用して、益々活動を盛んにして居ることは産業組合運動の爲に喜ばしい事でありまして、又米の販賣に付きまして茨城縣販賣組合聯合

會は昨年六月東京に事務所を設置して活動されて居ります。また岐阜縣に於ては濃飛農倉販賣組合聯合會が設立され、鳥取縣に於ては米、木炭の縣區域の販賣組合聯合會が設立され、宮崎縣に於ては日向米の販賣組合が設立され、山梨縣の組合製絲に於ては聯合機關が設立されたのであります。北海道製酪販賣組合聯合會に於ては本期間に於て、其の事業は著しく進展しまして、全國の消費量の七分の一を取扱ふことになつたのであります。要するに全國を通じて販賣事業進展の状況を見るに至つたことは、注目すべき事實であります。

第四は購買組合及購買組合聯合會の情勢であります、購買組合も矢張販賣組合と同様に其の事業は進展の傾向があるのであります。其の事業の一つとして高知縣の報告に依りますと、購買事業を開始したものが本期に於きまして三十四もありました。また北海道、山形縣、埼玉縣、大分縣の産業組合は、生計用消費物品を取扱はんとする處の傾向があるといふやうな事、之は農村の購買組合に於て、只單に今迄の如く農業用の原料品計りでなく、生計用品に向つて新方面の途を開拓しつゝあることを示すものであります。又産業組合中央會に於きまして、前年度に引續き九縣十ヶ所に於て購買組合の協議會を開きまして、理事者諸君と大いに購買組合の進展に就て討議した事も、此の運動に對しまして相當の効果があつたものと存じます。尙ほ消費組合に於きまして特に労働者階級側に於きまして着々新しい方面を開拓されつゝあるのであります。東京府に於きまして準労働者階級の消費組合の數は

漸次増加し、尙ほ新たに許可を受けんとする處のものもあります。また經營の上に於ても益々進展を圖つて居るものが多いのであります。而して東京府に於きましては之等勞働者階級の消費組合と、其他の消費組合の間に於きまして意思の疏通を缺いて居つたといふやうな傾向がありました。本期間に於きまして兩者の協議會を開催しまして、協同事業の前途に付て大に研究され、又相互の聯絡を執らんが爲に東京消費組合協會の組織を見たる事は、都市の産業組合發達上に於きまして注目すべき事でありませぬ。又神奈川縣に於きまして横濱工信組合……工場勞働者の組合であります。此の横濱工信購買組合の事業に刺戟されまして、川崎、平塚等に於ても此種の組合が起らんとして居ります。然しながら、一面茨城縣、三重縣等の報告に依りますと、購買事業の縮少されるやうな傾向があります。また岩手縣の報告に依りますと、購買未収入金の回収が甚だ困難であるといふ事でありませぬ。他の地方に於きましても斯る組合がないのではありませんが之等は大に整理刷新を要する次第であります。購買組合の取扱額は、昭和二年の物價の下落に因りまして全國の賣却高は價格の上にては減少して居りますが、數量の上から申しますれば相當の増加を示して居るといふ事は疑ないのであります。又他の事業と同じく本期間に於きまして、購買組合聯合會の事業は著しく進展して参つたのであります。栃木縣、群馬縣の購買組合聯合會が事業を開始しましたこと、整理の爲に事業を中止して居りました島根縣の信用購買聯合會の購買事業が再び開始せられたこと、更に大分縣及千葉縣に新たに縣區域の購買組合聯合會が設立されたこと、また静岡縣は今迄信用組合聯合會で購買販賣事業を兼營して居りましたが、それが最近獨立して購買販賣利用組合を新設することになりましたこと、また神奈川縣、山梨縣に於きまして、縣區域の購買組合聯合會の設立を計畫なしたること等は、進展の機運の著しく動きつゝあることを示すものであります。また富山縣の郡購買組合聯合會に於きましては、肥料の共同購入を爲す爲めに合同して伏木港に事務所を置いて事業を開始いたしましたして成績良好であります。其の他の縣區域の購買組合聯合會に於ても、其事業が段々進んで参りまして、長崎縣の聯合會に於ては肥料配合所を増設し、福岡縣の購買販賣組合聯合會に於ては創立後二ケ年にして其の取扱分量が百萬圓に達したといふことなどは、我が産業組合運動の爲に大に喜ぶべき現象であります。鳥取縣に於ては醬油の醸造を行ふところの購買利用組合聯合會を新に設置し、また滋賀縣の信用購買組合聯合會や岡山縣の備南聯合會に於ても醬油醸造事業を行ふといふ事になりましたことは、購買組合が生産方面に一步を進めたといふ事を示すのであつて、甚だ喜ばしき事であります。

最後に利用組合及利用組合聯合會に於きましても、是れ又漸次進展して参りまして、或は産業方面に於て、或は經濟方面に於て各種の組合が各地方に新設されて來るやうになりましたことは大に注目する處の値打があるのであります。鳥取縣、高知縣に於きましては、特に病院の利用組合の設立が許可されました、目下事業開始の準備中でありませぬが、之等は利用組合の事業として、一つの新しい現

象であります。

四 産業組合中央機關

先づ産業組合中央會に就て申し上げます。産業組合中央會の事業といたしましては教育事業、調査事業、監査事業を主要なる事業といたして居るのであります。中央會の事業に就きましては既に諸君は御承知のことです。委しい事は省略いたしまして、其の中の主要なるものに就て一二申し上げます。

産業組合中央會所屬産業組合學校、之は本年の三月末に第三期の生徒二十九名を卒業せしめまして更に四月に入りまして三十二名の生徒を入學せしめました。幸にして學校の成績は良好でありまして、殊に本年の入學生、即ち第四期の入學生の如きは、各府縣よりの入學希望者中、組合長組合理事者の子弟の方が相當多數を占めるやうになりましたといふ事は甚だ注目すべき事と存じます。産業組合長期講習會は第十六回に達しまして、七十一名の修了生を出し、實務講習會は第五回であつて五十五名の修了生を出して居ります。之等は何れも我國の産業組合運動の上に於て活躍して居らるゝのであります。而して此等講習會の情勢を見ますといふと、年々講習生の上に於て眞面目な氣分が溢れて來たといふ事、之は一面に於ては矢張産業組合運動に眞劍味を帯びて來たといふことを證するのではなからうかと、吾々は喜んで居るのであります。

婦人講習會は本期に於きまして百四十三名の修了生を出しました。之は年々其の修了者が増加しまして、數年前とは大變な違があります。また本年に於きまして新しき教育の試みとしてやりました事は、産業組合の理論講習會であります。之は要するに我が産業組合の將來赴くべき處の途、即ち産業組合が到達せねばならぬ處の目標を一つ研究して見ようかといふやうな意味に於きまして、産業組合理論講習會といふ名稱で以て講習會を開きましたところが、各地よりして百名以上講習生が、而も若き方が主として集つて來られたのであります。此中で九十七名の方々が完全に講習會に出席せられた譯であります。之は中央會として初めての試みでありましたが、結果は相當見るべきものがあると思ひて居ります。尙ほ監査講習會を行いました。其の外中央會に於きましては各種の調査を行つて之を調査資料として發表し、また宣傳用としましては宣傳叢書やリーフレットを出して居ります。

産業組合中央金庫の情勢に就きまして大要を申し上げます。産業組合中央金庫の事業は年と共に進展しまして、貸付に於きましても、預り金に於きましても非常に増加して居ります。先づ預り金に就て申して見ますと、昭和三年三月末には二千百三十萬五千圓でありましたが、それが本年三月八日の計算では四千九十七萬圓になつて居りますから殆ど倍になつたのであります。之等は要するに聯合機關の利用が濃厚になつたと申してよからうと存じます。また貸付の残高は五千百四十八萬七千圓であります。されど此の貸付金額に付きましては其の大部分は政府の供給に係る特別資金が多い

のであつて、金庫から出して居るのは其の一部分であります。要するに中央金庫の事業は貸付の方面に於きましても預り金の方面に於きましても、漸次進展の情勢が見えて居るといふことは事實でありまして、更に此の機運に乗じて、益々産業組合金融の發達を期するが爲め、各種資金の供給には積極的の方策を攻究せられつゝあるのであります。

全國購買組合聯合會の事業は最近著しく増加して参りまして、昭和三年の八月一日から昭和四年の三月末日迄の事業の分量を前年の同期の事業分量に比較しますと百三十萬圓餘増加して居るのであります。即ち肥料の取扱額は三百九十三萬圓に達して居つて、前年の同期に較べますと百二十三萬圓の増加であります。また雜貨の取扱は五十九萬六千圓でありまして、前年の同期に較べますと十二萬二千圓増加して居ります。また加入組合及出資額も徐々と増加して居ります。要するに此等は我産業組合運動の上に於きまして全國的の聯合會を利用する處の機運が段々促進されたる結果であらうと存じまして甚だ欣ぶべき次第であります。

大日本生絲販賣組合聯合會に付て見るに、現在の所屬會員は七聯合會と二十四の組合でありまして、其の取扱額即ち生糸の販賣額は大變に増加しまして、昨年七月一日から本年の三月末に至る間の取扱額と、前年の同期の取扱額とを較べますと、三千圓餘の増加になつて居ります。大日本生絲販賣組合聯合會は申す迄もなく我國の産業組合製絲に對する全國的の聯合機關であります。現在に於きま

ては此の聯合會に所屬して居ります聯合會中には、震災當時の燒絲問題の關係がありまして、其の聯合會で生産したる生絲を全部出荷なし得ぬのであります。之等は其の關係が結末を告げた後に於ては生産生絲の全部を此の聯合會へ出すといふ事を實行することが出来るのでありまして、其の場合には生絲の販賣數量は益々増加いたしますから、其の勢力は最も強くなるものと存じます。さうなれば聯合會が自ら海外に向つて生絲を輸出するといふやうな機運を持ち來すことは敢て至難にあらず、要するに聯合會に所屬して居る會員たる聯合會及組合の決心如何に依つて決するのであります。

五 國際關係報告

最後に申し上げます事は國際産業組合關係報告であります。之は先程御報告申しました通り此の大會に際しましても歐米諸國の中央機關からして祝辭祝電を寄せられ、尙ほ又平素我が産業組合中央會と歐米の産業組合中央機關とは密接なる聯絡關係を維持して居ります事は、國際的産業組合運動の爲に最も有益なる事と信じて居ります。其の他常時調査資料の送付、書籍、雜誌、其の他印刷物の交換等をいたして居ります。次に國際産業組合婦人協會に對しましても常に聯絡を取り通信の交換をして居ります。また今回の資料展覽會に於て諸君の御覽に供して居る處の歐米各國の産業組合に關するポスター或は其他の印刷物といふやうなもの、之等は何れも歐米の中央機關の厚意を以て我が産業組合へ對して寄贈されたものでありますから、どうか御熱心に御觀覽あらんことを希望します。

以上、昨年の全國産業組合大會以來一ケ年間に於ける我が産業組合の情勢に付て大要の報告を終つたのでありますが、之は要するに此の一ケ年間に於ける我が産業組合運動の趨勢に甚だ喜ばしき傾向が現はれてきたことを認むるのであります。諸君と共に慶祝に堪へないのであります。

諸君、我が産業組合は今や振興刷新の時代にあるのであります。本年は其の時代の五年目に相當するのであります。而して振興刷新時代に於て、諸君と共に到達せざるべからざる我が産業組合の目標は、産業組合によりて庶民大衆の經濟生活を統制することであり、換言すれば産業組合主義の經濟組織の運営を完全に行ひたいことでもあります。之を農業金融に付て見るときは、農村金融の中心機關としての信用組合、府縣區域の信用組合聯合會、産業組合中央金庫、此等の産業組合系統の機關の完全なる聯絡協同によりて農村金融を産業組合によりて統制なし得る事を實現したいのであります。而して此の實現は農業金融を民衆化せしめ眞に全農業者の爲めに金融的利便を與ふることとなるべきであります。同時に其の資金によりて購入すべき農業原料品及生計用品又其れによりて生産せられたる生産物の販賣、是亦産業組合によりて統制なし得ることにより、初めて農家經濟の進展を期待し得、農業者の生活を向上安定せしむることを得るのであります。而して此の産業組合による農村經濟生活の統制は都市に於ける中小工業者、俸給生活者、勞働者等の組織する産業組合に對して密接なる聯絡

協調を保持することに依りて、消費者と生産者間の直接交渉をなし得ることとなり、兩者の利益は爲めに増進せられ、此處に於てか農村、漁村と都市とが從來の如き不平等なる對立より脱却して平等的の地位に立ち、各其の利益を増進なし得て、兩者の正當なる繁榮を見ることを得るに至るべきであつて、是實に國家社會の隆昌を期する根柢を確立する所以であります。

此の如き我が産業組合の高遠なる企圖を成就なさんが爲めには幾分か慶祝すべき程度に進みたりとは云へ決して現状に満足するを許さぬのであつて、諸君と共に益々産業組合運動の進展を圖らなければならぬ。即ち我々が常に諸君と共に高調するところの第一には、一面に於て相當發達してをる信用組合の事業を益々刷新して完全なる活動をなさしむると同時に、購買販賣及利用事業を積極的に發達せしめて、庶民大衆の經濟生活に根本的の改造を實現すること、第二には地方的及全國的聯合會の發達を促進せしめ、我國の全産業組合の團結による製造事業の實現、及組合員の生産物の販賣を行ふこと、第三には都市に於ける消費者の産業組合を發達せしめ、之と生産者の産業組合との聯絡を密接ならしめ取引を圓滑ならしむること、此等の事項を一日も早く實現なすことが最大急務である。希くは諸君、我が産業組合運動に甚だ欣ぶべき曙光を認めたる此の好機を逸せず、理想の彼岸に一意邁進する様奮闘せられんことを望むのであります。

三、昭和四年度に於ける産業組合情勢

例によりまして過去一年間に於ける、我が産業組合運動の大體の情勢を全國より參集せられたる同志諸君に對して、極めて簡明に御報告致します。

一、數字的説明

先づ第一に數字的の説明を、すこし致したいと存じます。我國の産業組合運動の數字的の發展は依然として繼續せられて居るのでありまして、これを組合數から觀ますといふと昭和三年末には一萬四千百七十一でありましたが、四年末にはそれが一萬四千四十七となりまして、百二十四減つて居ります。而して組合數はさういふ風に減つて居りますけれども、組合員の數は大變増加して居ります。即ち昭和三年末には組合員の數は四百二十二萬二千人でありましたが、四年末には四百六十萬一千人となりまして三十八萬人ばかりの増加であります。之を過去に於ける増加數に比べて見ますと、大正十四年から昭和元年に亘りましては三十一萬人殖えて居ります。また昭和元年から二年にかけては二十一萬人殖えて居り、昭和二年から三年にかけては二十五萬人殖えて居りまして、三年末から四年末に於けるところの増加はこれを前三年間の増加に較べまして大變多いのであります。

更に四年末の資金に就て觀ますといふと、出資總額は二億九千七百五十九萬圓、拂込済出資二億一

千三百十六萬圓、諸積立金一億二百八十七萬圓、借入金二億四百一萬圓であつて、いづれも前年末に比して一割から一割八分までの増加をみてをります。而して運轉資金の總額は之に貯金を加へまして十六億一千二百九十五萬圓になつて居りまして、三年末の十四億四千六百六十五萬圓に較べますれば一割四分、即ち一億六千六百二十九萬圓の増加を示して居ります。

次に組合の餘裕金に就て觀ますといふと、三年末には四億五千七百四十八萬圓の餘裕金を持つて居りましたのが、四年末には五億一千五百二十八萬圓といふ額になつて居るのでありまして、五千七百七十九萬圓の増加となつて居ります。更にこの餘裕金を別けてみますと、預ヶ金が四億一千二十五萬圓、有價證券が七千八百二十七萬圓、現金が二千七百七十五萬圓といふやうな數字を示して居るのであります。

轉じて事業の方面から觀ますといふと、これまた三年末に比べて、四年末は相當の増加を示して居ります。先づ第一に……貯金組合が取扱つて居りますところの貯金額は四年末には十億九千二百八十九萬圓になつて居りまして、これを三年末に比べますと一億六百四十二萬圓の増加即ち一割強の増加を示して居ります。組合員に對する貸出額に於きましては九億五百三十四萬圓でありまして、三年末に比べますと一割餘即ち九千九百九十八萬圓の増加を示して居ります。次に販賣組合の取扱ひました組合員の生産物の販賣高は二億四千六百三十八萬圓に上つて居りますし、購買組合の取扱物品の購買高

は一億五千七百七十二萬圓で孰れも前年に比べて八分乃至九分の増加を示して居ります。又利用組合の利用料は五百三十九萬圓となつて居ります。

産業組合聯合會……全國購買組合聯合會及び大日本生絲販賣組合聯合會を含んで居ります……の數は四年末に百八十五、これを三年末の百七十九に比べますと六を増加して居ります。而してこの百八十五の聯合會に所屬して居りますところの會員の數、即ち所屬聯合會及び組合の數は一萬七千五百二十六に上つて居り、これを三年末に比べますと一千九十一の増加になつて居ります。

聯合會の事業は何れも増加してをりまして、これを三年末に比べますと大體に於て、一割四分乃至二割六分の程度に於て増加して居ります。即ち貯金に於ては二割六分を増加し、貸出に於ては二割一分を増加し、販賣高に於ては一割九分を増加し、購買高に於ては二割五分を増加し、利用料に於ては一割四分を増加して居ります。勿論聯合會の事業分量を、個々の組合の事業分量に比べて見ますればそこは非常の差異がありますけれども、しかしながら之を三年末に比べますと、今申すやうな増加率を示して居るのでありまして、聯合會利用増進の機運が漸次たかまつて來たといふことを示すものと觀て差支へなからうと存じます。

最後に農業倉庫に就て申しますと、昭和四年末に於ける經營主體數は二千六百九十一になつて居りまして、これを三年末に比べますと百二十九増加して居ります。而して産業組合が經營するところの

農業倉庫は、昭和四年末と三年末を比べますと、百四十四増加しまして二千五百七十五の數になつて居りますが、その他の經營主體は漸次減少しつゝあります。更に縣聯合農業倉庫に就て見ますと、現在に於ては新潟縣の聯合農業倉庫、愛知縣碧海郡の聯合農業倉庫、秋田縣の聯合農業倉庫、北海道上川郡上川農業倉庫の外に沖繩縣聯合農業倉庫が新たに經營されるやうになりました。

以上は數字的の説明であります。更に第二と致しましてこの期間に於ける我が産業組合運動の特徴に就いて少し申し上げたいと存じます。

三、本期間に於ける産業組合運動の特徴

大正九年以來引續きたるところの財界の不況、更に大正十二年の關東大震災、昭和二年の金融恐慌を経て一層悪化してまゐりましたところの我國經濟界に於きまして、あらゆる事業が沈滞の状態にあるにも拘らず、我が産業組合運動が昭和四年に於きまして新たに三十八萬の組合員を獲得し、事業方面に於きましても相當の進展を見るに至つたことは、諸君と共に甚だ欣快とする次第であります。その原因と致しましては經濟界の不況が深刻化したること、その結果と致しまして、大衆の經濟生活が、より一層窮乏化したといふことに因る大衆自身の自覺が、その主なるもの、一つとして擧げ得られるものであらうと存じます。

經濟界の不況は、實に我國のみの問題ではありませぬ。實に全世界の現象であります。大戰後歐洲

諸國の經濟界が非常な不況の状態にあるにも拘らず、獨り繁榮を續けて居りましたところのアメリカの財界も、昨年十月株式界の混亂以來不況の傾向頗に進み、最近は經濟狀態が沈滯不況に陥つて來たのでありまして、今や全世界を擧げまして經濟的不況に陥つて居るやうな次第であります。

我國は金解禁後日猶は淺く、加ふるに米國の不況の結果と致しまして生絲貿易は極端に沈衰なし、又銀相場の低落によりまして支那貿易は不振を極め、關稅引上げの影響を受けて印度貿易は萎縮したる等の結果に據りまして、經濟界の情勢は甚だ非なるものがあるものであります。これが對策と致しまして産業の合理化といふことを行ふべく餘儀なくせられてまゐつたのであります。素より産業の合理化なるものは、現在の産業及び經濟界の情勢から觀て必然的に行はなければならぬところのものでありますけれども、汎く國民の福祉の増進と、利害關係とを考察致しまして、その方策を樹立しませんければ、或ひはこの結果として、労働者に對しては失業を惹起するの虞れがありませうし、また都市の中小商工業者に對しては、銀行の合同によるところの金融難が起り、或は資本家的大事業の壓迫に依るところの倒産、かくして生活の不安に脅かされるに至るの恐れがあるのであります。

更に農村に於きましては資金の都市集中、獨占價格による物資の配給等に依る經營難が加重せられ同時に米價や満價の低落に依るところの經濟上の苦痛が顯著となるのであります。これらは既に事實となつて諸君の前に展開されつゝあるのであります。斯かる事實は一般大衆の經濟生活合理化の方

法としての産業組合運動が必要であるといふ理解を促進し、これに向つての進出を濃厚ならしめたのであります。従つて過去一ケ年間に於けるところの、我が産業組合運動は、第一、購買販賣事業の進展、第二、聯合運動の促進、第三、産業組合教育運動の進展と云ふ特徴を示してをるのであります。

三、購買事業の進展

購買事業に就きましては、昨年松江市に於て開催致しましたところの第二十五回全國産業組合大會で、その進展方法に就いて決議せられたる爲め、全國の産業組合を通じて、此の事業は特に重きを置かれるやうになりつゝあります。就中農家の購入致しますところの肥料を全て産業組合にて配給することに目標を置いての努力が熱烈に拂はれて來ました。從來産業組合に於ける肥料方面に對する勢力は極めて微弱であつたのであります。之を現在の經濟界の情勢より觀察致しますときは、米價の低落、満價の低落、其他農産物價格の低落は當然免るべからざるころの運命でありまして、今遽かにこれを騰貴せしめることは恐らく至難であらうと存するのであります。故に農家は生産費の節減に向つて主力を傾注せざるべからざるに至り、従つて肥料の供給を合理化するがために産業組合に依りて肥料の配給の統制を企圖するに至つたのは當然のことであらうと存するのであります。政府が提案して居るところの肥料配給改善策をまつまでもなく、先づ農家が自らの肥料配給網を完成しなければならぬのであつて、即ち全國購買組合聯合會と、府縣の購買組合聯合會を中樞とするところの、産業組合組

織によつて、全農家は肥料を得るに至らなければならぬのでありまして、それが即ち生産費の節減に對して、農家として當面に實行すべき最も重要な對策であらうと存するのであります。従て實際に於て全國を通じまして購買事業を開始するもの、または取扱數量の増したる組合が著しく増加し、殊に府縣を區域と致しますところの地方的購買組合聯合會の完成發達に力を盡しつゝあるのであります。これを聯合會に就て觀ますと、本期間に於きまして既設の府縣聯合會として新たに購買事業を行ひ出しましたものは秋田縣の聯合會であります。又京都府に新たに購買組合聯合會が設立されました。尙ほ宮城縣も極めて最近購買組合聯合會が設立せられました。それから既設の購買聯合會のうちで、進展の最も著しきものは北海道の聯合會、長野縣の聯合會、静岡縣の聯合會、福岡縣の聯合會等を擧げ得るのであります。更に富山縣、和歌山縣、三重縣等に於きましても購買組合聯合會の設立準備中であります。

全國購買組合聯合會の發達を期待するところの傾向が、組合間に著しく濃厚になつて來たのでありまして、昭和四年九月東京に於て開催されました道府縣區域の購買販賣組合聯合會の協議會に於きましては、政府の肥料配給改善策に關連して、全國購買組合聯合會發展に關する決議が行はれました。更に又昭和五年一月開催せられましたところの第三十三回支會役員及主事協議會に於きましても、全國購買組合聯合會の出資を五百萬圓以上に増加なすといふことを決議致し、それに就ての實行方法は

中央會が主となつてやることになつたのであります。故に中央會に於ては各府縣に對する所の割當方法を決定致しまして、本年四月各支會に對して通知致しましたやうな次第であります。而して各府縣とも最近に於て漸次全國購買組合聯合會に加入するところの組合が増加してまゐりまして、殊に廣島縣の如きは、加入の決議を致しましたところの組合が五十一に達して居るのであります。尙東北各府縣に於ける加入組合は著しく増加してまゐつたのであります。

それから現在の全國購買組合聯合會の事業分量を一言申して見ますと、昭和三年度即ち三年八月一日から四年七月末日に亘ります一事業年度の事業分量——取扱總額は六百十四萬圓に上りまして、これを前年度に比べますと百九十五萬圓の増加であります。而してそのうち肥料の取扱高は五百三十八萬圓であります。更に昭和四年度に入りましては、即ち昨年八月から本年の三月末日までの事業の分量を見ますと、肥料の取扱高は三百三十二萬圓、これを前年の同期に比べますと百二十三萬圓を増して居りますし、又雜貨の取扱高は四十六萬圓に達しましてこれを前年同期に比べますと十二萬圓を増加して居ります。これが實際、三月末までに配給致しましたところの金額であります。肥料の如きは既に契約を致しましたところの額が、三月末に於きまして六百萬圓に達して居るのであります。御承知の通り肥料は非常に値段が下つて居るのであるにも拘らず、以上の如き増加を示して居るのであります。而して全國購買組合聯合會が最近最も力を注いで居りますところの配合肥料にいたりまして

は、其の需要は益々増加してまゐつたのでありまして、横濱に設立致しましたところの肥料工場も、本年は更にそれを移轉擴張致したのであります。そして二月から新しき工場に於きまして、配合肥料の製造を開始して居ります。又大阪事務所に於きましても、尼ヶ崎に肥料工場を新設致すこととなりその工事に着手せんとして居るのでありまして、この尼ヶ崎工場が完成致しました上は、近畿、中國、四國、山陰方面に向つて配合肥料の供給を積極的にやらうといふことに計畫して居るのであります。而して全國購買組合聯合會は、今後一層積極的の方針を以て事業の經營を行ひ、各種の肥料——單肥及び配合肥料——主要なる雜貨に向つて全力を注ぎ、全國的に聯合機關の機能を充分發揮せんとして居るのであります。幸ひにして出資を五百萬圓以上に増加するといふところの計畫が成立致しました上は、更に門司其他二三の主要なる土地に肥料工場や配給所を設けまして、全國購買組合聯合會を中心とする産業組合による肥料の配給を徹底的に實行せんとするところの計畫を持つて居るのであります。

尙ほ購買事業につきまして一二附加へて申し上げたいことは、大體全國を通じまして購買組合の事業は先程から申上げます通り進展して居るのでありまして、全國的に申しますれば一千二百四萬圓も取扱數量が増加して居るのであります。併しながら財界不況の結果として或る地方に於ては寧ろ組合理事者が消極的の經營方法を取りたるがために、前年に比べて購買組合の事業分量が減少して居るやうなところもあるのであります。即ち長崎縣の如く本期間に購買組合の取扱數量が前年に比べて倍加し

たところがあるが、又茨城、鳥取、兵庫縣等の如き、購買高が減少してをるところもありません。勿論これは物價低落の關係からでありまして、量の方面から見ますれば大なる減少とは申されぬのであります。又農村の經濟がだん／＼と苦しくなつてきた結果として、肥料代金の回収に付て相當困難を感じるやうな組合があるのであります。しかもそれが積年の滞りのために一層回収に困難を感じるやうな場合もあるのでありますからこの際に處して組合理事は一面に於ては肥料の取扱を積極的に進展せしむる方法を實行すると共に一面に於ては斯かる延滞賣却代金に向つては、組合員の爲に好都合なる方法によりて、之が整理の途を講ずることに細心の注意を拂ふことが今後肥料配給の上にて産業組合が積極的進展をなすがために最も大切なことの一つであると存するのであります。

更に消費經濟方面に於ける購買組合の事業……所謂經濟用品の取扱に付てみますと、全體に於て數量は増加して居ります。

殊に福岡縣、山口縣、鳥取縣、長野縣、靜岡縣の如き、いづれもその取扱數量は相當増加して居ります。特に東北地方の組合が、最近經濟用品の取扱も開始し、又今迄開始して居るところは一層その取扱數量が増加したといふやうな傾向がありますことは、農村の産業組合が消費經濟方面に向て進出なしつゝあることを示すものでありまして、産業組合運動進展の一傾向と觀られるのであらうと存じます。尙ほ大都市に於きましますところの消費組合、之は現下の社會情勢から觀ますと勞働者、若くは俸

給生活者が生活上極度の不安の地位に置かれて居りますから、この際消費組合の必要を理解せしめることが最も適當なる時機であらうと存するのであります。従つて東京その他大都市に於きましても消費組合は漸次良好の状態に進みつゝあるのであります。殊に消費組合に於ける婦人運動……組合員たる婦人若くは家族の婦人連が大いに働くといふ傾向が起つてまゐつたのであります。購買組合、神戸消費組合、東京の家庭購買組合の如き、婦人の活動は近時著しき程度になつて参りました。殊に後者に於ては婦人が事業經營上にも参加するようになつてきましたことは、消費組合の進展上甚だ喜ぶべきことであります。

四 販賣事業の進展

購買事業の進展と共に注目すべきことは販賣事業の進展であります。先程申しました如く販賣事業は過去一ケ年間に於いて取扱ひました高を、前の一ケ年に比べますと二千百萬圓の増加を示して居ります。而してそれを全國から観ますれば、多くの組合は販賣事業を開始することに向つての準備を進めて居るのであります。同時に購買事業と同じく販賣事業に關しても、どうしても矢張り地方側の聯合會の進展が伴はなければ、組合の活動を十分ならしむることができないといふやうなことを自覺して居るのであります。もともとより一面に於ては販賣金額の減少した縣の聯合會もありますが、石川縣

の聯合會の如く前年に比べて販賣事業方面の數量が五割五分も増加し、又鳥取縣の聯合會の如く六倍になつて居るやうなところもあるのであります。

更に米穀と生絲の販賣事業に就て極く簡単に申上げて見ようと思ひます。米穀は申すまでもなく、農村の産業組合としては販賣事業の中心となるべきところの品物でありまして、只今に於きましては農家で販賣致しますところの約三千五百萬石の米のうち、約二割に足らないところの數量を産業組合の方で取扱つて居るのでありますから、今後どうしてもこの方面に對しては、最善の努力を拂はなければならぬのであります。其の意味からして、昨年五月東京に於て開會致しましたところの全國農業倉庫協議會に於きまして、この問題に就ていろ／＼と審議を致したのであります。而してどうしてもこれは全國を區域とするところの、米穀の販賣組合聯合會を作るやうにだん／＼と進まなければならぬといふ決議を致したのであります。實際に於ては曩に設立せられましたところの秋田縣、新潟縣の米穀販賣組合の聯合會或は富山縣の兩礪聯合會の如きは、御承知の通り東京に事務所及び倉庫を設けまして、仕事をやつて居るのであります。又山口縣の聯合會の如き大阪に進出して漸次進展して居るのであります。殊に秋田縣の聯合會は本年の初めに東京の池袋に立派な農業倉庫を建設して居ります。又山口縣の數個の聯合會は、縣内の販賣組合の取扱ふところの八割までのこの販賣を統制して居るのであります。其他の方面に於きましては福井縣、兵庫縣に於ても米穀の販賣を主とするところ

の縣の販賣組合聯合會が生れ出したのであります。さういふ風にだん／＼と各府縣に於ては地方的の聯合會及び殊に農業倉庫によつて、その縣の米穀の販賣を組合の力で以てやつて行くといふことが、だん／＼と進展しつゝあるのであります。而して一面全國的の米穀販賣組合聯合會を設立しなければならぬといふことの機運が益々促進せられました。昨年は全國を東西に分けて東部日本聯合農業倉庫協會及び西部日本聯合農業倉庫協會といふのが設立せられたのであります。そして前者は京濱を中心とし、後者は阪神を中心として結合し、以て將來全國的の販賣組合聯合會設立の地歩を作るべく適當の活動を爲しつゝあるのであります。更に昨年九月東京に於て開會致しましたところの全國購買販賣組合聯合會協議會、この場合に於てもこの問題に就きましていろいろ審議を致しましたが、これに就てはこの二つの農業倉庫協會に於きまして、全國的の米穀販賣組合聯合會設立の機運を濃厚ならしめるやうにいろいろの準備をする必要があるといふことに決議を致しました。而してこの兩農業倉庫協會が聯絡を取つて兩方から或る數の聯合委員を出しまして、全國的に必要ないろいろの問題を審議するといふやうなことになりました。更に本年二月中央會はこの聯合委員を集めました。その際西部の農業倉庫協會の方から一日も早く全國的の米穀販賣組合聯合會を設立してくれといふ要望がありましたので、それに對していろいろ協議を遂げまして、結局東部の側もそれに賛成を致しました。それならば進んで設立の具體的調査をしようといふことになりました。五、六月には更に兩協會の方から

二名宛代表者を出して、中央會と共にこの問題に就き審議を致すと云ふことになつたのであります。斯くの如く米穀の販賣を主體とするところの全國的聯合會設立の機運が、この期間に於きまして急速に進展して來たのであります。

次に生絲方面に於きましての我が産業組合活動の状況を一言申し上げたいと思ひます。御承知の通り現在の蠶絲業は非常に行き詰つてまゐつたのであります。しかも蠶絲業の行詰り、殊に製絲業者の困厄を現實に暴露致しました事は、昨年末から本年にかけては是程甚しかりしことは、未だ曾てなかつたのであります。即ち昨年末の繰業休止、本年に入りては釜數の三割封印を行ひ、引續き共同保管強制保管を行ふも其の効なく、遂に融資補償法の發動を見るに至りましたが、而かも其の結果は諸君の覽の通りであります。この場合に於きまして我國の蠶絲業を根本的に改善する方策、その根本的の方策の一として最も重要なものは、産業組合製絲の發達を圖るにあると云ふことは既に我々は諸君と共に確信してゐるところでありまして、一般の識者もそれを承認して居るところであります。従つて本期間に於きましては、今申すやうな蠶絲業の不況のために、産業組合製絲も其の影響を受けまして相當打撃を蒙り休業の有様を呈して居るやうなものもありますけれども、しかしながら一面に於ては長野縣、群馬縣、愛知縣の如き、此の不況に對應してその固き地位を支持して居るのでありますし、更に岐阜縣や高知縣の如きは産業組合製絲が漸次進展しつゝあるので、殊に高知縣の如き

は組合製絲の進展が最近非常なる熱度を以て進んでゐるのでありまして、況んや縣下の産繭の二割を取扱ひ又縣下の繰絲總釜數の三割を占めて居り、生産したる生絲は全部横濱の大日本生絲販賣組合聯合會に出荷してゐるのであります。又岐阜縣におきましては全産業組合製絲が聯合會によつて統制せられ、聯合會は全部の生絲を横濱の聯合會に出荷することに致し、諸事非常に好都合に進んで居るのであります。而して積年の繭價の暴落、營業製絲の不振は、農業者をして必然的に産業組合製絲に赴かしめるといふ傾向があります。茨城、岡山、徳島、愛知各縣の報告によれば組合製絲設立の機運が頻りに動いて居ります。又現に組合製絲のあるところでは更に増加せんとする傾向があるやうになつて居ります。又岩手縣に於ては最近組合製絲の聯合會が設立せらるゝことになつてをります。此の如き場合に於て特に注意すべきことは、産業組合製絲の濫設を戒むることと、營業的製絲業者が其の不況を打開するが爲めに組合製絲の名稱を利用することでありませぬ。

更に産業組合製絲の全國的統制機關であるところの大日本生絲販賣組合聯合會は、横濱に事務所を有して居りますが、其の事業は大體に於て、年々發展に向ひつゝあるのでありまして、本期間に於ては更らに一層の進展を致しまして所屬會員の數も聯合會に於て一、組合に於て十三を増しまして、受入の捆數も昭和四年四月から五年三月に至るものを昨年同期に比べますと五千七十三捆を増して居ります。又販賣捆數に於て三千百七十捆を増して居り販賣金額に於ては十萬四千圓を増して居ります。

更に注目すべき事實は、神戸に出張所を設けて本年の新絲より關西地方の組合製絲の絲を取扱ふといふことでありまして、これは大いに關西地方の産業組合製絲に多大の便益を與へると共に、大日本生絲販賣組合聯合會の機能が完全に發揚さるゝに至ることと存するのであります。

三 信用事業の情勢

信用組合事業の情勢に就て一言致します。經濟界の不況は中小産業者の事業經營を困難ならしめ、一面財界合理化の結果として銀行の合同が盛に行はれまして、諸君御承知の通り銀行の數も昭和四年中には百五十も減少して居りますし、また更らに昭和四年十二月現在におけるところの銀行の數を、昭和元年に比べますと四百六十の減少になつて居るのであります。従つて大銀行への資金の集中の度は年々激増して資金の偏在今日より甚しき事はないと申上げても宜しいのであります。従つて中小産業者の金融難は、一層激しくなつて來たのであります。これを東北地方諸縣に就て見ますと、青森縣や宮城縣の如き、又沖繩縣の如きは農家の經濟状態が一層悪い地方でありますから、産業組合と致しましても、資金の不足に苦しんで居るのであります。けれども、又一面に於ては長野、愛知、滋賀、京都、山口、福岡の如く二三千萬圓の餘裕金を持つて、その運用に苦んで居るやうなところもあるものであります。信用組合に於ける餘裕金の多額なるは其の原因多々ありますけれども、概言すれば之を有意義に利用するが爲めに、信用組合として主動的に活動せざるべからざる餘地が未だ相當にあると

いふことは否認なし能はざるところであります。この點に就きまして、將來信用組合事業經營上の一つの攻究問題として我々も亦、理事者諸君も大いにこれは考へなければならぬことであらうと存じます。要するに産業組合の本質を明確に理解なして、信用組合方面に於きましても一層積極的に努力する必要があると考へるのであります。

貸付金に就きて全國を通觀して見ますと、依然として回収困難なる状態にあり、殊に農家經濟の悪化と共に、その度を一層深からしめるの恐れがあるのであります。又青森縣、富山縣の報告が示す如く、信用組合の貸付が對物的信用に流れるといふ傾向が幾らか濃厚になつて居るといふことは、信用組合の經營上決して喜ぶべきことではなからうと存じます。しかしながら一面に於ては地方小銀行の引續く不信用の暴露は、信用組合に對するところの庶民大衆の信頼を獲得なしをるの状態でありまして、信用組合の貯金は概して相當増加をして居るのであります。しかしながら更にこれを一面郵便貯金の増加に比べましては、まだ信用組合と致しましてその貯金方面に於ても、一層努力する必要があると存するのであります。

尙ほこの際特に中小商工業金融問題について一言致したいと存するのであります。この問題は多年の懸案でありまして、その解決は相當至難なものがあるのであります。殊に本期間に於きましては、經濟界の不況に伴ひましてこの問題は更に高調せられ、現内閣でもこれを政綱の一と爲すに至つたのであります。

而して市街地信用組合は、此問題に對して重要な役目を果さざるべからざる立場に置かれてをるのであります。大都市に於ける市街地信用組合の基礎が未だ確立せず、その活動が未だ十分ならざるがため、中小商工業金融を市街地信用組合によりて徹底せしめることが甚だ至難と認められてをつたのであります。幸ひにして最近組合當事者も組合の本質と其の任務に鑑みるところがありまして、内容の充實を圖り、事業の經營を眞に組合の目的に適ふべく運営せんとするやうに立ち至りつゝあることは欣ぶべきことであると同時に、當局に於きましても大都市の市街地信用組合に對しては一層嚴重なる監督を爲し、所謂玉石混淆の弊を除かれんとするに至りたるが如くであるのは適當のことと思ふのであります。此の時局に際して市街地の信用組合は今後一層その進展を圖りまして、眞に中小商工業者に對するところの金融機關たるの任務を完うするに至られんことを希望するのであります。

先程會頭の閉會の辭のうちにもありました通り、昨四年十月東京に開催しましたところの全國市街地信用組合協議會に於きまして、中小商工業者に對する低利資金の供給を政府に要望するの決議を致しまして、之を政府に建議陳情致したのであります。最近政府は取り敢へず二千萬圓を預金部より供給せられることになりましたから、これに對しては組合として大いに努力をすべきであると存じます。

更に信用組合聯合會に就きて觀察致しますと、大體に於て其の事業分量は増加し、貯金、貸付金に於ては、昭和三年三月末と四年三月末を比べて見ますと貯金は一割六分、貸付は一割九分の増加を見てをりますが、一面に於て餘裕金が三年末の一億一千七百八十二萬圓より四年末は一億三千二百七十八萬圓に増加して居る、即ち一千四百九十六萬圓の餘裕金が増加してをるのであります、個々の組合の餘裕金増加と共に聯合會の餘裕金の運用といふことも一つの重要な攻究問題となつて居るのであります。

最後に産業組合中央金庫の發展について、一言申し上げたいと存じます。産業組合中央金庫は全産業組合の中央金融機關と致しまして、年と共に段々と其の地位を高め貸付方面は相當増加して居ります。但し年度末の残高は本年は減つて居るのであります。而してこの一年間に於て産業組合中央金庫は組合員の舊債整理資金の貸出、米穀資金貸出の取扱を一層便宜となし、小切手の代拂と代金取立業務を擴張したる等、産業組合金融方面に對して、積極的に事實を進展せしめてをります。

六、利用事業の情勢

利用事業の方面に於て本期間に於て注目すべきことは、病院設備の爲めに特別の利用組合が設立されたことでありまして、高知、鳥取等に其の設立を見、又鳥根に於ても設立されんとしてをります。尙ほ昨年六月中央會は全國電気利用組合協議會を開催しましたが、之は利用組合の全國的協議會としての最初であります。

七、産業組合教育事業

最後に産業組合教育事業に就て一言申し上げたいと存じます。御承如の通り、昭和三年四月東京に開催したる全國産業組合大會に於きまして産業組合教育施設に關するところの大綱が諸君によりて決定されたのであります。更に昭和四年松江市に開催しましたところの支會役員協議會に於ては産業組合教育委員會の設置方針が決議せられました。それ以來産業組合教育運動は全國的に進展しつゝあるのであります。その一二の事例を申し上げますと、

第一は教育委員の設置であります。昭和三年以來埼玉縣に於ては各組合に教育委員を設けられました。さうして縣を通じて六百名の教育委員が出来まして、それが全縣に活動をしてをつて、これによりて組合員の教育を普及徹底せしめんとして居るのであります。又長崎縣、千葉縣、廣島縣、鳥根縣、福岡縣等に於ても教育委員の設置がだん／＼出来ましてこの方面に向つて力を注いで居ります。この教育委員の設置は今後全國の産業組合に於て設けられるやうになり、これによつて産業組合教育が計畫的及組織的に行はれるやうになるであらうと存じます。

第二は産業組合婦人團體の組織であります。即ち産業組合の組合員の主婦その他家庭の婦人に對する産業組合教育のために産業組合婦人會の組織が各地に行はれてまゐつたのであります。鹿兒島縣に

於ては百二十の産業組合婦人團體がありまして、五萬の會員を持つて居ります。さうして縣として産業組合婦人聯盟が出来てをるのであります。又長野縣の如きは婦人會がだん／＼出来まして今では三十程の團體があり、小縣郡では郡の聯合を作つて居ります。その他、鳥取、山梨等にも出来てをりまして、だん／＼全國的に組合婦人の運動が勃興なし、之により組合の進展を刺戟することになるであらうと思ふのであります。

第三は産業組合青年團體の組織であります。最近産業組合關係の青年を有機的に活動せしめるといふやうな試みが各地方に於て行はれてまゐつたのでありまして、長野縣に於ては産業組合青年聯盟が組織されてをります。之は十八の郡單位の産業組合關係青年團體を組織單位として組織したのでありまして最近第一回の大會を開きました。岡山縣の産業組合青年聯盟は既に數年前より組織せられて種々の活動をしてをります。又廣島縣、福岡縣、徳島縣、富山縣等に於ても縣を區域としての青年聯盟が組織されて居り、千葉縣、秋田縣等にも類似の團體が出来てをります。その他郡を區域とする産業組合青年の團體も相當各地に出来てまゐりました。

要するに此の種の青年團體は、産業組合關係青年に産業組合の本質を正當に理解せしめ、産業組合運動の目標を的確に把握せしめ、延いて一般青年にそれを及ぼすことを以て其の目的となすべきであつて、之が公正なる活動は我が産業組合運動に新生命を與ふるであらうと思ひます。

最後に學校としての産業組合教育、即ち産業組合學校に付て一言致します。これは御承知の通り大正十五年以來、産業組合中央會附屬として産業組合學校を設立致しまして、この三月には第四回の卒業生を出しまして、現在は第五回の生徒三十名を入学させて教育中であります。尙昭和四年一月より郊外に寄宿舍を志村會頭の好意に依つて設立して、全部の生徒を收容し共同生活をやつてゐますが、生徒の大部分は組合理事者の子弟です。又産業組合中央會福岡縣支會が支會の事業として産業組合學校を設けまして、本年四月開校致したのであります。福岡縣支會の産業組合學校の組織、又はその科目年限等は、大體に於て中央會附屬の産業組合學校と同じであります。即ち年限は一ケ年、資格は中等程度の學校卒業者を入れるといふことに致しまして、この四月には五十名の募集に對して四百四十八名の應募者がありました。そのうちで縣外からも六十餘名ありました。而してそのうちから六十三名のもので採用して教育して居るのであります。長野縣に於ては下高井郡中野町にある縣立農學校に一ケ年程度の産業組合科を設けました。入學者の資格は中等程度の學校を卒業致しましたものであつて、定員は四十名、それに對して七十五名の應募がありました。四十名を入学させてこれも四月一日から開講致して居ります。更らに長野支會の下伊那郡部會は部會の事業として産業組合講習所を設けました。それは下伊那郡の縣立農學校のうちに設けてありまして、講習期間は一ケ年で入學者の資格は前と同様であります。定員は二十名でありましてこれも四月一日から授業をして居ります。

斯くの如く産業組合運動が産業組合教育の方面に向つてだん／＼濃厚になりつゝあるものでありまして、何れも今迄の短期或は長期の講習會に満足せず、而も將來有爲の青年に産業組合教育を授けて、地方の中心人物たらしめんとするの目的の下に、少くとも一ヶ年程度の組織的教育に向つて力を進めて來つゝあるのであります。これは諸君と共に大いに喜ぶべきことであり、又大いに注目すべきことであります。

ハ、産業組合の國際的關係

最後に極く簡単に國際關係に就て一言申し上げます。これは資料展覽會を御覽になつても御判りであらうと存じますが、世界の各國からの圖書、雜誌、ポスター其他の印刷物等、澤山陳列されてをります。これは我國の産業組合と諸外國の産業組合との關係がダン／＼と密接になつて來たといふことを示すものでありまして、諸君に差上げましたところの「第二十六回全國産業組合大會」といふ冊子を御覽になると、今回の大會に對して外國の産業組合中央會或は聯合會からの祝電や祝辭が澤山參つて居るのであります。

かくの如く我が國産業組合運動が外國のそれと密接なる國際的關係を維持して、全世界の産業組合が共にこの新しき組織の下に固く結合して、平和なるところの社會の建設に向つて進みつゝあるといふことを諸君に申し上げて、この情勢報告の終りと致します。(拍手)

四、昭和五年度に於ける産業組合情勢

昨年岐阜市に開催致しました第二十六回全國産業組合大會以來、今回の大會開催に至るまで一ヶ年間に於ける我が産業組合運動の情勢を例に依りまして私より諸君に御報告致します。

此の期間に於ける社會情勢に就ては既に諸君自らが實際に苦痛と困厄とを滿喫して居られるのでありますから、今更ら私が其の説述に時間を費す事をさける方が賢明であると存じます。而して此の深刻なる苦悶の時期一ヶ年間に於て我が産業組合が數字上に於て如何なる成績を示してゐるかを最初に申し上げてみたいと思ひます。

第一組合數に就きましては、昭和五年末には一萬四千八十二であります。これを昭和四年末に比べますれば三十五増して居ります。即ち昭和四年末は一萬四千四十七であります。我が産業組合の組合數は、大正十四年度の一萬四千五百を最高と致しまして、大正十五年より昭和四年迄年々連續的に減少して來たのであります。本期間に至りまして初めて増加致しました。大正十四年以來の組合整理は依然進捗しつゝありますが、經濟不況の折柄未設置町村の組合の設立と、特殊組合の設立が一層必要とされて來た結果此の増加を見たのであると思ひます。組合員數に就きましては、昭和五年末の四百六十四萬七千人を昭和四年末の四百六十萬一千人に比べますと四萬六千人を増して居ります。此

の組合員数は皆さんの御努力により年々増加して居ります。出資金総額に就きましては、昭和五年末の三億三百九十四萬一千圓、之を昭和四年度の二億九千七百五十九萬七千圓に比べますと、六百三十四萬四千圓の増加即ち二・一％増加して居ります。拂込済出資金に就きましては昭和五年末の二億二千五百六萬五千圓、これを昭和四年末の二億一千三百十六萬三千圓に比べますと、一千百九十萬二千圓を増加して居ります。即ち五・六％の増加になつて居ります。更に準備金及其他の積立金に就て申上げますと、昭和五年末は一億一千百六十三萬八千圓、昭和四年末の一億二百八十七萬七千圓に比べますと、八百七十六萬一千圓増加して居りまして其の率は八・五％であります。借入金に就きましては、昭和五年末は二億四千四百二十七萬七千圓で、昭和四年末の二億四百一萬七千圓に比べますと、四千二十六萬圓増加して居りまして其の率は一九・七％になつて居ります。借入金の増加は各種低利資金其の他系統機關の資金が不況につれて組合に借入れられたものであつて、二割に近い増加を示して居るのであります。更に貯金に就いては、昭和五年末には十億八千四百二十六萬六千圓と云ふ數字を示して居ります。之を四年度に比べますと、昭和四年末は十億九千二百八十九萬四千圓でありまして、八百六十二萬八千圓を減じて居ります。即ち〇・七九％を減じて居ります。貯金の減少致しましたのは産業組合創始以來始めてのことでありまして、即ち如何に不況が深刻であるかと判るのであります。而して此の貯金は諸君も御承知の通り、前年迄は年々増加して居ります。過去兩三年間の増加

の状況をみますると、昭和四年は三年に比べまして九千六百五十四萬四千圓を増し、昭和三年は昭和二年に比べますと一億二千四百一十一萬一千圓を増し、昭和二年は昭和元年に比較して一億八百六十萬三千圓を増して居ります。然るに昭和五年末と四年末と比較致しますと、八百六十二萬八千圓を減少して居ります。然し乍ら諸君、之を以て我が産業組合の悪化とか、或は産業組合の基礎が動搖したとか云ふ悲觀的な觀察をするのは大間違ひであつて、此の深刻なる經濟不況時代に於きまして産業組合としては當然歩むべき道を歩みつゝあるので、寧ろ産業組合が社會の情勢に對應したる活動をなした當然の結果と認めて差支へないのであります。次に貸出金に就てみますると、昭和五年末は九億八千八百七十八萬圓でありまして昭和四年に比べますと、昭和四年は九億五百三十四萬一千圓で八千三百四十三萬九千圓を増して居ります。即ち八・七％の増加であります。即ち貸出金は貯金に反對して増加して居ります。之も經濟不況時代に於ては止むを得ない事であると共に、政府の特別なる低利資金の融通が開けたことが確かに原因の一つとなつて居ります。而して貯金の減少と貸出金の増加は今後如何なる状態に推移してゆくかと云ふと、即ち前者は其の程度を一層濃厚ならしむることと思ひますが、これは洵に止むを得ない事だらうと思ひます。而して後者貸出金の増加に就ては、或る程度迄増加するのでありませうけれども、之は或る點に達すれば制限されるのが當然であらうと思ひます。要するに之等は經濟情勢の變轉と組合員の經濟不況に處する對策如何に依つて決定されるものであ

らうと存じます。更に販賣組合の販賣高に就て申上げますれば、昭和五年末は一億七千四百七十九萬七千圓、昭和四年末は二億四千六百三十八萬四千圓で、それを比べますると、七千五百五十八萬七千圓を減じてをり、即ち二九%、二割九分の減少であります。之は販賣物の主要部分を占むる生絲、米、麥、繭、織物等の下落率から見ますると尙開きが見られるので、數量に於ては勿論増加せるものと思つて居ります。又購買組合の購買高に就ても同様であります。昭和五年の一億三千六十二萬八千圓を四年の一億五千七百七十二萬四千圓に比べますと、貳千七百九萬六千圓、一七・一%の減少をみて居りますが豆粕、硫安、過磷酸等の肥料や其の他一般物資の價格の下落から見れば寧ろ少く思はれるのでありまして數量に於ては當然増加してゐるのであります。次に利用組合の利用料に就ては、昭和五年の五百二十九萬一千圓を四年の五百十九萬四千圓に比べますると、十萬三千圓の減少をみて居ります。其の他農業倉庫に就て見ますも其の經營主體の數は昭和四年は二千七百四であります、五年には五十二増加して二千七百五十六となつて居ります。聯合農業倉庫は昭和四年の五經營主體が五年には一つ増して六となつて居ります。次に産業組合聯合會の概況に就いて申し上げますと、昭和五年末に於ける聯合會の數は百八十五、所屬會員數は一萬八千六十、出資總額二千七百三萬圓、拂込濟出資額一千八百三十一萬七千圓、諸積立金三百七十五萬七千圓、借入金五千五百五十八萬九千圓であります。更に其の事業に付て見ますと、貯金は一億四千六百十四萬九千圓で四年に比べて百一十一萬四千圓

を増して居ります。貸付金は八千二百六十四萬六千圓でありまして、前年に比して二千六百九十七萬一千圓を増加してをります。販賣組合聯合會の販賣高に於ては六千七百八十八萬六千圓で、前年に比して三百八十七萬五千圓を減じて居ります。然し乍ら購買組合聯合會の賣却高に就ては四年に比べて四百九十萬七千圓を増して三千七十三萬八千圓になつて居ります。

又利用料は三萬五千圓で三千圓を減じてをります。以上を以て過去一年間に於ける産業組合の數字上の報告は終りましたから、之より更に其の間に於ける産業組合運動に現はれたる主要なる問題に就て簡単に述べて、我が産業組合が經濟不況時に際して進みました處の情勢を示すことに致したいと思ひます。

私共は諸君と共に昨年岐阜市で開催したる第二十六回全國産業組合大會に於きまして、産業組合に依る肥料の配給、産業組合による米穀の販賣、産業組合による日用品の配給に對して産業組合及産業組合聯合會が先づ其の主力を集中すべき事を決議し、其の實行方法も決定致したのでありますが、過去一ヶ年間は之等の實行に就て努力を開始して相當の成績を示したのであります。

第一の肥料配給統制に就ては、全國購買組合聯合會は道府縣購買組合聯合會と共に政府の肥料配給改善政策遂行の任に當る事となり、必要なる諸般の施設を完備したのであります。即ち全購聯に於ける役職員の増加、宣傳情報機關の設置、また道府縣購買組合聯合會に於ける専任職員の設定等、凡て

本期間に於て實現せられたのであります。同時に全購聯の自己資金を充實する事を以て、肥料配給の統制を期するがために最も急要なる事と認めて之亦前回の大會に決議したる出資總額を五百萬圓以上となすことも本期間中特に後半期に於て産業組合關係者の總動員的努力により、略々其の實現を見るに至らんとしてゐるのであります。同時に全購聯の肥料取扱高は、本期間に於て急激に増加したのであります。即ち昨年八月一日より本年三月末迄の肥料取扱累計高は數量十六萬餘噸で金額は七百八十萬圓に達し、之を前年度の同期に比べますと數量に於て七萬噸、七割七分の増加であり、金額に於ても一般肥料價格の下落にも拘らず百萬圓、約一割五分の増加を示して居るのであります。斯くの如く全購聯の肥料配給の事業の急激なる進展は、前回の大會の決議の實現に忠實なる全國の産業組合の相互協同的精神の發露による事は勿論であるが、一面には農村の深刻なる經濟不況が、農業生産費の節減を最も急要なる事と認めしめたる結果も與つて大いに力があるのであります。更に其の最も重大なる原因は道府縣の購買組合聯合會が産業組合による肥料配給統制計畫の實行に向つて主力を集中なし、全購聯との連絡協調を密接になしたる事にあるのであります。而して其の結果全購聯は肥料配給に於ける勢力を相當の程度に増大なし得て、資本金企業である肥料製造業及肥料輸入業者より受くる諸般の不利なる環境を打開致しまして相當有利なる配給を全組合になし得たのであります。道府縣の購買組合聯合會の事業は肥料方面に於て何れも進展致しまして、更に新たに府縣購買組合聯合會の

設立されたものは、青森、宮城、富山、三重、大阪、和歌山等の諸縣であります。更に縣内購買組合の肥料取扱高も本期間に於て著しい増加をなして來て居ります。其の最も多きは石川縣の四割三分、富山縣、香川縣の三割であります。最後に全購聯の尼崎工場の建築が完成致しましたこと、本年は門司及北陸地方に肥料工場を設置する事になつてゐることを御報告申し上げます。

第二は米穀販賣の問題に就て申し上げます。米は世界的恐慌、金解禁の影響をうける事比較的少なく他の物價の様に甚しき低落を見なかつたのでありまして、昨年の七月には三十圓の高値にさへなつたのであります。十月二日農林省の第一回米作豫想の發表は、昭和四年に比較しまして、七百三十萬石を増加して、六千六百三十萬石と云ふ未曾有の大増收豫想高を示して居り、且つ植民地に於ても大豊作であつて朝鮮は五百八十萬石の大増收豫想高を示しました結果、市場は忽ち混亂して同日午後には十六圓臺に暴落するに至つた程でありました。爾來米價は引き續き低落の歩調を辿りまして、滿價の暴落と相俟つて農村經濟は非常なる悲況に陥つたのであります。農業倉庫に於きましては之が對策を講ずるの必要に迫られて、縣農業倉庫協會東部西部の兩聯合農業倉庫協會に於ては寄り／＼協議する處であつたのであります。遂に十一月七日には中央會主催の下に第三回全國農業倉庫協議會を開催致しました。此の協議會に於て米價對策が決議されましたが、それは先づ農業倉庫が自力にて實行すべき事項として、農業倉庫收容能力の七割以上の米穀を四月まで保管すること、其の他の販賣米は

平均賣りすること、保管米、平均賣出米に對して金融をつけること等であつて、次に政府に對しての要望事項としては、昭和五年中に三百萬石の買上げをなすこと、保管米、平均賣出米に對しては低利資金を供給すること、産業組合及聯合會の米穀資金貸出に損失補償をなすこと等でありました。而して政府は十二月に二百萬石と本年二月に百萬石の買上げを實行致しました。尙米穀應急對策として粳又は玄米貯藏に對する低利資金の供給がありました。政府の米買上げに際しては全國の農業倉庫、産業組合は東部及西部の兩農業倉庫協會を中心として大いに働いて好成績を収めました。産業組合中央金庫は米價低落に對する應急的措置として急速に低利なる米穀資金の貸出を實行せられ、大なる便宜を與へられたのであります。

前年來設立の必要を叫ばれ、前回の全國産業組合大會に於ても設立すべく決議されました處の全國を區域とする米穀販賣組合聯合會は、米價の低落を機として其の設立の機運が一層促進されました。設立に就ては昨年以來種々の準備的會合が行はれまして、其の結果本年一月十六日に産業組合中央會が開催したる道府縣區域販賣購買組合聯合會協議會に於て愈々其の設立を決議して設立準備委員を選定致しました。設立準備委員は諸般の準備を完成して四月二十七日に設立者總會が開かれ、聯合會の定款、聯合會農業倉庫業務規定を決議致し、役員の選舉を終りまして、目下設立許可申請書を提出するの手續中であります。此の聯合會の名稱は有限責任全國米穀販賣購買組合聯合會でありまして、其の

目的とする事業は、第一に所屬聯合會又は所屬組合の販賣する穀物に加工し又は加工せしめて之を販賣すること、第二に政府米を買入れ之に加工し又は加工せしめて之を所屬聯合會又は所屬組合に賣却すること、第三に農業倉庫業法に依りて聯合農業倉庫業の經營をなすことでありまして、主たる事務所を東京に、従たる事務所を大阪及門司に置き、更に必要に應じて出張所を設ける事になつて居ります。設立者として參加したものは一道三十二府縣に互つて聯合會數三十、此の出資口數三百八十四、組合數十、此の出資口數十五で合計會員數が四十、出資口數三百九十九と云ふ事になつて居ります。外に參加手續中のものに聯合會が一つあります。本聯合會の事業は本年十月より開始する豫定でありませんが、準備が出来次第一日も早く開始する積りでありまして、何れ七月中には臨時總會を開催しまして業務上に關する必要事項を決定する筈でありますから、其の業務開始期日も確定されるのであります。全國米穀販賣購買組合聯合會の設立に就て特に注目すべき事項は、第一に責任出荷の規定を定款に設けた事でありまして、即ち所屬會員は區域内販賣組合及農業倉庫の取扱米の二割以上を本聯合會に出荷するの責任を有するのであつて、若し其の數量に達せざる場合には、不足數量に相當する販賣歩合金額を違約金として徴收せられる事になつて居ります。第二は府縣區域の聯合會を以て構成單位としたことであります。定款には穀物の販賣若は販賣購買事業を行ふ聯合會及組合を所屬會員となすことに規定して居りますが、之は現在の法規では聯合農業倉庫業の經營をなす場合には、七つ以上の

農業倉庫經營の産業組合を構成單位とする必要がありますためと、又現在未だ此の種の事業を行ふ府縣區域の聯合會が設立されてゐない府縣があるためであつて、原則としては府縣區域の聯合會を以て構成するのであります。第三には聯合會の役員は全部所屬會員である處の聯合會の役員中より選出されてゐる事であり、之は全國的聯合機關として最初の事であり、私は此の新設せられたる聯合會の事業開始に依つて、米穀の販賣を産業組合に依つて統制する大事業の實現に出發した事を、諸君と共に慶祝するのであります。然れ共多大の困難と幾多の支障は聯合會の前途に横たはつてゐるのでありますから、諸君の相互協同の勢力に依つて之を打開して順調に進展せられん事を希望致すのであります。

全國的聯合會が設立されると共に府縣販賣組合聯合會の數が増加し其の事業が増大してきました。即ち昭和五年度中に宮城、青森、廣島、山形等の府縣に於て販賣組合聯合會が出来ました。また従來の府縣區域販賣組合聯合會も其の事業が大いに擴張されて來ました。例へば千葉の聯合會、北海道の聯合會は東京に倉庫建設の準備が出来ました。又茨城縣の如きは一時經營困難を感じて居りましたが、昭和五年には刷新せられて來たが如きは其の一例であります。又農業倉庫の販賣米も漸次多くなりまして、秋田縣の如き移出米の五割を取扱ひ、茨城縣は六割三分、千葉縣は三割と云ふ數字を報告して居ります。

第三の産業組合による日用品配給問題は、是亦昨年の全國産業組合大會に於て決議された重要事項の一つであります。本期間に於きましては、全國的に農漁村産業組合の購買事業として、特に經濟用品を取扱ふ事の努力が現はれて參つたのであります。之は經濟不況に對應する方策の一つとして自發的の進出であり、北海道の報告に依れば、農漁村産業組合の半數は店舗を持つて經濟用品を取扱つて居ると云ひ、又岩手縣、山梨縣の如きは學用品を此の際供給するに意を注いで活動してゐると云ふ報告でござい。此の點に關する全國購買組合聯合會の活動亦見るべきものがありまして、昨年八月一日から本年三月末に至る八ヶ月間の雜貨取扱數量は六十七萬二千圓に達し之を前年同期に比べますと、物價下落の時期に拘らず十萬九千圓を増加して居ります。更に都市に於ける消費組合運動の進展は最近著しく行はれて居るのであります。昭和五年中に設立されました處の消費組合は東京に三、千葉、岩手、群馬に各二、秋田、廣島、愛知、鳥取、京都に各一つで都合十四組合でありまして、また其の外に設立手續の終つてゐないものは相當あります。之は經濟界不況の深刻化と共に労働者、俸給生活者階級の消費組合運動に對する期待は大なるものがあるのであります。歐洲大戰直後の組合設立機運以上の熱烈さを以て全國的に行はれてゐるやうであります。又既設組合の間に於ても聯合的機運が見え、例へば東京市内の十數の消費組合が聯合して精米所を作ると云ふ計畫もあ

りますが、かかる機運に鑑みまして産業組合中央會は始めて消費組合經營者の、即ち市街地購買組合の

會合を開いたのであります。即ち昨年九月六大都市の主要消費組合の經營者懇談會を開き、更に本年二月に第一回全國消費組合聯合會協議會を開きました。其の結果と致しまして全國消費組合協會の設立が決議されました。而して五月八日創立總會を開くことになったのであります。今後益々消費組合の發展は十分に期待されるのであります。此の事は從來發展して居ります處の農漁村の生産者産業組合のためにも喜ぶべき現象でありますと共に、消費組合運動が經濟運動として進むべき正しき道を辿りて、急がずあせらず徐ろに其の經濟的基礎を鞏固ならしめることを望むのであります。

以上は昨年の大會に於きまして決議したる三つの重要事項に就ての本期中に於ける進展の報告であります。

次に申上げたい事は信用組合の不況対策であります。農村及都市に於ける中小産業者の經濟的困難は、信用組合に於て其の事實が現はれたのであります。本期間に於ては先程申上げました通り、産業組合創立以來の始めての現象であります。處の貯金の減少と云ふ事が見られたのであります。そしてそれに代るに貸付金の増加が見られるに至つたのであります。從來貯金を集めるには一流縣とされてゐた處の長野、山口、兵庫、滋賀、愛知を初めとして、埼玉、福井、岐阜、和歌山、廣島、徳島等に於きまして貯金の減少をみたのであります。長野縣の如きは五百萬圓、愛知縣は三百五十萬圓、岐阜は三百萬圓の減少を五年末に示して居ります。又、石川、奈良、鳥取、長崎等は相當に増加は致し

ましたが、其の増加率に於ては著しい減少を見てゐるのであります。而して貸付金に就きましては、元金は勿論利子の支拂にさへ差支へ、從來の貸出は固定して來た上に更に組合としては組合員の深刻な窮境を救済するために、出來得る限り貸付を行はねばならぬ事となつたので貸付が増加したのであります。更に信用組合に就て考ふべき事は、産業組合中信用組合に最も關係の深い地方銀行の問題であります。不況の深刻化と共に地方銀行の休業するものが相次いで出て参りまして、信用組合に對して大なる影響を與へたのであります。昭和五年九月以來の産業組合に關係ある休業銀行問題を調査致しますと、關係府縣は十二でありまして、支拂停止銀行數二十、關係組合の數は三百十八、而して此の關係組合の銀行預金額は六百十三萬二千圓であります。その他尙此の他に三四の府縣はある見込みでありまして、今後に於ても必ずしも樂觀なし難き情勢にあるのでありますから、信用組合は此の點に就て細心の注意を拂ふの必要があるのであります。

又刻下の經濟不況の状態に鑑みまして、産業組合を通じて緩和の途をつけて、中小産業者をして此の不況を切りぬけしめる方策は産業組合に於て講究せられ、又諸君に於ても實行されつつあるのであります。昨年九月東京に於て開催されました第二十五回支會役員及主事協議會に於ては、産業組合を中心としての不況対策を協議されました。更にそれは地方に於て支會、聯合會、組合が各々實際的方策を考究し實行されてゐるのであります。又昨年十一月京都市に於て開催された第八回の全國市街地

信用組合協議會に於ては、政府供給の中小工業者に對する資金融通に關して其の改善策を考究し之が實現を期して、都市商工業者の金融改善に資するものがあつたのであります。

産業組合中央金庫に於ては政府供給資金たる中商工業者資金、養蠶應急資金、米穀應急對策資金の供給にとめたる外、普通資金として米穀資金の利下げ及貸付範圍の擴張やら肥料資金の利下げを行ひました。又九州西南部の風水害、豆相の震災地方等に對する應急資金を貸出されました。勿論此の場合には府縣信用組合聯合會或は町村信用組合がそれによつて活躍した事は勿論であります。

更に現下の經濟不況に鑑み、其の對策の一つとして又將來に於ても信用組合が主力を注ぐべき事業として重要視さるゝに至つた問題は、組合員の負債整理であります。四十億圓或は五十億圓と稱せられる處の農家の負債を中心として、全組合員の負債整理と云ふ問題は深刻化して經濟界不況のために一層固定化しつゝある信用組合の貸付金から見ても、又汎く組合員の生活の窮乏化から見ても、信用組合としては解決せざるべからざる問題として與へられたのであります。此の點に鑑みまして産業組合中央金庫に於ても此の方面に對する資金を供給してゐるのであります。又地方に於きましても、種々の計畫を樹てゝゐるのであります。滋賀縣信用組合聯合會は舊債借替として百萬圓、家政整理資金として百萬圓を貸出す計畫を樹て、又資金の餘裕ある組合は何れの縣に於ても舊債整理に對しては特別の施設をなしてゐるのが相當あるのであります。而して此の際産業組合中央金庫の長期貸付に關

する法律改正の問題が、本年議會に於て一時到底通過は至難と見られてゐたにも拘らず、奇蹟的に通過したと云ふ事は差し迫つた農家負債整理の問題に利するところ甚大であると存じます。今回の大會に中央會が組合員の負債整理に關する提案を致しましたのも、刻下の情勢より見て全産業組合の活動を要する重要問題と認められたからであります。之は審議委員會に於て慎重に御審議あらん事を特に希望するのであります。

次に蠶絲業に對する産業組合の活動に就て申上げて置きます。農村經濟を根柢から覆したものは、生絲價格の低落による繭價の暴落であります。昨年の繭相場は前年に比して春蠶は平均五割、夏秋蠶は平均七割の安値を示したのであつて、之が爲めに蠶糸王國と誇りたる長野縣の如きは、農村の状態を最も悪化せしめたのであります。

産業組合製糸は蠶糸業不況の打開策の重要なものゝ一つとして考へられ、各地方に於て之が設立に努力せられました。其の主要なる地方は千葉、岐阜、長野、奈良、岡山、徳島、愛媛等であります。而して新たに産業組合製糸を設立したる處は長野、兵庫、奈良、岡山等であります。また岩手縣及長野縣に組合製糸の聯合會が新たに設立されたのも、其の進展の一つと認められるのであります。又大日本生糸販賣組合聯合會の事業も漸次進展しまして其の取扱高を見ますと、昭和四年の四月から五年三月迄の取扱數量は二萬二千二百二十一捆でありましたが、昭和五年四月から昭和六年三月迄の取

扱數量は三萬七百三十七組になつて居りまして、三割八分の増加を示し、甚だ喜ぶべき事でありまして。

蠶糸業組合法の制定は諸君と共に大いに慶祝すべき事でありまして。今迄産業組合製糸なる名稱は營業製糸に對する俗稱でありましたが、蠶糸業組合法に於て初めて正式に産業組合製糸業なる名稱が認められ、道府縣を區域とする産業組合製糸組合、全國を區域とする産業組合製糸組合聯合會なるものが組織せられる事になつたのでありまして、こゝに初めて産業組合製糸が正式に營業製糸と對立し得るに至つたのであります。此の法律の施行に關する勅令省令等は近いうちに發布せられることであるから、其の上にて全國組合製糸協會が中心となつて、府縣の産業組合製糸組合、全國的の産業組合製糸組合聯合會設立の手續を取るやうに致したいと存じます。

次に本期間に於きましての産業組合教育の情勢に就て一言申し上げます。産業組合教育の必要は今や一般に認められて、産業組合の全機關が之が進展と發展に努力してゐるのであります。特に注目すべき事項は第一に産業組合青年聯盟の擴大であります。本期間に新たに産業組合青年聯盟を作つた縣は、青森、岩手、石川、滋賀、山口等であります。又郡町村單位の聯盟を組織したものには北海道、福島、東京、富山、沖縄等の縣があります。從來の青年聯盟も支部組織を擴張して著しく盟友を増加してゐるのであります。此の關係府縣は二十數縣に互つて居ります。第二は教育委員會の普及活動でありまして、埼玉縣の如きは三百六十名の教育委員が全縣に選任されて活動して居ります。また千

葉縣の如きは百二十組合が教育委員會を設置してゐるし、その他福岡、京都、奈良等に於ても教育委員會の活動に向つて大なる努力を拂つて居ります。第三は産業組合學校に就て、ありまして、産業組合學校としては、從來産業組合中央會のものゝみであつたが、本期間に於きましては福岡縣及長野縣に二つの一ヶ年程度のもので設立されました。産業組合教育をうけたる新人を組合界に送り出しつゝある事は、注目すべき現象であります。第四には家の光の發展でありまして、家の光は本期間に於きまして、發行部數を倍加して十萬部を超えたのであります。尙三月發行しました臨時増刊「産業組合の力」は百七十萬部を發行いたしましたのであります。

以上の事實は産業組合教育進展の一端を語るにすぎませんが、我が産業組合が教育方面に大なる努力を拂ふに至りたる事は諸君と共に大に慶祝すべきことであります。

最後に産業組合の國際的情勢に就て一言致します。世界恐慌の現時に於きまして各國共に我國と同様の、又それ以上の窮乏が現はれてゐるのであります。従つて各國共に産業組合運動は進展致しまして、組合員數、事業分量に於て増加をして居ります。而して産業組合運動の國際聯合——産業組合の世界的聯合である處の國際産業組合聯盟も益々發達致しまして、現在に於て之に参加する國は四十一ヶ國、組合數二十三萬、組合員數七千萬人を算するに至つたのであります。一九三〇年度に於きましてはカナダの小麥生産組合が加入し、其の他農業關係の組合がだん／＼と増加して、益々生産的要素

を増加するに至つたのであります。我が中央會と聯盟との聯絡は益々密接の關係を持續し、同聯盟主催の下に昨年八月オーストリアのウィーン市に於て開催されました第十三回國際産業組合大會には本會を代表して囑託中尾桂一郎氏が出席いたしました。其の際附議せられました處の主要なる問題は、「國際自由取引の障害」「トラストとカルテル」「國際産業組合銀行」「ロッチデール原則と掛賣」「消費組合運動との關係に於ける組合生産物の市場販賣共同計算及金融」等でありました。又各國の産業組合團體との連絡は一層緊密の度を加へまして、本年は百數十通の通信を交換致して居ります。又諸君が展覽會を御覽になつたのでありませうが、あのポスター圖書等は各國から參考資料として送られたものであります。

以上私は昨年開催の第二十六回全國産業組合大會より今日に至りますまでの、我が産業組合情勢の概要に就て御報告いたしましたのであります。諸君、現時の社會情勢より見て産業組合運動の進展を圖る事は、大衆の經濟生活を安定せしむるために極めて重要な事でありませう。過去一ヶ年間の不況に堪へ得たる我が産業組合は、今後相當の期間永續するものと覺悟せざるべからざる經濟不況に對し、更に惡戰苦闘を辭することなくして、難局打開の重責を盡すべき事、之を諸君に御願ひするのであります。同時に私共も諸君と共に大に努力したいと存じます。之を以て私の産業組合に關する情勢報告を終ります。(拍手)

— 昭和六年四月高松市に於て —

五、昭和六年度に於ける産業組合情勢

諸君、私は昨年四月高松に於て開催せられたる第二十七回全國産業組合大會以來、今日に至るまで一ヶ年間の我が産業組合情勢に付て御報告致します。

一、一般情勢

過去一ヶ年に於ける世界の經濟情勢は經濟不況の深刻化の一過程でありまして、我國も亦不況の最高度に達したのであります。従つて産業組合員の經濟的困難は、實に著しきものがあつたのであります。此處に於て組合員は自らの經濟機關たる産業組合に依つて、此の苦難時を切り抜けざるべからざるの決意をなすに至り、組合を利用するの程度は濃厚となり、又組合員自身が組合の改善に向つて起つに至つた處もあります。同時に組合に加入するものは増加し、又新しく組合を設立せんとする傾向が生じたことは喜ばしいのであります。これ等の結果として組合員數は昭和六年末に於て四百八十三萬五千人となり、前年末に比較すれば、十八萬七千人の増加である。組合數に於ては昭和六年末に於て一萬四千六百六十三であつて、大正十四年以來減少の傾向にあつた組合數が昭和五年末に三十五、昭和六年末に八十一の増加を示しました。而して此の組合數の増加の方向が甚だ喜ぶべき傾向を示してを、僅少ではあるが信用事業單營組合は減少を示し、購買、販賣、利用の事業を經營する組合

は増加著しく、年内に、購買事業を行ふ組合は四百四十五組合、販賣事業を行ふ組合は四百八十八組合、利用事業を行ふ組合は四百四十六組合の増加を示したのであります。之を總括すると四種事業兼營組合が年内に一千三百七十八組合を増加したのであります。此の事は農村産業組合の活動部門が著しく擴大し來つたことを物語るのであつて、現時の如き社會情勢に於ては産業組合が全面的に活動しなければならなくなつて來たことの一端を物語るものであります。又個々の組合の全面的活動と共に産業組合による全國的經濟統制問題も幾分かは進捗し、道府縣聯合會を中心とする地方組合の活動が増進して來たことは、聯合會數が年内に十八も減少したことによりて窺知することが出来るのであります。即ち府縣以下の區域に設立された地方聯合會が大正九年の恐慌以來失敗を重ね、其儘整理されず地方の痛として存在してゐたものが、不況の深刻化に依り整理が寧ろ進捗して解散するに至り、新銳の府縣區域聯合會を以て地方的統制をなし、これと全國的聯合機關との提携の下に全國の産業組合員が共存同榮の旗の下に、協力一致全經濟の一絲亂れざる統制をなし得る可能性を見出すに至つたのであります。

かゝる進行は昭和四年、昭和五年の全國産業組合大會に於て決議された事項が實現の緒に就いたのであつて、全國大會の決議が單なる決議に止らず、其の實現性を表はし來りたることは諸君と共に喜びに堪へないことであります。

過去一ケ年は組合員に取つても、理事者にとつても、一通りの苦しみと悩みを以て過して來たのではないことは、今更繰返すの要もないことであります。之に加ふるに北海道、東北に於ては甚しき凶作に襲はれ、同地方の組合員の生活に著しき慘害を與へたのであります。従つてこれに對する全國組合員の同情の念が集り、産業組合中央會主唱にかゝる同情金募集に對し一萬圓に近き贖金を得て、凶作地方の組合員に送られたのであります。一組合員一錢を標準に集めた同情金が、かゝる金額に達したことは實に共存同榮の精神の發露であつて、かゝる全國的連帶の精神が産業組合の凡ゆる方面に表現されさへすれば、我が産業組合運動の全國的進展は決して至難ではなからうと存じます。

次に産業組合各方面の情勢に付て概要を述べることに致しますが、先づ本期に於て顯著なる成績を示したる販賣事業に付て報告します。

二、販賣事業

昭和六年末に於ける販賣高は一億七千六百六萬圓であつて、之れを昭和五年末に比較すれば百二十六萬圓の増加を示してゐることは、我が産業組合運動が販賣方面に向つて如何に進出したかを實證するのであります。

販賣組合員の大多數を占むる農業者の主要生産物たる米藁の方面の進展は勿論、不況の深刻化に伴ひ、園藝、畜産、林産等の生産物の取扱の進展も相當著しきことは、昭和六年の産業組合運動の誇る

べき收穫であります。

(一)米穀、米穀に付て見れば全國米穀販賣購買組合聯合會は、昭和六年九月事業開始を致しました。東京に本所を置き、大阪及門司に支所と他に四ヶ所の販賣所を設け、全国的に活動を開始しました。設立早々にも拘らず、政府買上米の統制に好成绩を挙げ、其他の販賣にも相當に活動するところがありました。地方も之に従つて動き、府縣の販聯を中心に米穀販賣の全国的統制へ一步をふみ出しました。産業組合の移出米取扱は山口縣八割、福岡六割、石川三割等の如き成績を示し、佐賀縣は年内に農業倉庫二十四棟の増加を示し、米穀の販賣統制は今後一段の進展をなし得る確信を得るに至りました。

(二)繭及生絲、繭絲價の暴落は農民の一般的の打撃であると共に、養蠶の收入に重きを置く地方には致命的なものであります。長野縣、群馬縣其他の困難は想像に餘りがあり、従つて繭絲の販賣組織改善の努力は著しく、殊に産業組合製絲への努力は養蠶地方の中心問題となつてゐる。岩手の聯合會、群馬の各社共競うて最新式の工場を新設して居り、岐阜、鳥取等に組合が新設されました。大日本生絲販賣組合聯合會の取扱高は、前年の三萬梱に比較して五割に近き増加の四萬二千梱に達しました。又本邦蠶絲業界革新の爲に昭和六年蠶絲業組合法が發布され、これに基き、岩手、福島、群馬、埼玉、長野、神奈川、岐阜、愛知、鳥根、鳥取、高知、愛媛、京都の十三の府縣産業組合製絲組合が設立さ

れ、之を基礎にして昭和七年二月全國産業組合製絲組合聯合會が設立され、此處に全国的に組合製絲を統括する團體が成立して、農民の利益を伸張するを得るに至つたことは慶祝に堪へないこととであります。

其の他の農村生産品に付ても之が販賣組織の改善に對する努力がなされて來たが、最も著しいのは畜産品であつて、鶏卵販賣の先進地たる愛知縣、千葉縣の努力は勿論、繭生産の偏重に悩む長野縣が一生涯を開く爲に鶏卵の販賣統制に努力し始め、廣島縣も此の傾向にあります。又酪農方面としては牛乳販賣組合が、滋賀、香川、茨城の方面に新設され、愛知縣には牛乳販賣組合聯合會が新設されました。北海道の製酪販賣組合聯合會は最近起つた營利會社との問題を解決し、其の協約に依り牛乳の販賣を産業組合の系統に統一し、製酪販賣に一層進展するを得るに至りました。畜産物以外に就ても、北海道販聯は薄荷の統制に進み、全道の二割(全國の一割二分)の統制を實現し、岩手縣の販賣組合は縣内木炭の三割を販賣し、青森縣の販聯は馬鈴薯の統制を計畫し、千葉縣販聯は農村工藝品一切の販賣を計畫し、三重縣には大區域の農産物加工組合が生れ、其他の府縣にても各自米繭以外の方面に活動せんとしてゐるのであります。

三、購買事業

昭和六年末に於ける購買高は一億四百十萬圓であつて、之を昭和五年末に比較すれば二千六百五十

二萬圓即ち二割餘の減少であります。之れは物價の値下りに依る處多く、而も不況に依り組合員の購買高著しく減退せる時に、此の程度に止め得たるは好成績と云ふべきであります。前述の如く購買組合数の増加、地方聯合會の整備は、來る年の購買事業の發展を約束するものと云はなければなりません。農村購買組合の主要取扱品たる肥料に就ては、全國購買組合聯合會を中心にして肥料配給統制計畫が進められ、十年計畫が立てられ、未だ二年目の進行中であるが、遙かに其の計畫を凌いでゐる。取扱金額は甚しき價格低落があるに拘らず、五年十二月末には、八百二十八萬圓であつたのが、六年十二月末に於ては千二百萬圓で三百七十四萬圓の増加を示してゐます。更に昭和六年八月より七年三月末の肥料取扱高は二十二萬九千圓で前年同期に比すれば十二萬一千噸を増し金額に於ても五百七十七萬圓を増加してゐます。本年七月末迄には豫定計畫の四十萬噸に達する豫定であります。農村に於ける肥料資金の缺乏と米及藁の價格が金再禁止により期待したる騰貴見込みのなきため、計畫遂行に多少の困難を感じてゐます。全購聯は昭和六年中には尼ヶ崎、門司、伏木の工場を完成し、新潟、伏木に出張所を設け、大連に駐在員を置いてゐる如き發展振りであります。地方の産業組合に依る肥料統制も著しく、秋田は縣内金肥の八割を組合にて取扱ひ、其他岩手五割四分、山口五割、福島四割の如き數字を示すに至りました。學用品の方面では學用品の進出著しく、産業組合教育と相俟つて學用品購買組合が盛んに各地小學校につくられ、全購聯の學用品の使用が頗る増加した模様であります。

す。尙、石鹼、地下足袋は益々其の供給量が増加し最近頗る増加したるゴム靴は自己生産に進まんとして居ります。都市の労働者、俸給生活者は不況に依り、減俸、賃下、失業等に脅かされ、消費組合運動の發展も著しくなりつゝあり、大都市のみならず、地方の都市にも組合の設立が見られ、登記せぬ組合の如きは多數に上つてゐます。消費組合の運動の間には新に全國消費組合協會が昭和六年五月設立されて活動し始めました。未だ組織當初で活動も十分ではありませんが、將來相當消費組合運動の進展の爲めに寄與する處が多くなるであらうと思ひます。

四、利用事業

農村方面に於て農業經營方面の改善の爲に活動を増して來たことは勿論であります。最近の傾向として特に報告すべきことは、醫療利用の組合の發達であつて、青森、秋田、島根に大區域の産業組合病院が新設され、東京市にも新設計畫中であります。かゝる組合は設立當初一部の有力な方面から猛烈な反對があつたのでありますが、それを押し切つて設立されつゝあり、この不況時に醫療費の重荷に苦しむ中産以下の大衆の經濟緩和の爲めに有力なる働きをなすものであります。

五、信用事業

昭和六年秋より昭和七年始にかけて地方金融界の不安は相當激しく、其の關係地方もかなり廣く、餘裕金を組合系統以外の金融機關に預入したる産業組合及聯合會は甚しき打撃を蒙り、其の府縣は十

數府縣に上つてゐます。これが爲一小部分の組合、殊に市街地に於ける信用組合に於て多少の動搖は免れなかつたが、信用組合聯合會、産業組合中央金庫の活動宜しきを得てよくそれを支へ、信用組合をして、以前にも増して信頼を得せしめてゐます。

昭和六年末に於ける貯金額は十億六千三百三十四萬圓、貸出金額は十億一千五百三十七萬圓であります。これを前年に比較すると貯金は二千九十二萬圓を減じ、貸出は二千六百五十九萬圓を増加してゐます。

貯金	五年比較	四年比較
減	〇・二九	減 〇・三九
貸出金	増 〇・一七	増 一・〇七

貯金の減少、貸出金の増加は不況の結果でありまして、組合理事者の苦心が容易ならざるものゝあることがわかります。而も増加して行く貸出金は償還が困難なばかりでなく、利子の収入さへ困難な状態にあり、信用組合行詰りの聲さへ傳へられる情勢にあります。乍併これは組合員の生活の苦境より來るのであつて、實に止むを得ないわけであるから、經濟界の情勢、並に組合の現状に就て、組合員の深き理解と其の熱誠なる支持の下に、同時に農村に於ては兼營する若くは新に兼營する販購事業の積極的進出によつて難境を打開する様努力せねばならぬのであります。殊に地方金融界の動搖の結

果、地方に基礎を置く金融機關としては信用組合のみ存立する府縣も見らるゝに至つたから、今後の信用組合の責任は重且大であり、信用組合の活動は今後にあるとも云ひ得るのである。

要するに組合は如何にせば組合員を生かすべきか、組合、聯合會は如何にせば組合資金を供給して之を活動せしむべきか、又産業組合中央金庫は如何にせば信用組合聯合會を活動せしめて全産業組合に資金を供給することを得べきや、を積極的に攻究實行せなければならぬのであります。

尙今年の全國産業組合大會に於て決議された組合員の負債整理問題は現時の情勢より見て全國一樣に之を實行することは至難であるが、地方的に信用組合に依つて考究され、夫々地方に適應した方法に依つて實行されつゝあるのであります。

産業組合中央金庫の事業は各方面にわたり著しく進展して、預り金は六年末七千七百十七萬圓で前年末に比して四百九十四萬圓増であり、貸付金は九千六百二十九萬圓で前年末に比し千五百四十八萬圓増となつてゐます。

六、教育事業

産業組合教育事業に付て過去一ケ年に於ける顯著なる進歩は産業組合青年聯盟の結成であつて、新しく北海道、島根、栃木、奈良、宮城、各縣に縣區域のものが組織されて來ました。かくして府縣又は郡村の青年聯盟を有する府縣は三十に垂んとするに至り、各地とも盟友の増加、事業の進展をなし

ました。之に依り産業組合人としての修養を全うすることが出来、産業組合運動擴充の基石を据ゑつゝあるのであります。

産業組合中央會の發行する家の光は年内に倍加運動を起し、遂に月二十萬部發行の目的を達成し得たのであります。又一年制の産業組合學校は今迄は東京に於ける中央會附屬、福岡支會附屬のもの及長野縣の下高井農學校の産業組合科であつて、昭和七年四月より更に京都府農林學校に新に産業組合科が設けられ、又奈良縣添上農學校には六ヶ月の産業組合科が設けられました。將來縣立農學校に此の種の産業組合科を設けることは實際に於て行はれ易き方法であり、又地方産業組合進展の爲め最も有效なることでもありますから諸君の御考慮を望むのであります。

七、國際産業組合關係

産業組合の國際關係は益々密接の度を加へ、極東に於ける我が産業組合運動も常に世界の産業組合運動と聯繫を保つて、世界の平和と人類の幸福の爲めに幾分なりとも貢献なすべく努力してゐるのであります。現時我國の産業組合中央會と連絡を有する國は三十三ヶ國に達してをります。

八、結 言

諸君、今や都市と農村とを問はず、連続したる經濟不況に疲弊困憊して、一日も早く經濟好轉の來らんことを首を長くして待つてゐるのであります。金再禁止による經濟好轉は期待を裏切られたる感

を持つたものもありますが、之は急速に効果を期待した方が無理であつて、今後の政府の施設に待たなければなりません。然しながら内には滿洲問題と云ひ、上海問題と云ひ、その他重大なる世界的諸問題が山積してをるのでありますから、豫期されたる經濟好轉必ずしも豫期されたる結果を見ざるの已むを得ざるに至るやも測られないのであります。

此の時に際して我が産業組合運動は獨自の立場に於て現在及將來に善處するの途を開拓せなければなりません。而してそれは諸君と共に今や其の一步を確實にふみ出したる産業組合による自主的經濟統制を完成するより他に方策はないと信するのであります。故に昭和七年に於ても我々は惡戰苦闘を重ね、此の自主的經濟統制に於て、更に新しき領域を擴大することを強く決心せなければならぬのであります。

—昭和七年四月大阪市に於て—

六、昭和七年度に於ける産業組合情勢

諸君、私は本大會に參集せられました所の多數の同志諸君に向つて過去一ヶ年間の我が産業組合運動の情勢を御報告いたすことを得るのを甚だ光榮と存する次第で有ります。昨年四月大阪に開催いたしました第二十八回全國産業組合大會以來、今日に至る迄の一ヶ年間は我國が未だ曾て遭遇したることなき程の重大時期であります。非常時若くは超非常時と呼ばれる程に我國にとつては多くの異常の

事件に充され、内外共に多事多難、國民の最大多数は非常なる困難に當面すると共に又極めて深刻なる不景氣に曝されたのであります。而して尙ほ未だ當面し又曝されつゝあるのであります。而して此一ヶ年に於ける我が産業組合運動も亦多大なる困難に陥りながらも異常なる緊張を以て反發的活動を繼續し、全面的に見て相當の程度に於て進展の道程を辿りましたことは諸君と共に御同慶に堪へざる所であります。

諸君、私が第一に御報告申すべき事項は、「産業組合数の増加と組合事業の動向」であります。大正十四年の一萬四千五百有餘の組合数を頂點と致しまして、我國の産業組合数は漸次減少したのであります。其の減少いたしました所の組合数は昭和五年末には前年の末に比しまして三十五を増加いたしましたして一萬四千八十二となりました。又昭和六年末には前年に較べまして八十一を増加いたしましたして一萬四千六十三となりました。然るに七年末にはこれを前年末に較べますと云ふと増加いたしました所の数は實に百八十九を算しまして、一萬四千三百五十二に激増いたしましたことは極めて喜ばしきことであります。之を事業別に付て見ます時は販賣事業に於て四百五十二、購買事業に於て三百五、利用事業に於て三百六十一、農業倉庫事業に於て百七十四の数を増加いたしましたして居ります。而して四種兼營産業組合の数が七年末は六年末に較べまして三百四十六を増加いたしました。是等の事は農村の産業組合として當然進まざるを得ない方向に進みつゝあることを示すものでありまして、最

も喜ばしき所の動向であるのであります。尙ほ組合と聯合會との關係は益々密接の度を加へまして、殊に全國的聯合機關は何れも事業を増進を見たことは、是亦非常に喜ばしき動向であると申し上げざるを得ないのであります。

昭和七年中に於きまして、産業組合は販賣事業の方面に於きまして特に新方面に進出したのであります。固より未だ其の事業が創始時代に屬しまして、其の前途必ずしも樂觀を許さざるものが少くないのでありますけれども、從來より行はれて居ります米、麥、藁、以外の農村生産物に對して、組合が其の販賣統制に乗出しましたことは、將來に於きまして産業組合に依る農村生産物販賣組織の確立を約束するものであると見ることが出来るのであります。二三の事例を御報告申し上げますと云ふと、北海道の聯合會に於きまして薄荷や除虫菊の販賣の統制が著しく進展いたしましたことや、長野縣の聯合會に於きまして寒天や薬用人蔘などの販賣統制に進出いたしましたこと、千葉縣の聯合會は軍部と連絡を致しまして軍隊への農業生産物の組織的の供給に付きまして實行を進めましたこと、静岡縣の聯合會が鶏卵の販賣統制を擴大いたしましたことなど、その他兵庫縣に於きまして牛乳販賣組合の数が増加いたしましたして全縣下に普及いたしましたこと、鳥取縣の聯合會に於て木炭の販賣の統制、山口縣の聯合會が木炭及夏蜜柑に對する進出と云ふやうなことが其の事例の二三であります。又利用事業であります所の産業組合病院、此の産業組合病院の増加も亦七年度中に於きまします産業組合の新

方面への進出であります。産業組合の醫療事業に付きましては既に醫者の住んで居りませぬ農村方面に於きまして所々に行はれて居つたのでありますが、數年前から高知縣、鳥取縣、青森縣等に病院の利用組合が出来まして相當の成績を収めたのであります。之に倣ふものが段々出来まして、今や青森縣に四つ、秋田縣に三つ、東京府に二つ、高知縣に二つ、鳥根縣に二つ、鳥取縣に一つ、其の他にも設立せらるゝことになりまして醫療の不便な土地ばかりでなく大小の都市の中小産者が病院組合を設立するに至つたのであります。斯る病院組合の發展は地方醫師會の反對を受けつゝ進みつゝあるのでありまして漸次全國的傾向となるに及んだのであります。醫師法の改正運動の結果現はれて参りました、病院組合の設立に對しまして或る制限を爲し得るやうに改められましたことは、産業組合の側としては頗る遺憾とする所であります。而して將來に於きましては其の取扱を是正せしむると同時に、此の病院組合の設立に關しては事業の經營上、醫療の技術上、其他諸般の點に於きまして深く慎重なる考究を爲し、確固たる計畫の下に進行せんければならぬものであります。輕々に是が設立を爲すが如きことのないやうに注意せんなければならぬと思ひます。來る二十八日に本會場に於きまして全國の醫療設備利用組合協議會を初めて開きまして、今後の醫療組合進展のことに付て色々協議することになつて居りますから是も此の際諸君に御報告申上げて置きます。

第二に御報告申上げるべきことは、過去一ヶ年に起りました所の我が産業組合運動に於ける重要な

出來事でありませんが、七年度中の重要事項と致しましては、第一に産業組合擴充五ヶ年計畫の樹立、第二は農山漁村經濟更生計畫の實行、第三には産業組合法の改正、第四は反産業組合運動の勃興、第五には産業組合青年運動の組織化と云ふやうなことをあげることが出来るのであります。

産業組合擴充五ヶ年計畫の樹立に付きましては、會頭開會の辭に詳細に述べて居られるのでありますから、私は之に付て再び述べることは致しませぬが、只一言いたしたいことは、組合の内容の整理刷新に付てあります。都市と農村とを問はず、經濟窮迫の結果と致しまして、産業組合も亦其の内容の悪化經營の困難を來したるもの決して少くないと云ふことは誠に已むを得ざることであり、然れども産業組合擴充五ヶ年計畫の遂行より見ます時は、既設組合の整理刷新と云ふことは是は一日も忽せにすべからざる所のことでありまして、而も是は組合の新設、組合員數の増加、四種事業の積極的經營と云ふやうなことに較べましても、更に二層困難なる事業であるのであります。故に組合の理事者諸君は斷乎たる決心と緊張したる誠意とを以て販賣購買事業の經營を勵行なし、之に依りて消極的にも積極的にも組合員の利益を増進いたしまして、其の經濟の窮迫を緩和改善すると共に、組合の内容を漸次整理刷新すると云ふより外には執るべき方策はないのであらうと思ひます。どうか諸君は組合の内容の整理刷新問題に付て、重大なる考察を御拂ひ下さいまして、是が實行に向つて邁進せられんことを希望いたす次第であります。

農山漁村經濟更生計畫の實行に對する産業組合の任務、産業組合法の改正に付て是亦會頭開會の辭に於て述べられて居りますからして略します。

反産業組合運動の勃興に付て申上ますれば、産業組合運動が資本主義制度の缺陷を是正するが爲に行はれたものである以上、又現在に於きましては資本主義經濟機構より離脱して新たな産業組合主義の經濟機構を構成せんとしてゐる以上は、是と利害の反するものより反對を受けるのは蓋し當然過ぎる程當然のことであります。想ふに産業組合に對する反對は既に、産業組合創始以來連續的に行はれたものであるであります。高利貸、肥料商、米穀商、雜貨商、文具商、運送業者、醫師、理髮業者、その他色々な側からの無理解なる所の反對は、組合が設立さるる毎に、又組合が新なる分野を開く毎に行はれて居つたのであります。併しながら中小産者の生活向上の爲にする正しき産業組合の發展は時代の要求する所でありまして、一部の無理解なる認識不足の反對に依り阻害せらるべき性質のものではないのであります。其の結果として今日の産業組合の全國的發展が爲され、更に産業組合擴充五ヶ年計畫が樹立せられ、政府に於ても農村經濟更生計畫に産業組合を重要視するに至つたのであります。斯の如き産業組合の進展に連れまして地方的には種々なる反對運動が行はれて居たのであります。それが昭和七年度に入りまして此の運動が全國的の運動となつて現はれたのであります。私共はそれに對して反産業組合運動と云ふ名前を與へたのであります。反産業組合運動は只今の

所では、第一に肥料商に依りて組織せられて居るのであります。全國肥料團體聯合會を中心とする購買組合、殊に主として全購聯に對する反對運動、第二は一般中小商工業者の購買組合に對する反對運動、第三は米穀商側の全販聯に對する所の反對運動、第四は神戸の護謨工組合が全購聯の神戸のゴム靴工場の設立に對して行ふ反對運動、かやうに區別することが出来るのであります。今現はれました所の事實の重要なものに付て申述べて見ますと云ふと、昭和七年の八月に全國の小賣業者大會が開かれ、其の決議に依りまして、政府に對して購買組合、消費組合の嚴重なる取締を要望したのであります。同じく十一月に日本商工會議所の第五回の總會は購買組合の特典廢止並に取締勵行に關する決議案を決議致しまして、購買組合聯合會に對する保護助成の撤廢と其の違法行爲に對する取締を要望されたのであります。而して是は諸君に一應きいて置いて戴いた方が宜いと存じますが、其要望の理由と致しましては、第一は中小商工業の疲弊困憊は百貨店の進展と税制上恩典厚き購買組合、就中全購聯の發達に依るものであると云ふのが第一の理由であります。第二には購買組合中には組合員外より原料を仕入れ、組合員外に製品を賣却する組合がある。又購買組合として工業經營の脱稅形態たらしめ、中には投機的空相場をなし、不用残品の處分と無謀の投資を爲して中小商工業者を壓迫すると云ふのが第二の理由であります。第三の理由は購買組合は政府の過大なる保護の下に廉賣主義に依つて市價を攪亂して不正競争をする。殊に全購聯は各種の保護助成の特典の外、工場設備に要する經

費並に役職員の設置に要する経費の半額に達する補助金の交付を受けて居るが、是は不當であるから宜しくさう云ふものは止めて、自然の發達に委せんければならぬと云ふのが第三の理由であります。それからして七年の十一月に東京商工會議所は「購買組合の受くる寵遇と商工業者の蒙る壓迫」と云ふパンフレットを刊行いたしました。尙其年の十二月には、全國肥料關係十八團體よりなる大日本肥料團體聯合會は東京に理事會を開催いたしました。更に八年の二月には聯合會の總會を開きまして、全購聯の特典廢止に關して政府に陳情し議會に運動する事を決議し、尙は運動資金を全國關係者より募集することになつたのであります。昭和七年の十一月と八年の二月には神戸商工會議所及神戸護謄工業組合は全購聯の護謄に對して反對決議をし政府に陳情いたしましたのであります。斯の如く現在に於ける反産業組合の重點は肥料商を中心とする全購聯に對するものであると云うて宜しいのであります。而して是等反産業組合運動に對しては、産業組合中央會と致しては常に默殺の態度を執り來つたものであります。東京商工會議所の刊行したるパンフレットに對しましては、産業組合中央會は「購買組合に對する反對意見を評す」と云ふパンフレットを刊行いたしました。各方面に配布して、其の蒙を啓いてやつたのであります。諸君、彼等肥料商を中心とする反産業組合運動は果して第六十四議會に對しまして相當なる猛運動を開始したのであります。我が帝國議會が反産運動に關して論議したのは實に第六十四議會を以て最初とするのであります。是は産業組合運動の歴史上記憶すべき事實であります。私は簡単に経過を御報告することに致します。八年の二月一日に「産業組合に對する特典廢止並に取締公正に關する件」と云ふ所の請願書が磯部尙議員の紹介によりて衆議院に提出されました。

それから八年の二月九日付を以て今度は貴族院の方に産業組合の保護撤廢に關する請願書が松本眞平議員の紹介によりて提出になりました。それから二月の十四日付で「中小商工業者救済の爲め産業組合に對する特典撤廢並に是が取締に關する質問趣意書」が磯部尙議員によりて衆議院に提出されました。又其次にやはり磯部尙議員によりて「購買組合に對する特典廢止に關する建議案」が提出され更に松本忠雄、小川郷太郎、小山邦太郎の三議員に依り「肥料政策確立に關する建議案」が提出されました。肥料政策確立に關する建議案と申しますれば、是は立派な建議案でありますけれども、其内容に肥料商も保護せんければならぬ、肥料の供給は組合と肥料商と兩方で以てやるやうにした方が宜しいであらうと云ふやうな極めて譯の分つたやうな譯の分らんやうな建議案でありました。大體以上のやうな事實でございますが、以上の如き議會に對する所の反産業組合運動者の請願や又それに呼應いたします所の質問や或は建議に付きましては、産業組合中央會は支會、聯合會の諸君と共に適當な措置を執つたのであります。

幸にして産業組合關係の議員を中心とする農村選出議員の厚意に依りまして、其の結果は我々産業